

標題  
旧外国為替管理法関係告示集

昭 20年 月 日から

21年 月 日まで



分類記号番号 B. 60. 2. 3	類別 外 1 類
完結年月	保存期間 永 久
部局名 理 財 局	主管課 総

(大蔵省製本表紙 1-B)

国立公文書館	
分類	大 蔵 省
	平成12年度
排架番号	つくば書庫 5
	5 - 5 3
	2798

旧外国為替管理法関係告示集

B. 60. 2. 3
41
2
永久
2798

保存文書 2



372

程敷局外資課  
後務係

1563



裏面  
白紙

0000 1563

外國爲替管理等諸規程

第二卷

裏面白紙

外國爲替管理等諸法附則第二卷目次

- 第三 外國人ノ本邦ヨリ引揚ニ關スル事項
- 第四 送金、取立並ニ預貯金預ケ換ニ關スル事項
- 第五 登録國債ニ關スル事項
- 第六 外國ニ本店ヲ有スル商社ノ經理等及外國ニ支店ヲ有スル本邦商社ノ給與支拂等ニ關スル事項
- 第七 外國居住者ノ本邦ニ有スル財産ニ關スル事項
- 第八 特定國人ニ關スル事項
- 第九 貿易爲替管理規則關係
- 第十 特別措置預金ニ關スル事項
- 第十一 在外財産報告等ニ關スル事項
- 第十二 聯合軍使用軍票ニ關スル事項
- 第十三 其ノ他

第  
三

第三、外國人ノ本邦ヨリ引揚ニ關スル事項

裏  
面  
白  
紙

0000 1566

第  
三

第三 外國人ノ本邦ヨリ引揚ニ關スル事項

裏  
面  
白  
紙

0000 1587

裏面白紙

第三、外國人ノ本邦ヨリ引揚ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件 名
金融緊急措置令 施行規則第五條	二一、二一七	第二ノハ参照
日本銀行券預入 令施行規則 第六條第八條	二一、二一七	第二ノハ参照
大藏省告示第三七號	二〇、一	第二ノハ参照
大藏省告示第二號	二一、一四	第二ノハ参照
大藏省告示第六號 (城外爲第三〇五號) (外管第八號)	二一、一三〇	本邦ヨリノ引揚外國人ノ持歸金等ニ關スル制限免除ノ件 但シ聯合國ノ軍人軍屬囑託、朝鮮人、臺灣人、中華民國人、琉球 島人、ドイツ人、ハンガリー人、ブルガリヤ人及ルーマニア人等

大蔵省告示第三八號 二二六 第二(ウ)参照

大蔵省告示第五七九號 二二七 米田官憲查詢ノ旅行券ヲ持チ本邦ヨリ米田向出發スル朝鮮人、  
(外管) 第五六號 二二七 臺灣人等ノ携帶輸出スル米貨二百五十弗又ハ同相當額以下  
ノ通貨等ニ關スル制限免除ノ件 2

大蔵省告示第六四四號 二二八 八ノ五 兩西諸島ニ歸還スル同島民ノ持歸金等ニ關スル件 4  
(外管) 第六一號 二二九 九ノ七

大蔵省告示第一六五號 二〇一 兩睿商ノ取得セル包括許可取消並ニ朝鮮人及華人ノ勞務者  
持歸金ニ關スル件 5

大蔵省告示第一六六號 二〇一 八 第二(ウ)参照



級外爲第一六七號二〇一〇一八	本邦ヨリノ引揚朝鮮人及華人ノ持留金規則ニ關スル件	6
級外爲第一七一號二〇一〇一九	朝鮮人及華人勞務者ノ持留金ノ兩容ニ關スル件	10
級外爲第一二七號二〇一一一四	本邦經由河國ノ目的ヲ以テ時入國スル華人ノ持留金ニ關スル件	11
級外爲第一五〇號二〇一一二二	第二節 參照	
級外爲第一三號二〇一一一九	第二節 參照	
級外爲第一四號二〇一一一四	第二節 參照	
級外爲第一三三號二〇一一一八	本邦ヨリノ引揚外國人ニ對スル持留金額制限ニ關スル件	12
級外爲第一二九號二〇一一二〇	引揚外國人、中華民國人其他ノ外國人ノ本邦内ニ居ル者ノ引揚外國人等ノ現金所持ニ關スル許可申請了タル場合ノ指點ニ關スル件	17

外管	第二六號二一	四	四	本邦ヨリノ引揚朝鮮人ノ持歸金引換ニ關スル件	20
總	第六三號二一	三、二、九	九	特別保管品取扱規定制定ノ件	24
廠外爲	第八一九號二一	四	八	本邦ヨリ朝鮮へ引揚朝鮮人ノ持歸金限度ノ範圍	26
(外管)	第二八號二一	四	八	内ニテ鮮銀券ヲ引換ノ件並ニ引換取扱要綱ノ件	26
銀秘	第五八九號二一	四	八	引揚外國人ノ歸國旅費ニ關スル件	36
總	第七一號二一	四	一、三	引揚朝鮮人ニ對スル朝鮮銀行券引換取扱要綱並ニ同取扱手續制定ノ件	37
銀秘	第六一七號二一	四	九	送還外國人ニ對スル特殊預金等ノ解除ニ關スル件	45
(資)	第六三號二一	四	九	北緯三十度以南ノ西島へノ引揚豫定者ニ對スル金融緊急措置上ノ取扱方ニ關スル件	51
銀秘	第一五八七號二一	四	三、〇	本邦カラ米國ニ向ケ出發スル外國人ノ携帶金等ニ關スル制限免除ニ關スル件	53
廠理外	第二三二八號二一	七	二、〇	朝鮮人、臺灣人、琉球人、中華民國人、獨逸人、ハンガリー人、ブルガリア人、及ルーマニア人カ米國ニ向ケ出發スル場合ノ通貨携帶輸出ノ特別ニ關スル件	54
銀秘	第一〇二九八號二一	七	二、六		54

銀秘第一四四八號二一、九二五沖繩人ノ歸國旅費等ニ關スル件

裏面白紙

大蔵省告示第一六號

敷外爲第三〇五號(ニ、一、三〇)及外管第八號(ニ、一、三〇)ニヨリ通牒

左ニ掲クル場合ニ於テハ外國爲督管理法施行規則又ハ昭和二十年大蔵省  
令第八十八號ノ規定ニ依ル制限竝ニ報告ヲ免除ス

昭和二十一年一月三十一日

大蔵大臣 子爵 澁澤 敬三

本邦ヨリ外國ニ向ケ出發スル者(聯合國ノ軍人軍屬囑託、朝鮮人、臺灣  
人、中華民國人、琉球島人、「ドイツ」人「ハンガリー」人「ブルガリ  
ア」人及「ルーマニア」人ヲ除ク)カ左ニ掲クルモノヲ携帯輸出スルキ

米貨二百五十弗又ハ同相當額以下ノ通貨

自己名義ノ銀行預金通帳、保險證券、流通性ナキ貯蓄證券、受領証、本  
邦内ニ在ル財産ノ所有權證書又ハ其ノ他所有者ノ携行スル流通性ナキ

金融證券

大蔵省告示第五七九號

本邦カラ米國ノ官憲ニ依ツテ査証サレタ旅行券ヲ持ツテ米國ニ向ケ  
出發スル朝鮮人、臺灣人、琉球島人、中華民國人、「ドイツ」人、  
「ハンガリー」人、「ブルガリヤ」人及ヒ「ルーマニア」人カ左ニ  
掲ケルモノヲ携帶輸出スル場合ニハ、外國爲替管理法施行規則又ハ  
昭和二十年大蔵省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限竝ヒニ報告ヲ免除  
スル。

昭和二十一年七月二十日

大蔵大臣 石橋 湛 山

一 米貨二百五十弗又ハ同相當額以下ノ通貨。  
二 個人名義ノ銀行預金通帳、保險証券、流通性ノナイ貯蓄証券、受  
領証、本邦内ニアル財産ノ所有權証券其ノ他所有者ノ携行スル流  
通性ノナイ金融証券

裏面白紙

外管第五六號

昭和二十一年七月二十日

外事局長代

文 店 長  
事務所 長 殿

米國官憲査証ノ旅行券ヲ持チ本邦ヨリ米國向出發スル朝鮮人臺灣人等ノ携  
帶 揚子江出スル米貨二百五十弗又ハ同相當額以下ノ通貨等ニ關スル制限免除ノ件

首魁ノ件ニ關シ本日大藏省告示發令セラレ候間電信ニテ要旨御報告  
申上候處右再報旁々告示寫御送付申上候也  
追而持歸金ヲ封鎖預金ヨリ引出ス場合ノ取扱ニ關シテハ資金調整  
局ヨリ別途廻牒アル筈ニ付爲念申添候

裏面白紙

大蔵省告示第六四四號

外管第六一號(二、八一五)ニヨリ進條

本邦カラ南西諸島(北緯三十度以南ニ限ル。以下同シ)ニ屬スル南西諸島民カ左ニ掲ケルモノヲ携帶輸出スル場合ニ於テハ。外管管管理法施行規則又ハ昭和二十年大蔵省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ヒニ報告ヲ充テスル。

昭和二十一年八月十五日

大蔵大臣 石 橋 湛 山

- 一 一人ニ付一〇〇圓以下ノ本邦通貨
- 二 本邦又ハ南西諸島ニ在ル金銀貨ニ依リ發行サレタ郵便貯金銀帳又ハ銀行預金銀帳
- 三 本邦又ハ南西諸島ニ於テ發行サレタ保險証券
- 四 本邦ニ在ル金銀貨ニ依リ振出サレ又ハ發行サレタ小切手、郵券手形又ハ預金証書ヲ本邦ニ於テ又取ハレルモノ

蔵外爲第一六五號

昭和二十年十月十八日

大蔵省外資局長

各 兩 替 商 中

包括許可ノ取消等ニ關スル件

本年五月十八日附蔵外管第六三〇二號ニ依リ兩替商ノ取得セル包括許可ハ  
 總テ之ヲ取消スコトト相成リタルニ付此段及追樣候  
 尙本邦内ニ在ル朝鮮人及華人勞務者ノ持歸金ニ付テハ一人當リ現金千圓ノ  
 範圍内ニ於テ之ヲ聽ムルコトト相成リタルニ付テハ右限度内ニ於ケル餘銀  
 券等ノ兩替ハ引揚者タルコトヲ確認シタル場合ニ限り許可ヲ要セサルコト  
 ト致シタルニ付仰了知相成度



藏外爲第一六七號

昭和二十年十月十八日

大藏省外資局長  
海運總局長官

各海運局長 宛

標記ノ件ニ關シ本月十三日附藏外爲第一五八號ニ依リ送附セル處本送附中  
 「共交換限度ヲ超過スル現地通貨ノ取扱」及「六預金通帳」送金小切手其  
 ノ他ノ監督及一切ノ証券並ニ「二」ニ掲クル通貨以外ノモノノ取扱ニ關シテハ  
 當該上陸海運局ニ於テ之カ設備又ハ職員ノ派遣等充分協力セラレ度  
 尙本邦内ニ在ル朝鮮人及華人勞務者ノ持附金ニ付テハ一人當リ現金千圓ノ  
 範圍内ニ於テ之ヲ認メ且ツ千圓ヲ超ユル分ニ付テハ前記藏外爲第一五八號  
 ニ依ル引揚邦人ノ持附金等ノ規制ニ準シ所管海運局名義ノ保管證ヲ本人ニ

交付スルコトト相成リタルニ付右御了知ノ上之カ取締上遺憾無キヲ期セラ  
レ度  
尙敷外爲第一五八號通牒ニ係ル撈帶違貨ノ交換ハ政府ノ行フヘキ操作ヲ便  
宜金融板圖ヲシテ行ハシムルモノニシテ損益ノ問題アラハ凡テ政府ニ於テ  
處理スルモノニ有之、爲念

原本不明瞭

裏面白紙

外管第九七號

昭和二十年十月二十二日

外務局管印

又  
店  
長

本邦ヨリノ引揚朝鮮人及華人ノ持歸金規制ニ關スル件

揚題ノ件ニ關シ大藏省ニ於テハ十月十八日取扱方法ヲ左記ノ通り決定大藏省外務局長及海運總局長官ヨリ各海運局長宛別紙ノ通り進陳スルト共ニ二十日不行ニ對シ連絡有之候ニ就而右了知ノ上可然御處理相煩度此段御依頼  
多々御貴意候也

記

一進貨ハ千圓ノ範圍内(一人當リ)ノ持歸リヲ認メ本邦内ニ於テハ一切交

換ヲ認メス

右交換ハ朝鮮又ハ支那ニ於テ行フコト

ニ持歸限度超過通貨並ニ一切ノ證券證券ハ乗船港ノ海運局ニ於テ引上保管スルコト

三前記ニノ取扱ハ變ニ御報告申上タル引揚邦人持歸金ノ引換限度超過分證券及證券ノ引上保管事務取扱ニ準スルコト  
追テ本件ハ本日不取敢電信ヲ以テ要項御通知申上置候

蔵外爲第一七一號  
昭和二十年十月十九日

大藏省外資局長

各 外 國 爲 替 銀 行  
各 兩 替 商

御 中

朝鮮人及華人勞務者ノ持歸金ノ兩替ニ關スル件

本月十八日附



蔵外爲第一六六號 尙書ヲ以テ本邦内ニ在ル朝鮮人及華人

勞務者ノ持歸金ノ兩替ニ付テハ千圓ノ範圍内ニ於テハ銀行及顧客ノ双方共  
許可並報告ヲ要セサルコトト致シタル處今回此等外人ノ持歸金ニ付テハ  
兩替ヲ認メサルコトト相成リタルニ付右御諒知相成度

蔵外爲第二二七號  
昭和二十年十一月十四日

大蔵省外資局長  
海運總局長官

各海運局長 殿

本邦經由歸國ノ目的ヲ以テ一時入國スル歸人ニ付テハ昭和二十年十月十日  
三日附通牒蔵外爲第一五八號六ノ規定ニ拘ラス左記持歸証券類ハ上陸港  
ニ於テ保管スルコトナク携帶輸入ヲ許可スルコトニ決定シタルニ付可然  
御取計相煩度

記

- 一 債券、小切手、送金手形、爲替手形、約束手形、交換指圖書、預金通帳、保險証券、譲渡指圖書、其ノ他金融上ノ諸証券
- 二 本邦ノ内外ニ於ケル金融上又ハ財産上ノ取引ニ關スル委任狀又ハ代理權、其ノ他ノ権限ヲ授與スヘキ証券又ハ指圖書
- 三 其ノ他前各號ニ掲ケサル債權証券又ハ財産權ヲ証スル証券

藏型外第三三號

外管第一三號 (三〇二一四) ニヨリ追跡

昭和二十一年二月八日

大蔵省理財局長  
海運・總局長官

關東海運局長 殿

本邦ヨリノ引揚外國人ニ對スル持歸金等制限ニ關スル件

本月三十一日附大蔵省告示第十六號ヲ以テ公布ノ標題制限ニ關シテ  
ハ大要左記要領ニ依リ實施相成度

記

一 持歸金ハ米弗貨ノ手持アルトキハ二五〇弗ヲ限度トシ其他ノ外國  
通貨又ハ本邦通貨ノ場合ハ右米貨相當額ヲ限度トシテ携帶輸出ヲ  
認メ右以外ハ總テ從來ノ適宜金取扱例ニ準シ海運局ニ於テ保管シ

保管証ヲ發給スルコト

右米貨相當額ノ算出稅率ニ關シテハ添付別表參照ノコト

二 監券額ハ本告示ニ依リ携帶輸出ヲ許容セラレタルモノ以外例別添

券約書雛形面ニ列記セル持衛禁止品目中第五及六項ニ該當セル監

券類一ハ總テ從來ノ取扱ニ準シ保管スルコト

尙家族名義ノ監券類ヲ携帶輸出スルトキハ「自己名義」ノ制限ニ

不拘又障ナキコト

三 引揚外國人乗船前ニ別添書式ニ依ル誓約書 (Declaration) ラ必

ス各人署名ノ上提出セシムルコト (左記要領參照)

一) 誓約書ハ原則トシテ各人別ニ一紙提出ヲ要スルモ家族同行ノ場

合ハ家長ノミノ署名ニテ差支ナキコト

二) 右誓式中稅關官吏署名欄ニハ海運局海關部ノ適當ナル責任者署

名スルコト

三) 提出セル誓約書ハ海運局ニ於テ整理保存スルコト



四本制限ハ外交官ノ特權ヲ附與セラレタル者ニ對シテモ適用セラルルモ前者ニ對シテハ携帶品ノ開披検査及誓約誓ヲ提出セシムル事ナキコト

五引揚外國人出發毎ニ即時左記事項ヲ當局宛電報其他ノ方法ニ依リ速報セラレ度

(一)發給保管證ノ詳細(二)國籍氏名(三)誓約誓受理件數

六本件制限實施港ハ差當リ横濱港ニ限定セラルルモ聯合軍最高司令部ノ指示アリ次第追而他港ニ於テモ實施セラルル豫定ナリ

DECLARATION

I, \_\_\_\_\_ hereby declare and certify this  
I am about to depart Japan and I do not have on my personal  
or in my baggage, on nat carrying out, any of the following

1. Currency in excess of \$250 in value;
2. Non-Japanese securities;
3. Gold or silver coins;
4. Gold silver or platinum or alloy thereof in  
bullion form;
5. Checks, drafts, bills of exchange, promissory  
notes, or other financial instruments, drawn  
on or issued by persons outside of Japan;
6. Powers of attorney or proxies;
7. Art objects, if not personally owned, or if  
for sale, or if acquired subsequent to  
August 15, 1945.:

I further certify, affirm and warrant that this  
declaration is ture and correct. Dated \_\_\_\_\_

Signature

\_\_\_\_\_  
Signature, Japanese Customs Official

Foreign Exchange	Rates
Great Britain :	£ = \$4.03
Australia:	A£= \$3.21
New Zealand :	NZ£= \$3.22
South Africa:	SA£= \$4.01
Sweden :	4.11 Swedish krona to U.S.\$
Switzerland :	4.28 Swiss Francs to U.S.\$
France :	120.00 Fr, Francs to U.S.\$
Holland :	2.70 guilders to U.S.\$
Italy :	100.00 Lire to U.S.\$
India :	3.26 Rupees to U.S.\$
Canada :	1.10 Can\$ to U.S.\$
Argentina :	4.02 Pesos to U.S.\$
Brazil :	19.00 Cruzeros or Milreis to U.S.\$
Chile :	15.00 Pesos to U.S.\$
Columbia :	1.75 Pesos to U.S.\$
Cuba :	1.00 Pesos to U.S.\$
Mexico :	4.83 Pesos to U.S.\$
Peru :	6.27 Sols to U.S.\$
Uruguay :	1.75 Pesos to U.S.\$
Venezuela :	3.31 Pesos to U.S.\$
Philippine Is. :	2.000 Pesos to U.S.\$
Portugal :	25.00 Escudos to U.S.\$
China (CHUNGKING)	20.00 YUAN(Dollars) to U.S.\$
Japan :	¥15.00 to U.S.\$

銀秘第二二九號

昭和二十一年三月二十日

大藏省銀行局長 江澤省三

日本銀行總裁 新木榮吉 殿

金融緊急措置令ニ基キ本邦ヨリ引揚歸國スル朝鮮人、中華民國人其他ノ外國人ノ本邦内ニ於ケル旅費トシテ封鎖預金等ノ現金支拂ニ關スル許可申請アリタル場合ハ左記基準ニ依リ許可相成可キニ付便宜金融機關ヲシテ大藏大臣ノ許可通知アリタルモノトシテ支拂ヲ爲サシムルコトト致候ニ付御了知ノ上其ノ旨全國各金融機關宛御通知相成度

依命此段及通牒候也

記

原本不明瞭

裏面白紙

一 許可スヘキ金額

又 度料 一世帯ニ付

五百圓以内

移 轉料 六百圓以内 (單獨ノ場合ハ半額)

日 營及宿泊料 一人ニ付 一日三十圓

但シ出發地ヨリ下關市迄ノ鐵路距離ニ付五百軒ヲ一日行程トシテ計

算ス (註) 引揚外國人ノ鐵道賃ハ無料ナルニ付爲念

ニ 又 拂手續

(イ) 引揚證明書及米穀運帳 (又ハ之ニ代ルヘキ物資ノ配給運帳)ヲ呈示

セシメ引揚外國人タルコトヲ確認スルコト

(ロ) 引揚旅費ノ又拂ヲ爲シタルトキハ引揚證明書及米穀運帳等ノ兩者ニ

又拂金額及又拂年月日ヲ記入シテ旅費又拂済ノ表示ヲナシタル上又拂金

融被開名ヲ記入シ取扱者認印ヲ爲スコト

(ハ) 金融機關ハ又拂ヲ爲シタルトキハ又拂ヲ受ケタル者ノ氏名、又拂金

額及又拂年月日ヲ日本銀行宛通知スルコト

18

28

裏面白紙

□ 向本文拂ヲ受ケタル者ニ付テハ當該又拂ヲ受ケタル月ノ翌月以後ハ  
本令施行規則第五條第一項第一號ノ規定ニ依ル封鎖預金等ノ又拂ハ  
之ヲ爲ササルコト

以上

19

29

裏面白紙

外管第二六號

昭和二十一年四月四日

外 務 局 長  
出 納 局 長

本邦ヨリノ引揚朝鮮人ノ持歸金引換ニ關スル件

本邦ヨリノ引揚朝鮮人ノ持歸金引換ニ關シテハ昭和二十年十月二十二日  
附外管第九十七號ヲ以テ及御通知置候通り持歸限度一人當リ一千圓ノ範圍  
内ニ於テ日銀券ヲ携帶セシムルコトトシ限度超過通貨等ハ乗船地ノ海運局  
ニ於テ引上保管ノコトト相成居候處今般聯合國最高司令部ノ指令ニ依リ本  
月十五日以降右持歸日銀券ヲ内地乗船地最寄ノ本行支店又ハ代理店ニ於テ  
鮮銀券ニ引換ヲ爲スコトト相成目下之カ取扱手續立案中ニ有之候へ共本店

20

30

0000 1992

裏面白紙

ニ於テ聯合國最高司令部ヨリ寄託ヲ受ケタル引換用鮮銀券ヲ急據關係店ニ  
同送スルコトト相成候ニ就テハ左記御参照ノ上可然御取計相煩度此段御通  
知旁々御依頼申上候也





註 右十圓券ハ本店ニ於テ内容鑑査済ナルモ百圓券ハ其邊ナク大東ニ依  
ル檢査ヲ實施セルニ過キサレハ各支店ニ於テ至急内容御鑑査ノ上過  
不足ノ有無報告並ニ正式受領書ヲ出納局宛御送付相煩度

三、京都、福岡兩支店ニ於テハ各乘船地最寄ノ本行代理店ニ對シ本月十五日以  
降引換實施ニ支障ナキ様銀券所要額ヲ御見込ニ依リ適宜割當配布方御配  
慮相煩度コト

四、受託銀券ノ計算整理ニ付キテハ本年三月二十九日附總第六三號通牒ノ特  
別保管品取扱規程（別紙）ニ基キ御取扱相成度コト  
尙本店ニ於ケル主務局ハ出納局トス

以上

43

總第六三號

昭和二十一年三月二十九日

總務部長

特別保管品取扱規程制定ノ件

聯合國最高司令部等ヨリ保管ヲ委託セラレタル特定物ノ取扱ニ關シ別紙ノ通  
特別保管品取扱規程制定セラレ四月一日ヨリ實施ノコトト相成タルニ付此段  
及通牒候也

特別保管品取扱規程

- 第一條 本店又ハ支店聯合會最高司令部若ハ其ノ下部機關又ハ官廳等ヨリ特定ニ定ムル本邦通貨、小切手、手形、外國通貨、有價證券其他ノ有價物ノ保管ヲ委託セラレタルトキハ經伺ノ上本規程ニヨリ特別保管品トシテ之カ取扱ヲナスヘシ
- 但シ右ノ内有價證券及封緘品ニ付テハ有價證券出納保管取扱規程ニ據リ保管整理スルコトヲ待
- 第二條 特別保管品ハ主務部局（支店ニ於テハ主務課以下同シ）ニ於テハ適宜ノ証憑書類ニ依リ特別保管品記入帳ニ記帳整理ヲナシ出納局ニ於テハ主務部局仕出ノ証憑書類ニ依リ現物ノ出納保管ヲナシ特別保管品保管高帳ニ記帳整理ヲナスヘシ
- 但シ場合ニヨリ出納局主務部局トナルコトヲ得
- 第三條 右ノ証憑書類ニハ特別保管品ノ受入又ハ拂渡後直ニ取扱日附及受入済又ハ拂渡済ノ表示ヲナシ取扱者認印ヲ捺捺スヘシ
- 第四條 特別保管品ノ入庫高及出庫高ニ付テハ其ノ都度金庫開閉日誌ニ記載スヘシ

以上

25

蔵理外第 八二九 號

昭和二十一年四月八日

大蔵省理財局長

日本銀行外事局長 殿

本邦内地ヨリ朝鮮ニ引揚ノ朝鮮人携帶持歸金引換及持歸限度  
超過額並ニ証券監査類ノ引上保管等取扱方法ニ關スル件

首題ノ件ニ關シテハ聯合軍最高司令部ヨリノ指令ニ依リ四月十五日以降別紙  
取扱方法ニヨリ處理スルコトト相成候條御了知ノ上可然御取計相成度  
追而本件ニ依リ日本銀行國庫代理店ニ支拂フ引換手数料等ハ國庫ニテ負擔  
スルコトト致度右爲念申添候

本邦内地ヨリ朝鮮ニ引揚ノ朝鮮人携帶持歸金引換及持歸限度超過額並ニ証券証書類ノ引上保管等取扱方法

一 本取扱實施ノ時期

昭和二十一年四月十五日以降

二 持歸限度

一人當リ一千圓以下トス

三 持歸金ノ引換

引揚朝鮮人携帶ノ日本銀行券補助貨幣又ハ封鎖小切手ニ付キテハ所定ノ引換場所ニ於テ持歸限度ノ範圍内ニ限り朝鮮銀行券ト引換ヲ爲スモノトス但シ十圓ニ滿タサル端額ニ付テハ差當リ引換ヲ行ハス  
右引換ニ當リテハ引揚証明書ノ呈示ヲ求メ引揚者タルコトヲ確認ノ上之カ取扱ヲ爲シ引揚証明書ノ裏面ニ引換金額、年月日ノ裏蓋印ヲ爲スモノトス

四 左ノ乗船地ニ限ルモノトス  
函館、舞鶴、仙崎、博多、唐津、佐世保

五 引換取扱者

乗船地最寄ノ日本銀行又店又ハ代理店トス 但シ代理店ナキ地ニ於テハ  
派出引換ヲ爲シ得ルコトトス

六 引換率

日本銀行券一ニ對シ朝鮮銀行券一トス

七 持歸限度超過額十圓ニ滿タサル端數金及證券證書類ノ引上並ニ保管

左ノ物件ノ引上並ニ保管ハ乗船地ニ於ケル海運局ニ於テ取扱フモノトシ之

カ引上保管物件ニ對シテハ引揚邦人ノ場合ニ於ケル取扱ニ準シ所管海運

局ニ於テ保管證ヲ作成ノ上本人ニ交付スルモノトス

八 持歸限度ヲ超過スル通貨

九 引換取扱者カ引換用トシテ受入レタル朝鮮銀行券ニ依リ引換ヲ爲スコ

トヲ持サル端數金、(當分ノ間十圓未滿ノ端數金トス)

(3) 送金爲替手形、送金小切手、預金通帳、預金証書其他ノ金融上ノ証書及公債、社債、株式其他ノ有價証券ニシテ大藏大臣ノ輸出許可ヲ受ケ居ラサルモノ

尙保管物件ハ當該海運局ニ於テ封緘ノ上最寄日本銀行支店又ハ代理店ニ對シ保港預ケスルモノトス

引揚朝鮮人カ左ニ摘クルモノヲ携帶輸出スル場合ハ大藏大臣ノ許可ヲ免除セラレ居ルヲ以テ之ヲ除ク

(4) 本邦又ハ外國ニ在ル金融機關ニ依リ發行セラレタル郵便貯金通帳又ハ銀行預金通帳

(5) 本邦又ハ外國ニ於テ發行セラレタル保險証券

(6) 本邦ニ在ル金融機關ニ依リ振出サレ又ハ發行セラレタル小切手、爲替手形又ハ預金証書ニシテ本邦ニ於テ又振ハルモノ



八引換ニ要スル朝鮮銀行券並ニ引換ニ依リ受入ノ日本銀行券等ノ處理

日本銀行本店ハ聯合國最高司令部ヨリ寄託品トシテ朝鮮銀行券ヲ受領シ  
乘船地最寄ノ支店又ハ代理店ニ對シ適宜割當配布ヲ爲スモノトシ之カ受  
託保管店ニ於テハ其受託ニ付記帳整理ヲ行フモノトス  
日本銀行ハ朝鮮銀行券ト引換ニ受入レタル日本銀行券補助貨幣又ハ封鎖小  
切手ニ付昭和二十一年三月一日附日本政府ニ對スル聯合國最高司令部覺  
書「日本銀行ニ聯合國最高司令部寄託勘定設定ノ件」ニ基キ記帳整理ヲ  
行フモノトス

九報 告

（イ）引換高並朝鮮銀行券手許在高報告

引換取扱者及朝鮮銀行券ノ受託保管者タル日本銀行支店又ハ代理店ハ  
四月十五日以降毎旬引換取扱高並ニ旬末現在朝鮮銀行券手許在高ヲ每  
旬末日本銀行本店宛別紙幣式ニ依リ報告スルモノトシ日本銀行本店

ハ右報告ヲ取纏メ大蔵省ニ提出スルモノトス  
②引上並保管物件報告  
引揚邦人ノ場合ニ於ケル取扱ニ準シ當該海運局ヨリ大蔵省理財局外資課  
宛報告スルモノトス

昭和 年 月 日

引揚朝鮮人持歸金引換高並ニ朝鮮銀行券手許在高報告

引換取扱店又ハ朝鮮銀行券  
受託保管店名

日本銀行御中

一 引換高(自 年 月 日 至 年 月 日)

金口 額 數

ニ 朝鮮銀行券旬末手許在高

計 十 百 圓 圓 券 券

外管第二八號

昭和三十一年四月八日

外事局長代

支店駐在員事務所長殿

本邦ヨリ朝鮮へ引揚ノ朝鮮人持歸金規制ニ關シテハ昭和二十年十月二十二日附外管第九七號ニ據リ取扱ノコトト相成居候處本月十五日以降右持歸本邦通貨ヲ内地乗船地最寄ノ本行支店又ハ代理店ニ於テ持歸金限度ノ範圍内ニ限リ鮮銀券ト引換ノコトニ決定別紙ノ通り大藏省ヨリ通牒有之候間左記ノ件併セ御參照ノ上貴店管下代理店ノ指導等御配慮相煩度此段御依頼申記上候也

記

一、厚生省引揚援護院ニ於テハ引揚朝鮮人カ乗船地ニ到着ノ上ハ之ヲ收容所内ニ收容シ極力外出ヲ防止致度意嚮ヲ以テ本邦通貨ト銀券トノ引換場所ハ成ルヘク收容所内ニ設置方希望アリ乗船地援護局ニ對シ此ノ場合ニハ嚴重ナル引換場所ヲ設備セシムル旨連絡方申出有之候間乗船地ノ代理店、引揚援護局並海運局ト御聯繫ノ上狀況ニ應シ適宜御取計被下度候

二、收容所内ニ引換場所設置ノ場合ハM P並ニ邦人警官等ノ常時護衛ヲ要スルモノト認メラルルヲ以テ大藏省、厚生省ヨリ之カ派遣方ニ關シ夫々折衝ノ筈ナルモ貴店ニ於テモ現地當局ト御打合ノ上御手配相成度候

三、引揚朝鮮人ハ現在ノトコロ仙崎、博多（各々毎日平均一五〇〇名見當）ヲ除キテハ僅少ノ模様ナルモ五月初旬ヨリ約五ヶ月間ニ亘リ計商輸送實施セラレル豫定ノ由ニテ其曉ニ於テハ各港共多數（毎日平均函館、舞鶴、唐津各二五〇〇名仙崎、博多、佐世保各五〇〇〇名程度ノ見込ノ由）ノ引揚ヲ見ルコトトナルヘク而モ銀券トノ引換ハ引揚民カ乗船地到着後二十四時間内ニ完了ヲ要スル次第ナレハ其御含ヲ以テ引換設備並取扱人員配當御配慮被

下度尙取扱人員ニ付キテハ狀況ニ應シ市中金融松原ヨリ可然應援方御斡旋願上候

引換ニ要スル朝鮮銀行券並引換ニ依リ受入ノ本邦通貨、封鎖小切手ノ處理及引換高等ノ報告要領ニ付キテハ別途總務部ヨリノ通牒ニ依リ御取扱相成度候

以上

銀秘第五八九號

昭和二十一年四月八日

大藏省銀行局長 江澤省三

日本銀行總裁 新木榮吉 殿

引揚外國人ノ歸國旅費ニ關スル件ニ付

標記ノ件ニ關シ三月十八日附銀秘第二二九號ヲ以テ通牒致置候處同通牒左  
記下中日當及宿泊料ニ付テハ船待子滞在費トシテ更ニ五日分(一人ニ付一  
日三十圓)ヲ限度トシテ支拂ヲ認ムルコトト相成候條御了知ノ上其ノ旨全與會  
議機關宛御通知相成度依命此段及通牒候也

總第七一號

昭和二十一年四月十三日

總務部長

支店長殿

引揚朝鮮人ニ對スル朝鮮銀行券引換取扱要綱  
並同取扱手續制定ノ件

昭和二十一年四月八日附藏理外第八二九號大藏省理財局長通牒ニヨリ内地ヨリ朝鮮ニ引揚クル朝鮮人ニ對シテハ四月十五日以降持歸金タル本邦通貨、封鎖小切手等ヲ一人一千圓ヲ限度トシテ乘船地最寄ノ本行支店又ハ代理店ニ於テ朝鮮銀行券ニ引換フルコトト相成タル處關係支店及代理店ニ於ケル之カ取扱要綱並同取扱手續別紙ノ通制定セラレ候間四月八日附外管第二八號及四月九日附資第六三號御參照ノ上本道牒ニヨリ御實行相成度此段及通牒候也

37

47



引揚朝鮮人ニ對スル朝鮮銀行券引換取扱要綱

一、本邦ヨリ朝鮮ニ引揚ノ朝鮮人ニ對シテハ其ノ持歸金タル本邦通貨、封鎖小切手又ハ封鎖支拂票ヲ本邦乘船地最寄ノ本行支店又ハ本行國庫、國債事務代理店ニ於テ朝鮮銀行券ト引換セシムルコト

二、右ノ乘船地ハ差當リ函館、舞鶴、仙崎、博多、唐津及佐世保ノ六港トスルコト

三、右引換ノ爲メ本店ハ所要ノ朝鮮銀行券ヲ聯合國軍ヨリ受入レ乘船地最寄ノ本行支店ニ同送スルコト

四、乘船地最寄ノ本行代理店ハ其ノ統轄店タル本行支店ヨリ適宜所要ノ朝鮮銀行券ノ引渡ヲ受クルコト

五、乘船地最寄ノ本行支店又ハ本行代理店カ引換ニ當リ交付スル朝鮮銀行券ハ必ス右ニヨリ受入レタルモノニ限ルコト（現在自店ニ分離保管中ノ朝鮮銀行券アル場合之ヲ流用シ得サルコト）

六、引換ニヨリ受入レタル本邦通貨並封鎖小切手及封鎖支拂票ノ取立代金ハ營業局ニ於ケル特別預金雜預金聯合軍預託金勘定ニ受入整理スルコト

七、引換取扱開始ハ四月十五日トスルコト

以上

引揚朝鮮人ニ對スル朝鮮銀行券引換取扱手續

一、引揚朝鮮人ヨリ乘船地最寄ノ本行支店又ハ國庫、國債代理店（以下引換取扱支店）又ハ引換取扱代理店ト稱ス。ニ對シ持歸金タル本邦通貨、封鎖小切手又ハ封鎖支拂票ヲ朝鮮銀行券（以下朝鮮銀券ト稱ス）ニ引換方請求アリタルトキハ本手續ニヨリ取扱ヲ爲スコト

二、本店聯合儲最高司令部ヨリ朝鮮銀券ノ受入レタルトキハ特別保管品トシテ取扱ヒ出納局ニ於テ鑑査ノ上特別保管品記入帳及特別保管品保管高帳ニ夫々記帳整理スルコト

三、本店右特別保管銀券ヲ引換取扱支店又ハ引換取扱代理店ノ統轄店タル本行支店ニ同送シタルトキハ出納局ニ於テ特別保管齊記入帳ノ拂出記帳ヲ爲スト共ニ特別保管品保管高帳ノ齊該口座ヨリ同一遞送中一口座ニ移記スルコト

四、引換取扱支店又ハ引換取扱代理店ノ統轄店タル本行支店ヨリ特別保管銀券ノ同送ヲ受ケタルトキハ營業課（若ハ業務課）ニ於テ特別保管品記入帳ニ發券課ニ於テ特別保管品保管高表ニ夫々記載整理スルト共ニ出納局宛適宜ノ受入報告書ヲ送付スルコト、出納局ハ右報告書ニヨリ特別保管品保管高帳一遞送中一口座ノ拂出記帳ヲ爲スコト

五、本行支店特別保管銀券ヲ引換取扱代理店ニ引渡シタルトキハ特別保

管品記入帳及特別保管品保管高帳ニ夫々拂出記帳ヲナシ出納局宛其ノ  
 旨報告スルコト  
 六 引換取扱代理店、統轄店ヨリ銀券ノ引渡ヲ受ケタルトキハ之ヲ寄託  
 品トシテ取扱ヒ別紙領收書(第一號書式)ヲ作成シ統轄店宛送付スルコ  
 ト  
 七 引換取扱支店又ハ引換取扱代理店引揚朝鮮人ヨリ持歸金タル本邦通貨  
 封鎖小切手又ハ封鎖支拂票ヲ銀券ニ引換方請求ヲ受ケタルトキハ引  
 揚證明書ノ裏面ニ示ヲ求メ引揚者タルコトヲ確認ノ上之カ引換ヲ爲シ引揚  
 八 引換ハ一人一圓ヲ限度トシ等價ヲ以テ引換フルコト、但シ十圓ニ滿  
 タサル端數ノ引換ハ之ヲ爲ササルコト、本邦通貨、封鎖小切手又ハ  
 封鎖支拂票ヲ取交セ引換ノ請求ヲ受ケタルトキハ右限度内ニ於テ先ツ  
 封鎖小切手又ハ封鎖支拂票ニ付引換ヲ爲シ尙餘裕アル場合ニ於テ本邦  
 通貨ノ引換ヲ爲スコト、右ニヨリ引換限度ヲ超過セル本邦通貨ハ海運  
 局ニ於テ引換ヲ爲セラルルコト、引換取扱支店ニ在リテハ營業課(若  
 引換ニ依リ受入レタル本邦通貨ハ引換取扱支店ニ在リテハ營業課(若  
 八 業務課)ニ於テ本支店勘定(摘要、聯合軍預託金)ヲ以テ營業局ニ  
 付替其ノ旨營業局ニ通知シ、引換取扱代理店ニ在リテハ日本銀行預金  
 勘定ヲ以テ整理シ預金店ニ其ノ旨通知スルコト、預金店ハ右通知ニヨ

一、日本銀行預金並保管金收支毎日報告表中資金勘定一摘要、貸銀券引  
 換代り金一受入記入シ統轄店ニ通知シ、統轄店ハ代理店預金勘定ト  
 本支店勘定一摘要、聯合軍預託金一ノ振替記帳ヲナシ其ノ旨營業局ニ  
 通知スルコト  
 二、引換取扱支店及引換取扱代理店引換ニヨリ封鎖小切手又ハ封鎖支拂票  
 ヲ受入レタルトキハ代金取立ノ上前項ニヨリ整理スルコト。但シ引換  
 取扱支店本行本支店ニ取立ヲ依頼スル場合ニ限リ取立代金ヲ被依頼店  
 ヲリ直接營業局ニ付替方一本店ニ取立依頼ノ場合ハ營業局特別預金雜  
 預金聯合軍預託金勘定ニ入金方一本店ニ依頼スルコトヲ得ルコト  
 三、前二項ニヨル營業局宛付替通知ニハ引換日、引換地、現金、封鎖小切  
 手又ハ封鎖支拂票ノ區分。封鎖小切手又ハ封鎖支拂票ノ代金取立ノ場  
 合ハ入金日及引換取扱店舖名ヲ附記スルコト  
 三、引換取扱支店、引換取扱代理店及統轄店ハ毎旬末旬中引換取扱高  
 ノ口數金額別合計並特別保管又ハ寄託鮮銀券手許在場ヲ外埠局宛電信  
 一別紙略語使用一ヲ以テ報告シ別紙報告書(第二號書式)ニ依リ再報  
 スルコト

外事局ハ右報告ヲ取纏メ大藏省ニ提出スルコト

以上

61

51

裏面白紙

(第一號書式)

寄託朝鮮銀行券領收書

一、朝鮮銀行券 何 圓 券

一、朝鮮銀行券 何 圓 券

合 計

何 圓 券

右弊店ニ御寄託相成正ニ領收候也

昭和二十一年 月 日

日本銀行何々代理店

代表者 氏 名 印

日本銀行何々支店長 殿

(第二號証式)  
 特別及報告書  
 高及報告書  
 取許在日  
 換手月  
 引換銀券  
 銀券  
 人壽年  
 儲蓄  
 昭和

日本銀行外務局  
 御中

店名

○月○旬中引換取換高				○月○旬末特別取換及特許銀券許在	
引換地	口	枚	金額	種類	金額
				百圓券	
				十圓券	
				計	

電信略語

原語

冒頭符號

何月何旬中 (何月何旬ハ三字略語)

引揚朝鮮人持歸金引換取扱口數

同金額何圓

乘船地 (地名ハ三字略語)

旬末銀券手許在高何圓

店名 (三字略語)

(子略語  
ヒ)

ト

ク

エ

セ

サ

テ

以上

銀秘第六一七號

昭和二十一年四月九日

大藏省銀行局長 江澤省三

日本銀行總裁 殿

送還外國人ニ對スル特殊預金等ノ解除ニ關スル件

今般聯合國最高司令部ヨリ客月三十一日附覺書「封鎖預金ノ解除ニ關スル件」ヲ以テ本邦ヨリ外國ニ送還セララルル外國人ニ對スル客年十一月二十四日附同司令部覺書ニ基ク封鎖預金ノ解除ニ關シ左記條件ノ下ニ一人千圓迄支拂方許可スヘキ旨申越ノ次第有之タルニ付爾今右ニ依リ特殊預金、特殊金錢信託及日本銀行封鎖預金等（客年十二月七日附銀令第五九〇號通庫單需品ノ生産若ハ供給、戰爭損害又ハ軍需工場ノ建設若ハ轉換等ニ因ル金錢債務ノ決済ニ關スル件）ニ基クモノヨリノ支拂許可方御取扱相成度此致



依命遵候也

追而本件支拂モ金融緊急措置令ノ適用アルコト勿論ナルニ付米穀通帳又ハ個人金融通帳等ヲ呈示セシメ之ニ右支拂ノ事實ヲ記入スル様御取扱相成度此段申添候

記

- 一、支拂ヲ受クヘキ預金ハ客年十一月二十四日附聯合國最高司令部覺書「戰爭利得ノ除去及財政再建ニ關スル件」ニ依リ封鎖サレタルモノナルコト
- 二、支拂ヲ受クヘキ金額ハ本邦ヨリ外國ニ送還セラルル者一人ニ付現金千圓迄トシ他ニ資金ナキコト、送還ノ登録ヲ爲シタルコト竝十日以内ニ送還セラルル豫定ナルコトヲ表明シタル宣誓書又ハ宣誓書ニ類似スル書類ニ署名スルコトヲ要スルコト
- 三、ニ依リ許可セラレタル支拂ハ申請者自身封鎖預金ノミナラス當該申請者ノ所屬スル團體ノ封鎖預金ヨリモ爲シ得ルコト
- 四、送還者カ朝鮮人ナルトキハ本支拂ハ封鎖小切手ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要

シ右小切手ハ本年三月三十一日附聯合國最高司令部覺書「朝鮮人送還者ニ對スル通貨ノ兌換ニ關スル件」ニ規定セラルトコロニ從ヒ朝鮮人送還者ニ對スル他ノ爲替ノ替リ金ト同様朝鮮銀行券ニ引換ヘラレ且聯合國最高司令部預リ金勘定（カストテイ、アウント）ニ貸記セラルトコト尙右朝鮮銀行券トノ引換ハ乗船港ニ於ケル日本銀行支店又ハ同行代理店ニ於テノミ行ハルト

取扱注意事項

一、申請書ニハ

(イ) 他ニ資金ナキコト及許可書受領後十日以内ニ歸還スル豫定ナル旨ノ  
宣誓文書ヲ附記シ又ハ同内容ノ宣誓書ヲ添付スルコト

(ロ) 朝鮮人、中華民国人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南（ロノ島ヲ合  
ム）ノ鹿兒島縣又ハ沖縄縣ニ有スル者ニ付テハ市區町村長ヨリノ歸  
還登録證明書（昭和二十一年三月十三日附厚生、内務、司法省令第  
一號参照）ヲ添付スルコト

三、支拂ハ朝鮮人ニ付テハ封鎖小切手他ハ現金拂ナルコト、  
尙且ノ際文書ノ旨米穀通帳又ハ個人金融通帳ニ記入ノコト又朝鮮人聯  
盟等ノ團體ヨリノ申請ノ場合ハ添付セル歸還氏名表ニヨリ夫々ノ歸還  
者ノ個人金融通帳等ヲ提示セシメ支拂ノ旨記入ノコト

三、元振店又ハ代理取扱店ハ本件申請書ヲ受理セル場合ハ直チニ本行本支  
店ニ送附シ迅速ナル取扱ヲ期スルコト

資第六三號

昭和二十一年四月九日

資金調整局長代

支店長  
駐在員 殿

本邦ヨリノ引揚外國人ニ對スル特殊預金等ノ資金化申請書ノ取扱方ニ關シ  
 別紙ノヨリ金融機關宛進捗致置候間此段御通知申上候也

追而(一)本件處理區分ニ付テハ支店限りノ扱ヒト致度尙無條ノ性質上急ヲ  
 要スヘキモノ等有之ヘント被存候ニ付可然御措置相成度

(二)本件貴店管下金融機關ニ周知方御手配相煩度候

資第六二號

昭和二十一年四月九日

日本銀行資金調整局長

井上敏夫

殿

拜啓々々御隆昌奉賀候

陳者今日本邦ヨリノ引揚外國人ニ對スル特種預金等ノ資金化ニ關シ別紙寫ノ通り、藏省ヨリ知照有之候就テハ右御承知ノ上、貴行ノ受理並ニ支拂ノ事務御處理相成度此段御依頼申上候

追而、貴行各支店、出張所ニ對シテハ乍恐縮貴店ヨリ連絡方可然御取計相成度申添候

銀秘第一五八七號

昭和二十一年四月三十日

大藏省銀行局長 江澤省三

日本銀行總裁 新木榮吉 殿

北緯三十度以南ノ南西諸島ヘノ引揚預定者ニ  
對スル金融緊急措置 上ノ取扱方ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ左記ニ依リ取扱フコトニ決定致候條御諒知相成ル下共  
ニ鹿兒島縣所在各金融機關ニ對スル之カ周知方可然爲收計相成度此段依命  
及願察候也

記

一、北緯三十度以南ノ南西諸島ニ引揚ケントスル者ニシテ輸送停止ノ爲鹿兒  
島縣下ニ滯在中ノモノ（引揚豫定者ト稱ス）ニ付テハ其ノ所持スル舊券

ハ五月三十一日迄ニ金融機關ニ保護預ケセシムルコト

ニ引揚豫定者ハ舊券預リ證ニ記載スル金額中ヨリ金融緊急措置令施行規則第五條第一項第一號ニ規定スル金額ノ範圍内ニ於テ新券ニ依ル拂戻(舊券預入及封鎖預金ノ支拂)ヲ爲スコトヲ得ルコト

三、右ニ依リ保護預ケヲ爲シ又ハニ依リ拂戻ヲ請求セントスルトキハ引揚豫定者タルコトヲ證スル地方長官又ハ市區町村長ノ證明書及個人金融通帳(個人金融通帳ナキトキハ米穀通帳又ハ之ニ代ルヘキ書類トス以下同シ)ヲ呈示セシムルコト

尙保護預リヲ爲シ又ハ拂戻ヲ爲シタルトキハ其ノ旨個人金融通帳ニ表示スルコト

四、ニ依ル舊券ノ預入ノ點ニ付テハ包括的ニ大藏大臣ノ許可アリタルニ付個々ニ許可申請ノ手續ヲ爲スヲ要セサルコト

藏理外第二三二八號

昭和二十一年七月二十日

大藏省理財局長

本邦カラ米國ニ向ケ出發スル外國人ノ  
携帶金等ニ關スル制限ノ免除ニツイテ

本邦カラ米國ノ官憲カ査證シタ旅行券ヲ持ツテ米國ニ向ケ出發スル朝鮮人、  
臺灣人、中華民國人、琉球人、「ドイツ」人「ハンガリー」人「ブルガリ  
ヤ」人及「ルーマニア」人ノ携帶金等ニ關スル制限ノ免除ニツイテハ本日  
附官報テ告示第五七九號ヲ發シタカコレカ税關ニ於ケル取締ハ二月八日附  
藏理外第二三三號ニ準シテ實施サレタイ



銀秘第一〇二九八號

昭和二十一年七月二十六日

大藏省銀行局長 江澤省三

日本銀行總裁 一萬田 尙 登 殿

朝鮮人、臺灣人、琉球島人、中華民國人、獨逸人、  
ハンガリー人、ブルガリア人及ルーマニア人カ米  
國ニ向ケ出發スル場合ノ通貨携帶輸出ノ特例ニ關  
スル件

七月二十日大藏省告示第五七九號ヲ以テ標記各國人カ本邦カラ米國ニ向ケ  
出發スル際米貨二百五十弗又ハ同相當額（邦貨換算額三千七百五十圓）以  
トノ通貨ヲ携帶輸出スル場合ニハ外國爲替管理法施行規則又ハ昭和二十年  
大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除セラレルコトニナツタ

ノテ爾今標記各國人ヨリ右ニ關シテ封鎖預金等ノ自由支拂ノ請求カアツタド  
キニハ米國ノ官憲ニ依ツテ査證サレタ旅行券ノ呈示ヲ受ケ其ノ裏面ニ拂戻  
額、拂戻月日、取扱金融機關名等所要ノ記入ヲ爲シタル上之ニ應スル様各  
金融機關ニ周知方取計ハレ度イ。  
右命ニ依ツテ通牒スル。

追而右ハ金融緊急措置令施行規則第五條第一項第二號ノ規定ニ基ク當然  
ノ取扱テアルカラ念ノ爲申添ヘル。

銀秘第一四四八號

昭和二十一年九月二十五日

大藏省銀行局長 福田 赳夫

日本銀行總裁 一萬田 尙 殿

沖繩人ノ歸國旅費等ニ關スル件

標記ノ件ニ屬シテハ本年三月二十三日附銀秘第二二九號ノ通牒ニ依  
リ、本部ヨリ引揚歸國スル朝鮮人中華國人其ノ他ノ外國人トシ  
テ取扱ヲテス可キニ付御了知ノ上其ノ旨各金融機關宛御通知相成度  
依命通牒スル

第四、送金、取立並ニ預貯金預ケ換ニ關スル事項

裏面白紙

第四、送金、取立並ニ預貯金預ケ換ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件 名	頁
大藏省令第四十一號 (附録第二〇八號) (外管第一二三號)	三二八 三二八 三二八	昭和二十年八月十五日以前に在りタル預貯金ノ取立ハ朝鮮ニ在リタル預貯金ノ取立ニ對スル取立又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金ノ取立ニ對スル取立ニ依リテ生シタル銀行預金ノ取立ニ關スル件	1
大藏省告示第三七二號	三二八	第一第二項參照	
大藏省告示第三九九號 (外管第一二三號)	三二八 三二八	被仕向送金爲替及仕向取立爲替ノ代リ金ノ支9 改正大藏省告示第一九號(二二三九)	
大藏省告示第六號 (外管第六號)	三二七	第二項參照	

大藏省告示第三〇二號 （外管第三二二號）	四二〇 四二〇	外國向送金爲替ノ賣却代金並ニ輸出爲替ノ買入代金ノ拂戻ニ關スル件	12
融銀第四四號	八二九	外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命旨ニ關スル件	13
藏外管第八五九九號	〇一〇二三	政府資金送金等ノ制限ニ關スル件	21
藏外爲第二三七號	〇一〇一六	輸入手形ノ決済ニ關シ特別勸定開設ノ件	22
藏外爲第二六一號	〇一〇二六	外地預貯金ノ預ケ換ニ關スル債務引受命旨ニ基ク預ケ換預金ニ關スル件	23
融銀第六〇一號	〇一〇二二	外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命旨ニ關スル件	24
融銀第六二二號 （外管第三二八號）	〇一〇二五 〇一〇二八	朝鮮ヨリ送金又ハ取立金ノ支拂ニ關スル件	26

蔵外爲第三五三號	二〇一三一九	朝鮮ヨリ送金又ハ取立金ノ支拂ニ關スル件	28
蔵外爲第四七號	二〇一六一六	被向送金爲替又ハ仕向取立爲替代リ金支拂ニ關スル報告ノ件	29
大藏省外資局長	二〇一七一	朝鮮臺灣及關東州ヨリノ送金又ハ取立ニ依リ生シタル内地預金ノ支拂ニ關スル報告ノ件	32
蔵外爲第四八號	二〇一七一一	爲替豫約原相場ニ依ル取消ニ關スル件	34
蔵外爲第二九七號	二〇一七二八	爲替豫約原相場ニ依ル取消ニ伴フ持高策中勘定ヘノ出合取引ニ付テハ大藏省ノ承認ヲ要セサルノ件	35
蔵外爲第二一六號	二〇一七二七	第一參照	

裏面白紙

蔵外第一六三六號  
（外管第六五號）  
二二

八一九昭和二年八月十五日以後  
八二二ニ依リ生シタル預金ノ取扱ニ付スル件  
九一七外地ヨリ預ケ換及送金ニ依ル内地預貯金  
九二七出制廢止ノ件  
39

蔵外第一六三六號  
二二  
八一九昭和二年八月十五日以後  
八二二ニ依リ生シタル預金ノ取扱ニ付スル件  
九一七外地ヨリ預ケ換及送金ニ依ル内地預貯金  
九二七出制廢止ノ件  
39

70



大蔵省令第四十一號

昭和二十年勅令第五百四十二號「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ  
關スル件ニ基ク昭和二十年八月十五日以後ノ朝鮮ヨリノ送金、朝鮮ニ對スル  
取立又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金等ノ預ケ換等ニ依リテ生シタル銀行預金ノ拂  
戻ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年三月二十八日

大蔵大臣 子爵 齋 澤 敬 三

第一條 大蔵大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ左ニ掲クル銀行預金ノ拂戻ヲ受  
タルコトヲ得ス但シ尙次金額ノ累計カ壹萬圓ヲ越エサル場合ハ此ノ限ニ在  
ラス  
昭和二十年八月十五日以後朝鮮ヨリ生シタル送金食料ノ代リ金ヲ  
以テ支拂銀行ニ預入シタルモノ

二、同日以後朝鮮ニ仕向ケタル取立爲替ノ代リ金ヲ以テ取立銀行ニ預入シ  
タルモノ

三、朝鮮ニ在リタル預金、貯金等ニシテ同日以後本邦内銀行ニ預ケ換シタルモノ

前項ノ拂戻ヲ受クルニ付大蔵大臣ノ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬書式ニ依ル許可申請書ヲ大蔵大臣ニ提出スヘシ

第二條 前條第一項ノ規定ノ違反アリタル場合ニ於テハ其ノ行爲ヲ爲シタル者ヲ二年以下ノ懲役若ハ禁錮、三千圓以下ノ罰金、科料又ハ拘留ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(B47-337)

旧外国為替管理法関係告示集

番号	件名
	外国為替管理等諸規程(才ニ卷)目次
才3	外国人ノ本邦ヨリ引揚ニ関スル事項
才4	送金取立並ニ預貯金預ケ換ニ関スル事項
才5	登録国債ニ関スル事項
才6	外国ニ本店ヲ有スル商社ノ経理等及外国ニ支店ヲ有スル本邦商社ノ給付支払等ニ関スル事項
才7	外国居住者ノ本邦ニ有スル財産ニ関スル事項
才8	特定国人ニ関スル事項
才9	貿易為替管理規則関係
才10	特別措置預金ニ関スル事項
才11	在外財産報告等ニ関スル事項
才12	連合軍使用軍票ニ関スル事項
才13	其ノ他

大蔵省

裏面白紙

(附屬書式)

朝鮮關係預金拂戻許可申請書

(電話番號) 擔當者

大藏大臣 殿

昭和 年 月 日

申請者ノ住所  
廠業氏名又ハ商號  
(代表者氏名)

印

標額ノ于左ノ通及申請該也

一 拂戻ノ金額

二 預金ノ種類

三 拂戻活額ノ場所及名義

四 拂戻ノ定時制  
五 拂戻ヲ受ケントスル目的其他之ヲ必至トスル理由

大當初ノ差金額又ハ取立金額及送金又ハ取立ノ目的  
七 朝 録ニ於ケル仕出 行又ハ取立引受 行  
八 真ノ他参考トナルヘキ事項

注 意

- (一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ 納戻后ヲ 藤田シテ 大臣ニ 提出スヘシ
- (二) 本許可申請書ノ 用紙ノ 大キサハ 縦二五七 横三六五 耗トスヘシ

裏面白紙

一銀第二〇八號

昭和二十一年三月二十八日

大藏省銀行局長 江澤省三

大藏省理財局長 榎田光男

日本銀行總裁 新木榮吉 殿

昭和二十年八月十五日以後ノ朝鮮ヨリノ送金・朝鮮  
ニ對スル取立又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金等ノ預ケ換  
等ニ依リテ生シタル銀行預金ノ拂戻ニ關スル件

昭和二十年十二月六日附聯台軍總司令部發書 AG/22.2 (6) Dec 21 1945 基キ  
首題ノ件ニ關シテハ昨年十二月十五日附日本銀行宛大藏省金融局長外資局  
長通牒ヲ以テ昭和二十年八月十五日以後ノ朝鮮ヨリノ送金・朝鮮ニ對ス  
ル取立又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金等ノ預ケ換等ニ依リテ生シタル銀行預金

原本不明瞭

裏面白紙

ニ付縣計一萬圓ヲ總コル擬戻ヲ爲スニ當リテハ豫メ大臣ノ許可ヲ經スルコトトナシ察レル處今擬本件ニ關スル別紙大臣ノ許可ヲ三月二十八日公布シ毎日賞與セルニ付依前此段及通原案也

其而本件第一條ニ規定スル大臣ノ許可事ハ臨時府分資課ニ於テ取扱フニ由ル也

前本件貸付ノ本日迄通返セル理由ハ

一當時此項急務ニ當テ中ナルヲ以テ斯ナル預金ハ臨時府分資課ノ第一條ニ無用ノ不安ヲ與フルヲ避ケタルコト

二並該府長外資局長臨時ニ依リ昨午二月十三日ヨリ專賣上賞與シ來リ且

ツ又從察新ノ預金ノ支拂ハ一月千圓ニ制限シ居リタルコト

ニ依リ並當り當テ制定スルノ專賣カリシニ依ルモノニ有之候

原本不明瞭

裏面白紙

外幣第二三號

昭和二十一年四月一日

外事局長代

駐在員事務所長  
支店長 殿

朝鮮ヨリノ送金等ニ依リテ生シタル銀行預金  
拂戻ニ就スル件

昭和二十年八月十五日以後朝鮮ヨリノ送金、朝鮮ニ對スル取立又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金ノ預ケ換等ニヨリ生シタル銀行預金ノ拂戻ニ關シ大藏省連係ニ基キ昨年十二月十八日附外幣第一二八號ヲ以テ御通知ノ際後日之カ法則的指檢請セラルル旨併而御通知致置候處今般別紙ノ通り大藏省令第四十一號公布有之候

尙本年同係預金ノ拂戻ハ從來毎月一口二千圓ヲ限度トシ顧客セラレ居テ處金  
撤業急措命令及同施行規則ノ實施ニ伴ヒ之カ拂戻ニ付キテハ石借還等及



原本不明瞭

裏面白紙

旅行規則ノ規定ニ違キ毎月一口一千圓ノ額ニ於テ取扱ラズシテ  
モ生活費ノ必要額ハ同額中旅行規則ニ規定ノ限度ニ制限セラルルモノ  
ル旨大體通知スル有之。前記承知函ニ於テ  
石炭通知書也

原本不明瞭

裏面白紙

大蔵省告示第三九九號 改正大蔵省告示第一九號（二、三九）

左ニ掲クル場合ニ於テハ當該行為ノ當事者ニ對シ外國爲替管法施行規則  
又ハ昭和二十年大蔵省令第八十八號ノ規定ニ依ル兌換政ニ適用ラ免除ス

昭和二十年十二月四日

大蔵大臣 子爵 海澤 敬 三

外國ヨリ仕向ケラレタル送金爲替ノ代リ金ノ支拂フ爲ストキ又ハ外國へ仕  
向ケル取立爲替ノ取立代リ金ノ支拂フ爲ストキ但シ左ノ條件ヲ具備スル  
場合ニ限ル  
一、當該送金爲替又ハ取立爲替ノ金額乃本邦通貨ヲ以テ表示セララルモノナ  
ルコト  
二、當該送金爲替又ハ當該取立爲替ノ取立通知ハ昭和二十年九月二十三日  
以前ニ本邦ニ到着シ后ルコト

原本不明瞭

裏面白紙

三、當該送金爲替又ハ取立爲替ノ支拂金額カ千圓以下ナルコト  
 但シ當該送金爲替又ハ取立爲替カ二人以上ノ分ヲ百圓シタルモノナルト  
 キハ其ノ支拂額ハ一人ニ付千圓以下トス

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一二二號

昭和二十年十二月四日

支店長殿

外事局長代

被仕向送金爲替取立爲替ノ代リ金  
ノ支拂ニ付制限並報告免除ノ件

外國ヨリ仕向ケラレタル送金爲替ノ代リ金又ハ外國へ仕向ケタル取立爲替ノ  
取立代リ金ノ支拂ニ付キ外國爲替管理法施行規則又ハ大藏省令第八十八號ノ  
規定ニ依ル制限並報告ヲ免除スルコトト相成本日官報ニ告示セラレ候件ニ關  
スル電信再報旁々石告示寫及御送付候也  
而石送金爲替及取立爲替ニシテ大藏省告示所定ノ條件ヲ具シテ  
テ千圓迄支拂ニ得ルモノニ付テハ申請添候

11

82

大蔵省告示第三〇一號 外管第三二號（二、四二〇）ニヨリ連蒙  
左ニ掲ケル場合ニ於テハ外國爲替管理法施行規則又ハ昭和二十年大蔵省令  
第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス

昭和二十一年四月二十日

大蔵大臣 子爵 齋 澤 敬 三

一、外國爲替銀行カ其ノ賣却シタル外國向送金爲替ノ拂戻ヲ爲ストキ但シ左  
ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル

- (一) 當該送金爲替カ支拂ヲ受クル爲海外ニ送付セラレサリシコト
- (二) 當該送金爲替カ海外ニ送付セラレタルモ支拂カ爲サレスシテ本邦ニ返  
送セラレ居ルコト

融銀第四四號

昭和二十年八月二十九日

大藏省金融局長 式村 義 雄

日本銀行

總裁 澁澤 敬三 殿

今般銀行等資金運用令第七條ノ規定ニ基キ別紙ノ通外地預貯金等ノ預ケ換  
ニ關スル債務引受方命令相成候條御了知相成度此段及御通牒候也

別紙

其ノ行ハ別紙條件ニ依リ昭和二十年九月一日ヨリ債務ノ引受ヲ爲スヘ  
シ  
右銀行等資金通用令第七條ノ規定ニ依リ命令

昭和二十年八月二十九日

大藏大臣 津島 壽 一

外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命令

一、引受ヲ受クヘキ金融機關ノ範圍

朝鮮及關東州所在ノ左記金融機關トス

- (1) 朝鮮銀行 (一之ヲ他ノ銀行ト看做ス)
- (2) 朝鮮殖産銀行
- (3) 東洋拓殖株式會社
- (4) 朝鮮興業銀行
- (5) 朝鮮商業銀行
- (6) 朝鮮貯蓄銀行
- (7) 朝鮮信託株式會社
- (8) 金融組合



外地預貯金等ノ預ケ扱ニ關スル債務引受命令

一、引受ヲ受クヘキ金融機構ノ範圍

臺灣及關東州所在ノ左記金融機構トス

(1) 臺灣銀行 (之ヲ他ノ銀行ト看做ス)

(2) 臺灣商工銀行

(3) 彰化銀行

(4) 華南銀行

(5) 臺灣貯蓄銀行

(6) 臺灣信託株式會社

(7) 市街地信用組合

(8) 市街庄農業會

原本不明瞭

裏面白紙

外郎預貯金等ノ預ケ状ニ關スル債票引受命令

一 引受ヲ受クヘキ金銀紙幣ノ範圍

兵ノ行ノ朝鮮、臺灣及滿洲州所在店舗（之ヲ他州行ト看做ス）

二 引受ヲ受クヘキ金銀紙幣ノ種類

(1) 特別當座預（貯）金

(2) 普通預（貯）金

(3) 定期預（貯）金

(4) 活期預（貯）金

(5) 定期積（貯）金

(6) 活期積（貯）金

(7) 信託金

三 金

元金又ハ現金

原本不明瞭

裏面白紙

大徳寺ノ寺期以御免

同前二ノ年九月一日ヨリ別ニ下ノ大徳ノ指示スル日迄トス

其引受

徴収セサルコト

大徳 係

道場ナル據候ヲ徴スルコト但シ已ムヲ禱サル候旨及兵ノ行ノ地ノ店肆ノ  
候所ヲ引受クル場百ハ此ノ候リニ在ラス

其手 係

同前ケ候所求者ヨリ其好等ノ遺候又ハ証書及御ケ書請求者ニ通ラ示  
セシメ石呈示ヲ受ケタル店肆ハ請求書記付書寫ト石廻候又ハ證書トラ  
候旨ノ上石記候事項逆候又ハ証書及印籠ノ不真正ナルコトヲ認ムヘキ  
候旨ナル事案ナキ場百ニ於テハ之カ内均店額金ヘノ預ケ候ニ應スルコ  
ト

同前ケ候所求者タルトキハ示示ヲ受ケタル遺候又ハ證書ニ預ケ候ヲ為

タル日附、金額及店名ヲ記入シ印章ヲ押捺シテ之ヲ預ケ以テ請求ニ  
返戻スルコト

八 預ケ金ノ種類

(一) 零別當預金(貯)金、普通貯金及通帳貯金ハ普通預金トシテ預ケ返ラ  
スルコト

(二) 定期預金(貯)金、活期貯金、定期積金及金証信託ハ定期預金トシテ預  
ケ返ラスルコト

(三) (一)及(二)ノ預金支拂ハ一口ニ付一ヶ月累計千圓ヲ超エサル金額トシ其ノ  
旨通帳又ハ證書ニ表示スルコト

六 預ケ金預金ノ決済方法

(一) 預ケ金ヲ返シタル金額ハ借拂金ヲ以テ差控スルコト

(二) 預ケ金ヲ爲シタル店員ハ預ケ返請求者ヨリ請求シタル預ケ返請求書ニ  
返ノ中一週ノ相手方金額被控ニ送付シ預ケ返金額ノ決済ヲ受クルモノ  
トス

原本不明瞭

裏面白紙

(三) 朝鮮及關東州ニ於ケル金融組合ニ對スル預ケ換金額ニ付テハ天々ノ金融組合聯合會ニ於テ總テ決濟ノ責ニ任スルモノトス  
(四) 臺灣ニ於ケル市街地信用組合及市街庄農業會ニ對スル預ケ換金額ニ付テハ臺灣產業金庫ニ於テ總テ決濟ノ責ニ任スルモノトス  
(五) 預ケ換金額ニ對シテハ預ケ換ノ日ヨリ決濟ノ日迄日數ニ應シ日歩一錢ノ割合ノ利息及郵送料ヲ請求シ得ルモノトス

七 其ノ他

其他必要ナル事項ニ付テハ大藏省金融局長ヨリ之ヲ指示スルモノトス

原本不明瞭

裏面白紙

藏外管第八五九九號

昭和二十年十月二十三日

大藏省外資局長

各省會計課長 殿

政府資金送金等ノ制限ニ關スル件

本月十五日公布セラレタル金銀有價証券等ノ輸出入等ニ關スル金融取引ノ  
取締ニ關スル大藏省令第八十八號ニ依リ爾後政府資金ノ外國ヨリノ若ハ外  
國ヘノ送金又ハ外國ニ本店若ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ内地ニ在ル支  
店若ハ出張所等ニ對スル債務ノ支拂等ニ付テハ同令第二條ニ依リ大臣  
ノ許可ヲ要スルコトトナリタルニ付御諒知相成度

原本不明瞭

裏面白紙

豫外為第貳參七號

昭和二十年十一月六日

大藏省外資局長 野田 卯一

御 行 中

輸入手形ノ決済ニ關シ特別勅定開設ノ件

聯合軍最高司令部ヨリ指示アルタルニ依リ昭和二十年大藏省告示第三百七十一號第四號ニ該當スル輸入手形ノ決済ニ付テハ一先開設ヲ開設シ他ノ諸  
勅定ト混同セサル様措置相成度此旨及通知候也

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十年十一月二十六日

大蔵省 外資局長

日本勸業、横濱正金、安田、三菱、住友

銀行 御中

外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引

昭和二十年八月二十九日 外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命書ニ  
基キ朝鮮、臺灣及關東州ニ於ケル預貯金ハ内地店ノ預貯金ニ預ケ換セラ  
レタルモ昭和二十年九月二十四日以前同月十五日ノ期間ニ預ケ換セラ  
限リ無効ナルニ依リ目下之カ收扱方ニ關シ聯合軍校高司令部ノ折衝中  
ナリ之カ具體的決定ヲ見ル迄ハ一ヶ月ヲ要ス石類等ノ中  
又ハ之モ當然停止スヘキモノナルニ付  
石爲念及巡歴候



原本不明瞭

裏面白紙

總銀第六〇一號

昭和二十年十二月十二日

大藏省金融局長 久保 文 藏

日本銀行總裁 新 木 榮 吉 殿

外地預貯金等ノ預ケ扱ニ關スル債券  
引受命令ニ關スル件

本件ニ關シ茲ニ横濱正金銀行外八行ニ對シ債務引受命令ノ發動相成候處平  
日之カ取扱方ニ關シ別紙ノ通り受命銀行（除朝鮮銀行及臺灣銀行）ニ對シ  
通牒致置候條御了知相成度此段及通知候也

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十年十二月十二日

大藏省金融局長 久保文藏  
大藏省外資局長 野田卯一

外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務  
引受命令ニ關スル件

本件ニ關シテハ昭和二十年八月二十九日附ヲ以テ貴行ニ對シ命令相成候處  
九月二十四日以降ニ於テハ昭和二十年勅令第五百七十八號及昭和二十年十  
月大藏省令第八十八號ニ依リ大藏大臣ノ許可又ハ承認ヲ受クルニ非サレハ  
標記預貯金ノ預ケ換ヲ爲シ得サルコトトナリタルモ九月二十三日以前ニ於  
テ既ニ石預貯金ノ預ケ換手續ヲ完了シ内地店舗ノ預貯金ト爲リ居レルモノ  
ニ付テハ標記命令別紙條件ニ基キ當然之カ支拂ヲ爲スヘキモノナルニ付爲  
念及遺儀候也

別紙條件 昭和二十年八月二十九日

函 第 六 二 一 號

外 資 第 一 二 八 號 (三〇一三八) ニヨリ 通 牒

昭 和 二 十 年 十 二 月 十 五 日

大 藏 省 金 庫 局 長 久 保 文 藏  
大 藏 省 外 資 局 長 野 田 卯 一

日 本 銀 行 總 裁 新 木 榮 吉 殿

朝 鮮 ヨリ ノ 送 金 又 ハ 取 立 金 ノ 支 拂 ニ 關 ス ル 件

標 記 ノ 件 ニ 關 シ 聯 合 國 最 高 司 令 部 ヨリ 本 年 八 月 十 五 日 以 降 ニ 於 ケ ル 朝 鮮  
ヨリ ノ 送 金 ( 通 帳 又 ハ 證 書 ニ 依 ル 預 ケ 換 ヲ 含 ム ) 又 ハ 取 立 金 ニ シ テ 内 地  
銀 行 預 金 ト 爲 リ 居 レ ル モ ノ ノ 支 拂 ニ 關 シ 別 紙 寫 ノ 通 同 司 令 部 ノ 專 断 承 認  
無 キ 限 リ 一 萬 圓 ( 既 往 支 拂 額 ヲ 含 ム ) ヲ 超 過 シ 右 預 金 ノ 支 拂 ヲ 爲 ス コ ト

ヲ得サル旨指令有之候ニ付テハ其ノ旨各銀行（含貯蓄銀行）ニ對シ至急  
周知方取計相成度此致及通候也  
追而本件ニ關シテハ近ク法制的措置ヲ講スル豫定ニ有之爲念申添候

別紙寫略

裏面白紙

朝鮮銀行 第五〇號

昭和二十年十二月十九日

日本銀行外務局 代理局長 殿

大藏省  
金融局 銀行課長  
外務局 爲替課長

朝鮮ヨリノ送金又ハ取立金ノ支拂ニ關スル件  
 十二月六日付ノ通り指令アリタルモ折衝ノ結果本年十二月十五日附銀  
 第六二二號通牒ノ通知取扱ノコトニ最高司令部ノ諒解ヲ得タルモノニシテ之  
 ヲ再述セハ八月十四日以前ニ於ケル朝鮮ヨリノ送金ハ通牒又ハ通牒ニヨル  
 預ケ換ヲ含ム一又ハ取立金ニシテ内地銀行預金トナリ居ルモノノ支拂ハ金  
 額ニ制限ナク最高司令部ノ承認ヲ要セス八月十五日以後十月十四日迄ニ石  
 送金又ハ取立金ヲ以テ内地銀行預金ニ振替濟トナレルモノハ一先(既往支  
 拂額ヲ含ム)ヲ超過シ之カ支拂ヲ爲ストキ最高司令部ノ承認ヲ要スルモ  
 ノニ有之石爲念通牒候

版外爲第四七號

昭和二十一年一月十二日

大蔵省外資局長 野田 卯一

銀行 御 中

昭和二十年大蔵省告示第三九九號ニ基キ爲シタル外國ヨリ仕向ケラレタル  
送金爲替ノ代リ金ノ支拂又ハ外國ヘ仕向ケタル取立爲替ノ取立代リ金ノ支  
拂ニ關スル報告ヲ左記様式ニ依リ提出相成度  
記

標式 被向送金爲替又ハ仕向取立爲替代リ金支拂ニ關スル報告

昭和年月日(提出)	昭和年月分	地域別	口数	爲替金額	支拂金額	所在地、銀行名	
						備	考
被仕向送金爲替ノ代リ金支拂							
仕向取立爲替ノ取立代金及支拂							
計							

備考

- (1) 本報告ハ毎月分ヲ翌月十五日迄ニ提出スルコト
- (2) 本報告ハ昭和二十年十二月四日以降ノモノニ付作成ノコト
- (3) 自昭和二十年九月二十四日 至同年十月十四日分ハ一括報告スルコト

外管第五號

昭和二十一年一月十六日

外 事 局 長 代

支 店 長  
駐在員事務所長 殿

大藏省ヨリ各爲替銀行宛別紙ノ通り通牒セル旨連絡有之候間御承知儘相成  
度此段御通知申上候也  
追而右通牒ニ基ク報告書ハ各銀行ヨリ直接大藏省宛提出スルモノニ有之  
爲念申添候



裏面白紙

昭和二十一年一月十二日

大藏省外資局長 野田 卯一  
大藏省金融局長 久保 文藏

銀行

朝鮮・臺灣及關東州ヨリノ送金（帳通又ハ證書ニ依ル預ケ換ヲ含ム）又ハ取立  
金ニシテ内地銀行預金ト爲リ居レルモノノ支拂ニ關スル報告ヲ左記様式ニ依リ  
提出相成度

記

(様式)

朝鮮銀行の支拂金又は取立  
に依り左の如く内訳額をノ支拂に歸スル報告

(昭和年月日提出) 昭和年月

所在地  
銀行名

區分	口數	送金又は取立に依り 左の如く内訳額	支拂金額	備考

備考 / 本報告ハ毎月分ヲ翌月十五日迄ニ提出スルコト  
之本報告ハ昭和二十年八月十五日以降ノモノニ付作成スルコト  
ヲ朝鮮分ニ付テハ昭和二十年銀第六二二號如左參照ノコト

號外第 四八 號

昭和二十一年一月十二日

大藏省外資局長 野田 卯一

銀行

昭二十年大藏省令第八十八號及外國爲管理法施行規則ノ規定ニ係ハラス  
替豫約ヲ原相場ヲ以テ取消ス場台ハ大藏大臣ノ許可ヲ要セサルコトト相成  
タルニ付此段依命通牒候也

原本不明瞭

裏面白紙

號外爲第二九七號

昭和二十一年一月二十八日

大藏省理財局長

日本銀行  
外務局長 殿

爲替稼約原相場取消ニ關シテハ本年一月十二日附號外爲第四八號ヲ以テ爲  
替銀行宛通牒致シタル處右取消ニ伴フ持高集中勸定ヘノ出台取引ニ付テハ  
當局ノ承認ヲ要セサルコトト決定相成候條御了知相成度

原本不明瞭

裏面白紙

郵理外第 三六三六 號

昭和二十一年八月十九日

大藏省理財局長

日本銀行外務局長 殿

昭和二十年八月十五日以後朝鮮カラノ送金  
等ニ依ツテ生シタ預金ノ取扱ニ關スル件

金融緊急措置令ノ改正ニ伴フ封鎖預金等ノ第一及第二封鎖預金等ノ分ニ關  
シテ昭和二十年八月十五日以後朝鮮カラノ送金等ニ依ツテ生シタ預金ハ次  
ノ様ニ取扱ハレルカラ一設金証書帳ニ對シテ右列知方取訂ハレタイ。

記

一 本件預金現在高ノ第一封鎖預金等及第二封鎖預金等ヘノ區分ニツイテハ  
一設預金ノ例ニ依ルコト。

ニ當初預入額中一萬圓ヲ超エル部分ニツイテハ依然昭和二十一年大蔵省令  
 第四十一號ニ依ル引出ノ制限カアルコト。  
 三、從ツテ一假預金ノ例ニ依リ第一製債預金等ニ入レラレタ金額カラノ引出  
 ハ當初ノ預入額カラノ引出額カ一萬圓ニ滿タナイ場合ニ其ノ差額ニ限リ  
 之ヲナシ得ルコト。

原本不明瞭

裏面白紙

外管第六五號

昭和二十一年八月二十一日

支務所 長 殿

外務局長 代

昭和二十年八月十五日以後朝鮮ヨリノ送金等ニ依リ生シタル預金ヲ取扱ニ關スル件

昭和二十年八月十五日以後朝鮮ヨリノ送金・朝鮮ニ對スル取立・又ハ朝鮮ニ在リタル預貯金ノ預ケ替等ニヨリ生シタル銀行預金ノ取扱ニ關シ候ニ照和二十年十二月二十八日付外管第一二八號並ニ本年四月一日付外管第二三號ヲ以テ御通知致シ置候處今同金融緊急措置令ノ修正ニ依リ第一第二ノ封鎖預金ノ區分ヲナスコトト相成大抵省ヨリ別紙ノ通り一紙金融檢査局ヘ局知万依屬有之候處貴局管下一紙金融檢査局ニ封シ可然御送給相成度御依頼申上候也

裏面白紙

蔵理外第二八〇三號

昭和二十一年九月十七日

理財局長

日本銀行外事局長 殿

外地預金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命令ノ條件一部削除ニツイテ  
首途ニツイテ別紙ノ通り各關係先へ通牒シタカラ御了知アリタイ  
別紙

昭和二十一年九月五日

銀行局長  
理財局長

39

110

0000 1873



原本不明瞭

裏面白紙

日	横	住	三	三	安	帝	皇	朝
本	濱	友	和	友	友	友	友	友
業	金	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
銀	銀	行	行	行	行	行	行	行

宛

昭和二十年八月二十九日附銀第四十四號通牒外地預貯金等ノ預ケ換ニ  
 關スル債務引受命令中第八項預ケ換ノ條件(三)ハ之ヲ削除スル  
 石命ニ依リ通知ス

外管第七五號

昭和二十一年九月二十七日

支店長  
事務所長 殿

外 務 局 長 代

外地ヨリノ預ケ換及送金ニ依ル内地預貯金ノ拂出制限廢止ノ件

横濱正金銀行外八行ニ對スル外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命令ニ依ル内地預貯金及關東州、滿洲、支那及舊外地ヨリノ送金ニヨル内地預貯金（左記通條ニ依ルモノ）ノ拂出限度ハ毎月一千圓ト相成居候處今般拂出限度ヲ廢止シ金融緊急指置令ノミヲ適用セラルルコトト相成大藏省ヨリ横濱正金銀行外八行宛通條セラレ候間御承知相成度候也

原本不明瞭

裏面白紙

年月日

記

番

宛

先

考

昭和二〇 八二九 陸銀第四四號

正金、朝鮮、  
臺灣、勸業  
帝國、三菱  
三和、安田  
任友

二〇、八三一 廠外爲第八三一號 各爲蓄銀行(二〇、九一一外管第八九號)

二〇、九一〇 第八二九八號 二〇、九二〇外管第九〇號

二〇、九一〇 第八二九九號 二〇、九二〇外管第九〇號

二〇、八二一 廠銀 第二一六號 二〇、九一一外管第八九號

二〇、九一四 第二六四號 全國金融統制會(別紙一)

二〇、一一二 第六〇一號 日本銀行(別紙二)

原本不明瞭

裏面白紙

別紙一

融銀第二六四號

昭和二十年九月四日

大藏省金融局長

式村 義 雄

全國金融統制會

會長 益 澤 敬 三 殿

外地引揚邦人ノ持歸リタル現地通貨ノ取扱ニ關シテハ本年八月二十一日附  
 融銀第二一六號ヲ以テ通牒致置候處日本銀行券トノ引換殘餘額ニ付テハ引  
 換請求者ノ便宜ヲモ考應シ爾今引換ヲ行ヒタル銀行ノ預金ト爲サシムルコトニ  
 取扱ヲ變更スルコトト取扱既ニ行具ノ旨關係銀行（交換代理店ヲ含ム）ニ  
 御示通相成ルト共ニ可然御指導相成度此致及ニ候儀也

原本不明瞭

裏面白紙

別紙二

融銀第六〇一號

昭和二十年十二月十二日

大藏省金融局長 久保 文 藏

日本銀行總裁 新 木 榮 吉 殿

外地預貯金等ノ預ケ換ニ關スル債務引受命令ニ關スル件

本件ニ關シ該ニ檢濟正金銀行外八行ニ對シ債務引受命令ノ發動相成候  
處本日之カ取扱方ニ關シ別紙ノ通り受命銀行（除朝鮮銀行及臺灣銀行）  
ニ對シ速様致直候條御了知相成度此段及通知候也（前紙参照）

第五、登録國債ニ關スル事項

116

裏面白紙

原本不明瞭

裏面白紙

第五登録國債ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件	名	頁
告示 第三七號	二一 二 二六	本邦國債ノ登録地ヲ外國ヨリ本邦内地ニ變更スルノ件		一
外管 第一七號	二一 二 二六			
國債 第三四號	二一 六 四	國債登録地ノ内地ヘノ變更等ニ關スル件		三

大蔵省告示第三十七號

左ニ掲クル場合ニ於テハ當該行爲ノ當事者ニ對シ外國爲替管理法施行規則  
又ハ昭和二十年大蔵省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス  
昭和二十一年二月二十六日

大蔵大臣子爵 澁澤 敬三

一 本邦ニ在ル個人ノ所有スル登録本邦國債證券ノ登録地ヲ外國ヨリ本邦ニ  
變更スルトキ但シ其ノ金額ハ一人ニ付千圓以下ニ限ル

ニ 本邦商社力其ノ本邦ニ引揚ケタル在外勤務職員等ノ給料及諸手當ノ支拂  
ヲ爲ストキ但シ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル

- (1) 當該支拂金カ在外支店等ニ對スル勘定ニ借記セラレサルコト
- (2) 當該本邦 商社ノ資産カ其ノ在外支店等ニ對スル負債ノ總額ヲ超過シ  
居ルコト



外管第一七號

昭和二十一年二月二十六日

外 事 局 長 代

支 店 長 殿  
駐在員事務所長

左記ノ件ニ關シ外國爲管理法施行規則並昭和二十年大藏省令第八八號ノ規定ノ制限並報告ヲ免除スル旨本月二十六日別紙ノ通り官報ニ告示セラル、コト、相成候間此段及御通知候也

記

- 一 本邦居住者カ在外財産ノ相續ニ關スル件
- 一 本邦ニ引務ケタル在外勤務職員等ノ給料及諸手當ノ支拂ニ關スル件
- 一 登録本邦國債證券ノ登録並ノ變更ニ關スル件

原本不明瞭

裏面白紙

借第三四章

昭和二十一年九月四日

支店御中

江外本行代理店又ハ郵便局ヲ支辨場所トスル個人名義登録印像ノ内地ニ  
 以ケル登録除却及登録變更並ニ支辨場所ノ内地ヘノ變更ハ本年二月二十  
 八日大蔵省告示第三十七號ニ依リ一人ニ付一千圓迄ハ大蔵大臣ノ許可ヲ  
 得セシメ記名者ノ請求ニ依リ取扱ヒ得ルコト、相成居候處目下外地トノ通  
 信連絡杜絶ノ爲メ右請求ニ基ク利子支拂原票取戻等ノ手續ヲ早急ニ履踐  
 スルハ困難ニシテ多數外地引揚者ノ切迫セル要望ニ應シ得サル實狀ニ有  
 之候ニ付テハ郵機ノ措置トシテ此種請求アリタル場合ハ左記ニ依リ處理  
 スルコト、相成候間左記御承知、管下代理店ニモ可然御移様相成度此段  
 及御連絡候也

追  
附

(一) 登録額一千圓ヲ超スル部分ノ登録ニ關シ支拂場所等ニ付大藏大臣ノ許可アリタル場合ノ取扱ハ本文取扱ニ準スルコト

(二) 内地ヲ支拂場所トスル在外居住者個人名義登録額債ニ付所有者カ内地歸還後爲ス任所変更及登録除却等ノ請求ニ關シテハ登録後ニ制限ナク在內居住者名義登録額債ノ場合ニ準シ取扱フコト  
ト御承知相成度此段申添候

記

普通登録

在外取扱店（國債事務代理店及郵便局ヲ總稱ス）ヲ支拂場所トスル個人名義普通登録額債ニ付一千圓迄ノ登録除却、登録変更及支拂場所ノ内地取扱店（本行本支店、代理店及郵便局）ヘノ變更請求アリタルトキハ  
(1) 請求書ニ「支拂場所外地ノモノ」ナル旨ヲ朱筆シ國債局ニ送付スル

コト

4

但登録額一人一千圓ヲ超ユル分ニ付一千圓以内ノ登録額ニ付テ支拂場所變更ノ請求アリタル場合ハ支拂場所變更ニ依ラス登録ノ一部除却ノ方法ニ依ラシムルコト

(註) 除却又ハ登録變更請求分ニ付テハ登録済通知書(又ハ之ニ代ルヘキ證明書等)ヲ呈示セシメ財産調査令ニ依ル申告ナキモノニ付テハ追加申告ヲ爲サシメ右通知書等ニ昭和二十一年大藏省告示第三〇三號ノ一ニ依ル表示ヲ爲シタル上請求書ト共ニ債債局ニ送付スルコト

(2) 之等請求分ノ利子支拂ニ付テハ

(イ) 登録變更分及支拂場所變更分ハ登録日又ハ之カ取扱ヲ爲シタル日以降ニ支拂期ノ到來スル分ヨリ新支拂場所ニ原票(副本)ヲ送付スヘキニ付右ニヨリ利子ヲ支拂フコト  
除却請求分ニ付テハ同日以後ノ利渡期ニ屬スル利札附屬ノ證券ヲ

登録除却代證券トシテ送付スヘシ  
 (ロ) 右以前ノ未拂分ニ付テハ後日利子支拂原票等ノ帶邊ヲ回收シタル  
 トキ未拂額ヲ確認シタル上支拂ヲ爲スコト

ニ臨時登録

臨時登録國債ニ付前項ニ依ル登録除却、登録變更及支拂場所變更ノ  
 求アリタルトキハ

(1) 請求者ヨリ念書(外地トノ連絡回復後請求者ノ權利ヲ有セサルモノ  
 ナルコト判明シタル場合ハ支拂額ノ辨償又除却代證券ノ返還ヲ  
 スヘキ旨記載シタルモノ)、登録済通知書(タハ之ニ代ルヘキ證明  
 書等)及支拂場所、登録變更ノ場合ニ印鑑ヲ提示セシメタル上ハ  
 等在我取扱店トノ通信回復ノトキ迄登録簿(正本及副本)、證券  
 ニ利子支拂原票ノ引揚ヲ爲サシテ之等請求ニ應スルコト  
 (註) 請求受理ニ當リ財産調査令ニ依ル申出トキモノニ付テハ(1)、

原本不明瞭

裏面白紙

(註)ニ準シ取扱フコト  
 (2)前項ニ依リ登録変更、除却又ハ支拂場所變更ヲナシル場合ノ利子支拂等ニ付テハ普通登録ノ場合ニ準シテ取扱フコト  
 除却代價券ニ付テハ支店保管中  
 ニ付テハ本店ニ請求ノ上交付スルコト  
 (3)登録額一人一千圓ヲ超ニル分ニ付 千圓以内ノ登録額ニ付テ支拂場  
 所變更ノ請求アリタル場合ノ取扱 (1)但書ニ依ルコト  
 (4)本取扱方ニヨリ整理セル請求書、索引及 (5)ニヨリ同水セル登録簿一  
 ハ昭和十一年大蔵省告示第三七號ニ依ルナリ  
 (5)ニ依リ一部除却ヲ爲シタル場合 登録済通知書ニ「昭和十一年  
 太蔵省告示第三七號ニヨリ除却何圓」ト附記、店名記入ノ上  
 人ニ交付スルコト  
 (5)外地トノ通信連絡回復スルコト、ナリタルトキハ登録所ハ(1)ニ  
 ヨリ回収ヲ保留シタル證券登録簿及利子支拂原票等ヲ逐ニ回収スルコト

第六、外國ニ本店ヲ有スル商社ノ經理等及外國ニ支店  
ヲ有スル本邦商社ノ給與支拂等ニ關スル事項

裏  
面  
白  
紙

原本不明瞭

裏面白紙

第六、外國ニ本店ヲ有スル商社ノ經理等及外國ニ支店ヲ有スル本邦商社ノ給與支拂ニ關スル事項

著	號	年	月	日	件	名	頁
大藏省告示	第三八五號	二〇	一	一七	1	外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在ノ支店又ハ代理店ノ經理等ニ關スル制限一部免除ノ件	
(大藏省告示)	第三九八號	二〇	一	一四	5	外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ報告表提出ニ關スル件	
(大藏省告示)	第三九八號	二〇	一	一四	7	外國人トノ契約制限ノ免除ニ關スル件 改正大藏省告示第一三號(二〇一三) 第二(參照)	
(大藏省告示)	第三九八號	二〇	一	一四			
(大藏省告示)	第三九八號	二〇	一	一四			



原本不明瞭

裏面白紙

西蔵省告示第一八號二一  
一外管 第九號二一

二二

七外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在支店又ハ代理  
店等ノ事業再開轉換又ハ所有財產處分等ノ爲ニスル  
取引又ハ契約ノ許可申請書式ニ關スル件

9

一外爲第三一四號二一

二二

ノ外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在支店代理店等  
ノ事業再開轉換又ハ所有財產ノ處分ニ關スル件

14

一外爲告示第三七號二一

二二

第六參照

一外管告示第三六號二一

二二

外國商社ノ預貯金ノ預ケ換等ニ關スル件

17

一外管告示第三七號二一

二二

三三

三三

一外管告示第六九號二一

二二

外國居住者ノ本邦内ニ在ル支店・出張所其ノ他營業  
一外管告示第六九號二一

19

一外管告示第七四號二一

二二

三三

三三

一外管 第一七號二一

二二

三三

第五參照

一外管告示第二四二一號二一

二二

三三

大藏省告示第三七號中「本邦商社」ノ意義ニ關スル件

24

127

原本不明瞭

裏面白紙

大藏省告示第三八五號

左ニ掲タル場合ニ於テハ當該行爲ノ當事者ニ對シ外國爲替管理法施行規則又ハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス

昭和二十年十一月十七日

大藏大臣子爵 澁澤 敬三

一 外國ニ本店ヲ有スル會社等カ其ノ本邦所在ノ支店又ハ代理店等ニ於テ左ニ掲ケル行爲ヲ爲ストキ但シ昭和二十年大藏省令第七十八號特定國財産等ノ保全ニ關スル件ノ適用ヲ受クル者ニ依リ直接又ハ間接ニ全部又ハ一部ヲ所有又ハ管理セラレ又ハ政府ノ命ニ依リ閉鎖セラレタル支店又ハ代理店等ニ於テ爲ス場合ヲ除ク

- (1) 昭和二十年九月二十三日以前ニ當該支店又ハ代理店等ニ於テ義務ヲ生シタル正當ナル俸給、給與、税金其ノ他ノ諸經費ノ支拂
- (2) 昭和二十年九月二十四日以後ニ當該支店又ハ代理店等ノ財産ノ維持又ハ保全ノ爲ニ要スル費用ノ支拂
- (3) 昭和二十年九月二十三日以前ノ取引ニ因リ生シタル當該支店又ハ代理店

等ノ債務ノ支拂又ハ債權ノ取立

(4) 前三號ノ支拂又ハ取立ノ爲必要ナル當該支店又ハ代理店等ノ爲ス本邦所在ノ金融機關ヨリノ預金ノ引出又ハ預入

外國ニ本店ヲ有スル會社等カ其ノ本邦所在ノ支店若ハ代理店等ニ於テ其ノ外國ニ於テ勤務スル職員ノ本邦内ニ在ル家族ニ對シ諸給與ノ支拂ヲ爲ストキ又ハ本邦ニ本店ヲ有スル會社等カ其ノ外國ニ於テ勤務スル職員ノ本邦内ニ在ル家族ニ對シ諸給與ノ支拂ヲ爲ストキ但シ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル

(1) 諸給與ノ外國ト本邦トニ於ケル分割支拂ノ區分カ昭和二十年九月二十三日以前ニ取極メラレ居ルコト

(2) 當該職員カ昭和二十年大藏省令第七十八號特定國財産等ノ保全ニ關スル件ノ適用ヲ受クル者及政府ノ命ニ依リ閉鎖ヤウレタル會社等ノ職員ニ非サルコト

(3) 昭和二十年八月十五日以後本邦ニ送金セラレタル資金ニ依リ支拂ハルルモノニ非サルコト

原本不明瞭

裏面白紙

蔵外爲第二四一號

昭和二十年十一月十七日

外國爲替銀行 御中

大藏省 外資局長

大藏省告示第三八五號ニ關シ外國爲替銀行ニ通知ノ件

大藏省告示第三八五號（本月十七日附官報参照）ニ依リ顧客カ貴行ニ對シ預金ノ預入又ハ引出ヲ爲サントスル場合ハ豫メ該預金ノ預入又ハ引出カ同告示ノ容認スル範圍ヲ逸脱スルモノニ非サルコトヲ確認ノ上御取扱相成度

追而右確認ノ方法トシテハ顧客ノ預入又ハ引出ニ際シ小切手其ノ他適宜ノ用紙ニ該預金ノ預入又ハ引出カ右大藏省告示ニ依リ容認セラレタル範圍ヲ逸脱スルモノニ非サル旨ヲ記載シ誓約セシムルコト、セラレ度

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一一〇號

昭和二十年十一月十七日

外事局長

支店長殿

大藏省ニ於テハ告示第三八五號ヲ以テ外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ在内地店舖ノ爲ス諸給與、税金其ノ他ノ支拂等並ニ本邦ニ本店ヲ有スル會社等ノ海外勤務職員ノ在内地家族ニ對スル諸給與ノ支拂ニ關シ其ノ一部ニ付行爲ノ制限並ニ報告ヲ免除セラルルコトト相成候間此段御通知旁ト得貴意候也

81

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一二三號

昭和二十年十二月五日

外事局長

支店長殿  
駐在員事務所長殿

昭和二十年大藏省令第八十八號第八條第一項ノ規定ニ依リ外國ニ本店等ヲ有スル會社等ノ報告ニ關スル件

左記大藏省告示ニヨリ外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ報告ヲ做スル件ニ付據ニ電信致置候處再報旁々此段及御通知候也  
記

大藏省告示第三九八號

昭和二十年大藏省令第八十八號第八條第一項ノ規定ニ依リ外國ニ本店等ヲ有スル會社等ノ報告ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十年十一月四日

大藏大臣 子爵 齋 澤 敬 三

昭和二十年十一月大藏省告示第三百八十五號ニ依リ外國爲替管理法施行規則

原本不明瞭

裏面白紙

又ハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限竝ニ報告ヲ免除セラレタル會社等ハ左記事項ヲ昭和二十年十二月二十日迄ニ大藏大臣ニ報告スヘシ前項ノ報告書ハ和文二通、英文一通ヲ作成シ最寄ノ日本銀行本店又ハ支店ヲ經テ提出スヘシ

一、本店等ノ所在地及商號

二、本邦内ニ在ル支店又ハ代理店等ノ所在地（本邦ニ本店ヲ有スル會社等ニ在リテハ外國ニ在ル支店又ハ代理店等ノ所在地）

三、本邦内又ハ外國ニ於テ製造シタル品目又ハ取引シタル品目

四、會社等ノ設立準備法

五、事業ノ種類及昭和十二年六月一日以降現在迄ノ本邦内及外國ニ於ケル事業活動ノ詳細（昭和二十年九月二十四日以降ノ事業活動ヲ含ム）

六、昭和十七年三月三十一日及昭和二十年九月二十四日現在ニ於ケル役員ノ氏名、國籍及住所

七、昭和十七年三月三十一日及昭和二十年九月二十四日現在ニ於ケル資本額ノ五分以上ヲ占ムル全株主又ハ出資者ノ氏名、國籍及住所

原本不明瞭

裏面白紙

大藏省告示第三號 改正大藏省告示第一三號（二二、二二二） 外管第七號（二二、二二三）  
 左ニ掲クル場合ニ於テハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制  
 限ヲ免除ス但シ外國ニ在ル財産ニ關スル契約又ハ外國ニ於テ全部若ハ一  
 部ノ履行セラルル契約ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

昭和二十一年一月十四日

大藏大臣子爵 齋 澤 敬 三

一、本邦ニ居住シ本邦ニ於テ營業ヲ營ム外國人（「ドイツ」人「イタリ」人  
 人「ブルガリア」人「フィンランド」人「タイ」人「ルーマニア」  
 人及「ハンガリー」人ヲ除ク）ト契約ヲ爲シ又ハ之カ履行ヲ爲ストキ  
 二、本邦ニ居住スル外國人（法人ヲ含ム）（「ドイツ」人「イタリ」人  
 「ブルガリア」人「フィンランド」人「タイ」人「ルーマニア」人  
 及「ハンガリー」人ヲ除ク）カ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占メ又ハ資本  
 金以外ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スル商社ニシテ本邦ニ於テ營業ヲ營ム



モノト契約ヲ爲シ又ハ之カ履行ヲ爲ストキ

三、本邦ニ支店又ハ代理店ヲ有スル外國商社ト當該支店又ハ代理店ノ本邦内ニ在ル財産ノ維持又ハ保全ヲ目的トスル契約ヲ爲シ又ハ之カ履行ヲ爲ストキ

四、聯合國最高司令部ニ依リ事業ヲ營ムニ付特別許可ヲ與ヘラレタル外國商社ノ支店又ハ代理店ト契約ヲ爲シ又ハ之カ履行ヲ爲ストキ

大藏省告示第十八號(外管第九號(二、三、六)ニヨリ通牒)

昭和二十年大藏省令第八十八號第六條ノ規定ニ依ル許可申請書中外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在支店、代理店等ノ事業ノ再開、轉換又ハ所有財産ノ處分ノ爲ニスル取引又ハ契約ノ許可申請書々式ヲ同條ニ於テ準用スル「外國爲替管理法施行規則第九十六條ノ規定ニ依リ」左ノ通牒ム

昭和二十一年二月七日

大藏大臣子爵 齋 澤 敬 三

原本不明瞭

裏面白紙

申請書々式第一號

外國會社等ノ本邦所在支店等ノ事業再開又ハ轉換ノ爲ニスル取引又ハ契約ニ關スル許可申請書

大藏大臣

殿

昭和 年 月 日

申請者、住所、職業、國籍

氏名又ハ商號

代表者氏名

印

標題ノ符左ノ通及申請候也

一、本店ノ所在地商號及資本金（公稱資本金並拂込資本金）

二、申請書ノ従前ノ事業種類及事業概要

三、申請者ノ事業再開又ハ轉換後ノ事業種類及事業概要

四、事業ノ再開又ハ轉換ノ豫定時期

五、事業活動ニ必要ナル資金調達方法並ニ其ノ資金使途

六 事業收支ノ概要

七 利益金ノ處分方法

八 事業ノ再開又ハ轉換ヲ必要トスル理由

九 其ノ他參考トナルヘキ事項

備考

(1) 本許可申請書ハ和文、英文各二通ヲ作製シ最寄日本銀行本支店ヲ經テ大藏大臣ニ提出スヘシ

(2) 事業概要ハ設備、生産高、販賣高其ノ他事業内容並ニ従業員數等ヲ記載スヘシ

(3) 事業收支ノ概要ハ財産ノ維持保全ニ必要ナル諸經費事業活動ニ伴ヒ生スヘキ貸借、租稅其他ノ費用等ノ内譯ヲモ記載スヘシ

(4) 昭和二十年十二月四日大藏省告示第三九八號ニ依ル報告書ヲ提出シ居ラサルトキハ右報告書(和文二通英文四通)ヲ本申請書ニ添付スヘシ

(5) 軍需工場ニシテ平時生産へ轉換セントスルモノナルトキハ米國第八軍ノ許可書寫ヲ本申請書ニ添付スヘシ

原本不明瞭

裏面白紙

申請書々式第二號

外國會社等ノ本邦所在支店等ノ所有財産ノ處分ノ爲ニスル取引又ハ契約ニ  
關スル許可申請書

大藏大臣 殿

昭和 年 月 日

申請者、住所、職業、國籍

氏名又ハ商號

代表者氏名

印

標題ノ件左ノ通り及申請候也

一 本店ノ所在地、商號及資本金（公稱資本金並ニ拂込資本金）

二 申請者ノ事業種類及事業概要

三 所有財産ノ處分ノ爲ニスル取引又ハ契約ノ内容及其ノ豫定時期

四 所有財産ノ處分ニ依リ收得スヘキ資金ノ使途

五所有財産ノ處分ヲ必要トスル理由

六其ノ他參考トナルヘキ事項

備考

(1) 本許可申請書ハ和文、英文各二通ヲ作製シ最寄日本銀行本支店ヲ經テ

大藏大臣ニ提出スヘシ

(2) 事業概要ハ設備、生産高、販賣高其ノ他事業内容並ニ従業員數等ヲ記

載スヘシ

(8) 昭和二十一年十二月四日大藏省告示第三九八號ニ依ル報告書ヲ提出シ居

ラサルトキハ右報告書（和文二通、英文四通）ヲ本申請書ニ添付スヘ

シ

原本不明瞭

裏面白紙

蔵外爲第三一四號

昭和二十一年一月三十日

大蔵省外資局長

日本銀行外事局長殿

外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在支店代理店等ノ事業再開再換又ハ所有財産ノ處分ニ關スル件

昭和二十年大蔵省令第八十八號ニ依ル取引制限ノ爲從來首題事業活動等ハ行儀ミノ状態ナリシ處今般聯合軍司令部ノ承認ヲ得テ右制限ヲ緩和シ此等事業活動等ノ促進ヲ圖ルコト、相成候ニ付テハ之カ取扱ハ申請者ノ便宜ヲ圖ルト共ニ本許可事務ノ迅速圓滑ヲ期スル爲別紙「處理方針」ニ依リ爲スコト、致候爲了知ノ上可然御取計相願度

追而本件ニ關シテハ近ク大蔵省告示ヲ以テ許可申請書式ヲ告示スルト共ニ新聞ラジオ等ニ依リ發表一般ニ周知方取計フニ付併ヤテ御承知相成度

原本不明瞭

裏面白紙

外國ニ本店ヲ有スル會社等ノ本邦所在支店又ハ代理店等ノ事業ノ再開、轉換ニ伴フハ所有財産ノ處分ノ爲ニスル取引又ハ契約ニ關スル昭和二十年大藏省令第八十八號ニ依ル許可申請書ノ處理方針

一、許可申請書ノ提出

許可申請書ハ別紙様式ニ依リ和文及英文ヲ以テ各々正副二通ヲ作製セシメ最寄日本銀行本支店ヲ經由シ大藏大臣ニ提出セシメルコト(大藏省告示ヲ以テ發表ス)

二、許可方針

(一) 再開又ハ轉換セントスル事業ハ生活必需品及其ノ生産ニ必要ナル物資ノ製造又ハ販賣並ニ新カル生産ニ必要ナル「ウービス」ニ限ルコト  
支店又ハ代理店等ノ所有スル資金、施設、技術等ヲ以テ新會社ヲ開設シ新カル事業ヲ營ム場合モ具體的事情ヲ審テ上許可シ得ルモノトスルコト



(二) 所有財産ニシテ處分シ得ルモノハ生活必需品又ハ其ノ生産ニ必要ナルモノニ限ルコト

右以外ノ所有財産ト雖モ其ノ處分ニ依リ得タル資金ヲ以テ支店又ハ代理店等ノ經費等ノ支拂ニ充ツル場合ハ具体的事情ヲ審査ノ上許可シ得ルモノトスルコト

(三) 前二項ニ該當スル場合ト雖モ左ニ掲クル取引又ハ契約ヲ爲ス場合ヲ除クコト

(イ) 在外者ノ請求又ハ指圖ニ依ル取引

(ロ) 在外財産ニ關スル取引若ハ契約又ハ全部又ハ一部カ外國ニ於テ履行セラル、契約

(ハ) 支店又ハ代理店等ノ資産ニ著シク減少若ハ毀損シ又ハ外國人株主ノ利益ヲ害スル取引

(四) 軍需工場ノ平時生産ヘノ再轉換ヲ爲スモノナルトキハ米國第八軍ノ許可ヲ得タルモノナルコト

大蔵省告示第三一六號 藏理外第一二一四號（二一、五二）ニヨリ通牒  
左ニ掲クル場合ニ於テハ昭和二十年大蔵省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限ヲ  
免除ス

昭和二十一年五月二日

大蔵大臣 子爵 齋 澤 敬 三

外國ニ本店ヲ有スル商社ノ本邦ニ在ル支店又ハ代理店等カ本邦ニ在ル銀行ニ  
預入レアル預貯金ヲ本邦ニ在ル他ノ銀行ニ預ケ換ヘテ爲ストキ又ハ當該預貯  
金ノ種類ノ變更ヲ爲ストキ 但シ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル  
一、他ノ法令ノ規定ニ違反セサルコト  
二、預貯金ノ名義人ニ變更ナキコト  
三、金額ニ變動ナキコト

原本不明瞭

裏面白紙

外管第三七號

昭和二十一年五月二日

外事局長代

支店長  
駐在員事務所長 殿

外國商社ノ預貯金ノ預ケ換ヘ等ニ關スル件

大藏省ニ於テハ首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り告示致候處特定國人（舊樞軸國人）ノ預貯金、閉鎖金融機關ノ預貯金、特別措置預金（圓貨並ニ外貨表示）ハ本取扱ヨリ除外セララルル旨大藏省ヨリ連絡有之候間御含置相成度此段御通知申上候也

大藏省告示第六九二號 外管第七四號（二、九二一）ニヨリ通牒

昭和二十年大藏省令第八十八號第八條第一項ノ規定ニ基イテ、外國居住者ノ本邦内ニ在ル支店、出張所等ノ報告ニ關スル件ヲ次ノヤウニ定メル

昭和二十一年九月二十三日

大 藏 大 臣

外國居住者ノ本邦内ニ在ル支店、出張所其ノ他ノ營業所又ハ事業所（昭和二十一年二月大藏省告示第十八號ニ基キ事業ノ再開又ハ轉換ニツイテ、大藏大臣ニ對シテ許可申請ヲナシ昭和二十年大藏省令第八十八號ニヨリ許可ヲ受ケタモノヲ除ク）ノ代表者（代表者カナイトキハコレニ代ル責任者）ハ左ノ書類ヲ大藏大臣ニ提出シナケレハナラナイ。

原本不明瞭

裏面白紙

一、昭和二十一年中ノ收支計算書及同年末日ニオケル貸借対照表  
二、昭和二十二年以降各半年毎ニ當該半年中ニオケル收支計算書及ヒ當該期  
末ニオケル貸借対照表  
前項ノ收支計算書及ヒ貸借対照表ハ各和文ニテ一通及ヒ英文ニテ三通ヲ作  
成シ第一號ノモノハ昭和二十二年一月十五日迄ニ、第二號ノモノハソノ半  
年ノ經過後十五日以内ニ提出シナケレハナラナイ。

大藏省告示第六九三號 外管第七四號（二一、九二一）ニヨリ通牒  
 昭和二十年大藏省令第八十八號第八條第一項ノ規定ニ基イテ、外國居住者  
 ノ本邦内ニ在ル支店、出張所等テ同令ニ基ク昭和二十一年二月大藏省告示  
 第十八號ニ基イテ事業ノ再開又ハ轉換ヲツイテ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタモ  
 ノノ報告ニ關スル件ヲ次ノヤウニ定メル

昭和二十一年九月二十三日

大 藏 大 臣

外國居住者ノ本邦内ニ在ル支店、出張所、其ノ他ノ營業所等テ昭和二十一  
 年二月大藏省告示第十八號ニ基イテ事業ノ再開又ハ轉換ニツイテ大藏大臣  
 ニ對シテ許可申請ヲ爲シ昭和二十年大藏省令第八十八號ニ依リ許可ヲ受ケ  
 タモノノ代表者ハ左ノ書類ヲ大藏大臣ニ提出シナケレハナラナイ。  
 一、事業ノ再開又ハ轉換ノ許可ヲ受ケタ日カラ昭和二十一年九月三十日迄ノ  
 期間ニ於ケル損益計算書

二、昭和二十一年十月以降曆年ニ依ル四半期毎ニ當該四半期ニ於ケル總テ  
ノ收入、事業ニ要シタル經費、差引事業上ノ純收入金、諸種ノ固定費  
及右ヲ差引キタル結果ノ純益金又ハ純損金ヲ示ス計表

三、昭和二十一年十二月三十一日現在及ヒ爾後ノ曆年ニ依ル四半期末現在  
ニ於ケル貸借對照表

前項ノ損益計算書、諸計表及貸借對照表ハ各和文テ一通及ヒ英文テ三通  
ヲ作成シ、第一號ノモノハ昭和二十一年十月十五日迄ニ、第二號及第三  
號ノモノハ當該四半期又ハ當該期日ノ經過後十五日以内ニ提出シナケレ  
ハナラナイ。

Statement of Profit and Loss

Debit Side		Credit Side
	Gross Income is:	
	Total Sales.	
	Receipts.	
<b>Deduct:</b>		
Cost of Goods Sold		
or Cost of Manufacture:		000 00
	Gross Profit	000 000
<b>Deduct: Operating Expenses.</b>		000 000
Salaries and Wages,		
Rent and Heat and		
Light, and other		
Operating Costs		
	Net Operating Income	000 000
<b>Deduct:</b>		
Fixed Charges		
Such as Amortization or		
Cost of Creating or reorganizing Co.		
Cost of Interest on Bonds		
Cost of pay back a portion of Bonds.		
Cost of Various Annual fees		
Cost of Annual Standard taxed.		

原  
本  
不  
明  
瞭

裏  
面  
白  
紙



原本不明瞭

裏面白紙

藏理外第二四二號

昭和二十一年三月六日

日本銀行外事局長殿

大藏省理財局長

大藏省告示第三十七號中「本邦商社」ノ意  
義ニ關スル件

昭和二十一年二月二十六日附大藏省告示第三十七號中第二項並ニ第二項ノ(2)  
ニ於ケル「本邦商社」トハ終戰前日本ノ法律ニ準據シ設立セラレタル法人ノ  
意ニシテ其ノ本店カ内地ニ在ルト外地ニ在ルトヲ問ハス凡テ之ヲ包含スルモ  
ノニ有之候條右一般ニ周知方御配意相頂度  
此段及御依頼候也

第七、外國居住者ノ本邦ニ有スル財産ニ關スル事項

裏面  
白紙

0000 1715

第七、外國居住者ノ本邦ニ有スル財産ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件 名	頁
告示第 一七號	一一 一	外國居住者名儀ノ銀行預金ノ拂戻等並營業ヲ	
一外管 第一一六號	一一 二七	外國居住者ノ本邦内ニ在ル家族ノ銀行預金引	4

大藏省告示第一二號

左ニ掲クル場合ニ於テハ當該取引又ハ行爲ノ當事者ニ對シ外國爲管理  
法施行規則又ハ昭和二十年大藏省令第八十八號第二條第二號ノ規定ニ依  
ル制限並報告ヲ免除ス

昭和二十一年一月二十三日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

一 外國居住者ノ本邦ニ在ル家族カ當該外國居住者名儀ノ銀行預金ノ拂戻  
ヲ受クルトキ但シ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル

（ⅴ）當該銀行預金ノ拂戻カ本邦ニ在ル家族ノ生活費ノ又拂ノ爲ニ爲サル  
モノナルコト

（ⅵ）當該銀行預金ノ拂戻カ一箇月ヲ通シ千圓ヲ超エサルモノナルコト  
一 本邦ニ在ル家族カ外國ニ在ル其ノ世帯主名儀ノ本邦ニ在ル財産、企業

又ハ農場ノ管理、又配又ハ運用ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ管理、支配又運用  
ニ附随スル取引ヲ爲ストキ但シ取引ニ惹ク純收入カ當該家族ノ生活費ノ  
支拂ノミニ使用セララルル場合ニ限ル

外管集七號

昭和二十一年一月二十三日

外事局長代

又 駐在員事務所長 殿

外國居住者名帳ノ銀行預金ノ拂戻等並營業ヲ行フ外國人トノ契約ニ關スル件

首座ノ件ニ關シ別紙ノ通り大藏省告示第十二號及第十三號ヲ以テ外國爲  
管理法施行規則又ハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限  
並報告ヲ免除セラルルコトト相成候間電信再報旁々及御通知候也  
追テ外國居住者名帳ノ銀行預金ニ付キ在内地家族カ拂戻ヲ受クル件ニ  
關シ昨年十一月二十七日附外管第一一六號ヲ以テ貴管下各金融機關ニ  
對シ周知方御依頼申上置候處今般右發令ヲ見タル次第ニ有之候

裏面白紙

外為第二五一號

昭和二十年十一月二十四日

大藏省外資局長 剛

日本銀行外事局長 殿

外國居住者ノ本邦内ニ在ル家族ノ銀行預金ノ引出並預入ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通各銀行宛通牒致候條御諒知相成度

追而本件ニ關シテハ八大銀行（正金、帝國、三菱、安田、住友、三和、野村、東海）以外ニ封シテハ個別通牒致ササルニ付貴行本文店ニ於テ周知方御取計相煩度

157

4

原本不明瞭

裏面白紙

被外為第二五一號

昭和二十年十一月二十四日

大藏省外資局長 野田 卯一

正金、帝國、三菱  
安田、住友、三和  
野村、東海

銀行宛

外國居住者ノ本邦内ニ在ル家族ノ銀行預金ノ引出致入金ニ關スル件

外國居住者ノ本邦内ニ在ル家族カ其ノ生活維持ニ必要ナル範圍ニ於テ外國  
居住者名義ノ銀行預金ノ引出並預入ラセヌニ換シテハ何分ノ指示アルマ  
之ヲ存認スルコトトシタ。ニ付右條ノ上馬然御取計相成度  
追而本件ハ昭和二十年十一月廿八日省令ハ、二條第二號ノ制限ヲ緩和  
タルモノニシテ其ノ他ノ事情ニ依リ制限ヲ附シタル預金ニハ影響ヲ及  
ササルモノト承知相成度



原本不明瞭

裏面白紙

(参考)

大藏省令第八十八號（昭和二十年十月十五日）

第二條

ヲ得ス

大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ左ニ掲クル取引ヲ爲スコト

ニ昭和十六年十二月七日以降ニ於テ外國居住者カ直接又ハ間接ニ  
全部又ハ一部ヲ所有又ハ管理スル本邦内ニ在ル財産

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一一六號

昭和二十年十一月二十七日

外事局長

又店長殿

外國居住者ノ本邦内ニ在ル家族ノ銀行預金引出竝預入ニ關スル件  
 標題ノ件ニ關シ大藏省ヨリ横濱正金銀七銀行ニ對シ別紙ノ通り通牒セル旨  
 連絡有之右以外ノ金融機關ニ對シテハ本行ニ於テ周知方併而依頼有之候  
 ニ付テハ貴管下金融機關ニ對シ可然御意付相煩度此段得貴意候也

7

第八 特定國人並ニ商社ニ關スル事項

161

裏面白紙

0000 1724

第八、特定商人ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件 名	頁
大藏省令 第七八號	二〇一九二〇	特定國財產保全ニ關スル件	1
大藏省令 第九四號	二〇一九二〇	改正 大藏省令第九四號ニ關スル件	7
大藏省令 第六號	二一九三二	特定商社財産管理ニ關スル件	16
大藏省告示第六〇六號	二一九三二	"	7
大藏省告示第三八二號	二一九一七	大藏省令第七八號中第七條制限免除ノ件	20
大藏省告示第四〇六號	二一九二二	"	23
大藏省告示第四〇八號	二一九二九	"	24
大藏省告示第一一一號	二一九三一	獨逸東亞銀行ニ對シ債務ヲ有スル者テ其ノ債務ノ辨濟ヲ爲ス爲必要ナル取引又ハ行爲ヲ爲ス場合ノ大藏省令第七八號並ニ八八號ノ規定免除ノ件	25

大藏省告示第二二六號 大藏省告示第二八四號 (外管第二九號)	二二 二一 四一 五	大藏省令第七八號中第七條附則免除ノ件 滿洲東亞銀行ノ清算ニ關スル件	27 28
外管第八五七二號 (外管第九九號)	二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一	特定人ノ爲銀行預金ノ預入又ハ特定人ノ預金口座ニ對スル振込ニ關スル件 特定人ノ支拂ニ關スル許可事務委任ノ件	28 31
外管第八五五九號 (外管第一〇〇號)	二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一	改正 取理外第二三四號 (二一 二二 二三 二四) (外管第一九號 二〇 二一 二二 二三) 改正 取理外第八三一號 (二一 二二 二三 二四) (外管第三四號 三五 三六 三七 三八)	31 36
取理外第六六九號	二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一	特定國人ノ生活費等支拂ニ關スル許可事務委任ノ件 (追加)	36

總目外第八二六號

(外管第三三三號)

秘錄第三〇八號

秘錄第五三二六號

秘錄第一三六三二號

二一四九

二一四二

二一六三

二一六四

二一九〇

特定國財產保全ニ關スル件

第二四參照

37

聯合國最高司令部ニ登録セラレタ一部外交官(特定國)ニ對スル金融緊急措置令上ノ取扱ノ件

40

特定國又ハ特定國ハノ財產管理費ニ充ルタメノ第二其額預金等ノ支拂ニ關スル邊越的特別措置ニ關スル件

42

原本不明瞭

裏面白紙

大阪省令第七十八號 改正大阪省令第九四號（ニマ一ニセ）  
特定國財産等ノ保全ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十年九月二十日

大阪大臣 津 島 壽 一

第一條 本令ニ於テ特定國トハ「ドイツ」、「イタリー」、「ブル  
ガリヤ」、「フィンランド」、「タイ」國、「ルーマニヤ」及「  
ハンガリー」ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ特定國人トハ左ニ掲クルモノヲ謂フ

- 一 特定國ノ國籍ヲ有スル人
  - 二 特定國ノ行政區域、公共團體及此等ニ準スルモノ
  - 三 特定國ニ本居又ハ主たる事務所ヲ有スル法人及特定國ノ法令  
ニ依リ設立セラレタル法人
  - 四 特定國又ハ前二條ニ掲クルモノカ其ノ經營ヲ支配スル法人
- 第三條 本令ニ於テ特定國財産トハ特定國又ハ特定國人カ直接又ハ  
間接ニ其ノ全部又ハ一部ヲ所有シ又ハ支配スル一切ノ財産ヲ謂フ
- 第四條 大阪大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ本令施行地内ニ於テ特

原本不明瞭

裏面白紙

定國財産ノ得喪、滅失、毀損、變賣又ハ移動ヲ生スヘキ取引又ハ  
行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 特定國財産ヲ所有シ、保有シ、管理シ又ハ支配スル者ハ本  
令施行後一週間以内ニ本令附屬報告書式ニ依リ當該財産ニ關シ大  
藏大臣ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲ス者ハ當該特定國財産ニ變動ヲ生シタ  
ルキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第六條 特定國財産ニ關スル帳簿其ノ他ノ書類ヲ保有又ハ管理スル  
者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ滅失、毀損、移動又ハ改變スルコト  
ヲ得ス

大藏大臣ハ必要アルトキハ前項ニ指クル者ニ對シ前項ノ帳簿其ノ  
他ノ書類ノ提出ヲ命シ又ハ之ニ關スル必要ナル報告ヲ徴スルコト  
ヲ得

第七條 大藏大臣ハ必要アルトキハ事項又ハ人ヲ指定シテ本令ニ定



原本不明瞭

裏面白紙

ムル行爲ノ制限又ハ義務ヲ免除スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ事項又ハ人ト指定セテ本令ニ定ムル行爲ノ制限  
又ハ義務ヲ免除シタル場合ニハ大藏大臣必要アルトキハ之ヲ告示  
ス其ノ廢止又ハ變更ヲ爲シタル場合亦同シ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

律式

特定國財産ヲ所有、保有、管理又ハ支配スル者ノ當該財産ニ關スル報告書

昭和何年何月何日

住所又國籍

(一)自己所有分

氏名又高齡

種類	所在地	現在数量	高金額	所有ノ目的	備考
資産 (1)					
(2)					
負債 (1)					
(2)					
附 屬 財産					

章 則

1 本報告書ハ右ノ如ク作成シ直該大臣ニ提出スヘシ

2 個人ニ在リテハ世帯主ヨリ現額ノ記載ノ上報告スヘシ

3 種別ノ欄ニハ現金ニ在リテハ土地(家賃地権等ヲ含ム)、建物、機器具、貨幣類

(家財道具ヲ含ム)、商品、有価証券、債権、地権、不動産買戻権、質権、抵当権、儲蓄積立、砂金積立、減価積立、森林権積立、工業所有権又ハ之ニ準スルモノ、著作権又ハ之ニ準スルモノ、出資金、貸付金、買掛金、受取手形、小切手、渡り先積立、其ノ他ノ債権、預金又ハ現金、負債ニ在リテハ借入金、預り金、買掛金、支拂手形ノ取引先勘定又ハ他ノ簿積立又ハ保置積立ニ分テ記スルモノ、具体的ニ記載スヘシ  
 4 金額ノ類ニハ證券ニ在リテハ額面金額ヲ、不動産等ニ在リテハ契約額、時價額又ハ記録額ヲ記載スヘシ

(イ) 財産ヲ第三者ニ寄附セシ。擔保ニ供シ又ハ貸付ケ居レルトキハ其旨相手方ノ住所、國籍及氏名又ハ商號並ニ之ヲ必要トスル事由ヲ記載シ

(ロ) 其ノ有スル債権ニ付擔保(保證ヲ含ム)ヲ設ケ居レルトキハ擔保物ノ差入、(又ハ保置人)ノ住所、國籍及氏名又ハ商號並ニ擔保物ノ種類、数量、價格、所在地及之ヲ必要トスル事由ヲ併テ記載スヘシ

5 財産ニ關スル帳簿其ノ他關係書類ノ存スル場合ハ之等帳簿其ノ他關係書類ノ名稱、冊數、保存ノ方法及場所ヲ備考ノ類ニ記載スヘシ

6 財産ノ一部ヲ所有スルモノナルトキハ其ノ全体ノ数量及金額ヲ備考ノ類ニ記載スヘシ

7 本報告書ノ用紙ノ大キサハ縦25 糎横36 4 糎トス

原本不明瞭

裏面白紙

(三)保有ノ管理又ハ支配分

書式ハ(一)ニ準ス

準則

- 1 保有、管理又ハ支配ノ別ニ依リ區分シ之ヲ備考ノ欄ニ記載スヘシ
- 2 保有、管理又ハ支配ヲ必要トスル事由並ニ保有、管理者ハ支配ヲ依頼シタル者アル場合ハ依頼者ノ住所、國籍及氏名又ハ商號ヲ所有ノ目的ヲ備考ノ欄ニ記載スヘシ
- 3 保有、管理又ハ支配ノ態様ニ付成ルヘク詳細ニ備考ノ欄ニ記載スヘシ
- 4 其ノ他(一)ノ準則ニ準ス

大藏  
司法省令第六號

昭和二十年勅令第五百四十二號（「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發  
スル命令ニ關スル件）ニ基キ、特定商社財産ノ管理ニ關スル件ヲ次  
ノヤウニ定メル。

昭和二十一年七月三十一日

大藏大臣 石橋 湛山

司法大臣 木村 篤太郎

第一條 別表ニ掲ケル法人（以下特定商社トイフ。）ハ、當分ノ間  
ソノ本邦内ニ於ケル本店、支店ソノ他ノ營業所ノ業務ヲ行フコト  
カテキナイ。

第二條 大藏大臣ハ、特定商社ノ職員テ日本人タルモノノ中カラ管  
理人ヲ選任シテ、特定商社ノ財産テ本邦内ニアルモノ（以下特定  
商社財産トイフ。）ノ管理ニ當ラシメル。但シ、當該特定商社ニ  
日本人タル職員カキナイトキノ他大藏大臣カ必要ト認メルトキ  
ハ、ソノ他ノ者ヲ管理人ニ選任スルコトカテキル。

管理人ニ給スヘキ報酬ノ額ハ、大藏大臣カ、コレヲ定メル。  
管理人ハ、大藏大臣カ、コレヲ監督スル。  
大藏大臣ハ、必要ト認メルトキハ、管理人ヲ解任スルコトカテ  
キル。

第一項ノ規定ニヨル管理人ノ選任又ハ前項ノ規定ニヨルソノ解

任カアツタトモハ、大臣ハ、ソノ旨ヲ告示スル。

管理職ノ登記ニツイテハ、別ニコレヲ定メル。

第三條 特定商社ニツイテ管理人ノ選任カアツタ後ハ、特定商社財産ノ管理職ニ屬スル裁判上及び裁判外ノ權限ハ、管理人ニ專屬スル。但シ、昭和二十年大臣官署第七十八號（特定國財産ノ保全ニ關スル件）第四條ノ規定ノ適用ヲ妨ケナイ。

第四條 管理人ハ、善良ナ管理者ノ注意ヲ以テ、ソノ職務ヲ行ハナケレハナラナイ。

管理人カ前項ノ注意ヲ怠ツタトモハ、利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任スル。

第五條 管理人ノ受クヘキ報酬ソノ他第二條ノ規定ニヨル管理ニ要スル費用ハ、特定商社財産テ、コレヲ支辨スル。

第六條 管理人ハ、帳簿ヲ製ヘ、特定商社財産ノ管理ニツイテ必要ナ事項ヲ記載シナケレハナラナイ。

第七條 管理人ハ、毎月ソノ管理スル財産ニツイテ同該一箇月間ニ

オケル増減、管理状況及ヒソノ月末ニオケル現在高ヲ翌月十日  
ニ大蔵大臣ニ報告シナケレハチラナイ。

第八條 本邦法人タル特定商社ノ取締役、監査役及ヒ支配人ハ、  
第二條第一項ノ規定ニヨル管理カ開始サレタ日ニオイテ解任サレ  
モノトミナス

本邦法人テナイ特定商社ノ取締役、監査役、支配人ソノ他  
コレニ準スヘキ者ハ、第二條第一項ノ規定ニヨル管理カ開始サ  
レタ時カラ本邦内ニオイテソノ職務ヲ行フコトカテキナイ。

前二項ニ掲ケルモノノ外、特定商社ノ業務執行、代表又ハ代  
理ニ關スル權限ヲ有スル者ハスヘテ、本邦内ニオイテハ第二條  
第一項ノ規定ニヨル管理カ開始サレタ日以後ハコノ權限ヲ失フ。

第一項ニ規定スル事項ニ關スル登記ハ、登記官更カ職權ヲ以  
テコレヲ行フ。

第九條 特定商社ニツイテ管理人ノ選任カアツタトキハ、ソノ除當



該特定商社ノ代表者テアツタ者ハ、第二條第一項ノ規定ニヨル管理カ開始サレタ日以後一週間以内ニ、管理カ開始サレタ日ノ現在ニオケル特定商社財産ニ係ル財産目録及ヒ貸借對照表並ヒニ當該特定商社ノ昭和二十年九月一日カラ昭和二十一年六月三十日マテノ本邦内ニオケル本店、支店ソノ他ノ營業所ニ係ル損益計算書ヲ管理人ニ交付シナケレハナラナイ。

管理人ハ、前項ノ財産目録、貸借對照表及ヒ損益計算書ヲ遲滞ナク大蔵大臣ニ提出シナケレハナラナイ。

第十條 特定商社ニツイテ管理人ヲ委任カフツトキハ、特定商社財産又ハ特定商社ノ帳簿ソノ他ノ書類ヲ占有スル者ハ、遲滞ナク自己ノ占有スル財産又ハ帳簿ソノ他ノ書類ヲ管理人ニ引渡サナケレハナラナイ。

前項ニ掲ケル占有者ハ、當該財産又ハ帳簿ソノ他ノ書類ノ引渡ヲナスマテコレヲ保管シナケレハナラナイ。

第十一條 大藏大臣ハ、必要カアルト認メルトキハ、管理人若シクハ前條ニ規定スル占有者ニ對シ特定商社ノ帳簿ソノ他ノ書類ノ提出ヲ命シ、管理人カラ本令ニ定メルモノ以外ノ報告ヲ徴シ又ハ本令ニ定メル報告ヲ免除スルコトカテキル。

第十二條 本令ニオイテ本邦内トハ、本州、四國、九州及ヒ北海道並ヒニソノ附屬島嶼ノ區域内ヲイフ。

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ、コレヲ五千圓以下ノ罰金ニ處スル。

一 第六條ノ規定ニ違反シ帳簿ヲ備ヘス又ハ必要ナ事項ノ記載ヲ怠ツタ者。

二 第七條ノ規定ニヨル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタ者。

三 第九條ノ規定ニ違反シ財産目録、貸借對照表及ヒ損益計算書ヲ管理人ニ交付セス又ハ大藏大臣ニ提出シナイ者。

四 第十條ノ規定ニ違反シ特定商社財産又ハ特定商社ノ帳簿ソノ

原本不明瞭

裏面白紙

他ノ書類ヲ管理人ニ引渡サナイ者。

五 第十一條ノ規定ニヨル提出命令ニ違反シ又ハ同條ニヨル報告

ヲ怠リ若シクハ虚偽ノ報告ヲナシタ者。

第十四條 法人ノ代表者、使用人ソノ他ノ従業者ガソノ法人ノ義務

ニ關シ前條第四號又ハ第五號ノ違反行爲ヲナシタトキハ、行爲者

ヲ罰スルノ外、ソノ法人ニ對シテ同條ノ罰金刑ヲ科スル。

附 則

コノ省令ハ、公布ノ日カラコレヲ施行スル。



- 一四 獨逸染料合名會社
- 一五 フオツケス、ウント、コツホ合資會社
- 一六 イ、ゲー染料工業株式會社
- 一七 株式會社イリス商會
- 一八 株式會社エルレイボルド商館
- 一九 合資會社日本オリンピア、タイブライター
- 二〇 日本シェーリング株式會社
- 二一 日本ルルギ合資會社
- 二二 合資會社ビー、シュミット工業事務所
- 二三 株式會社シュミット商店
- 二四 第一貿易合資會社
- 二五 シーメンス、ライニゲル、ウエルダ
- 二六 テレフンケン有限會社
- 二七 合資會社ウインクレル商會

原本不明瞭

裏面白紙

大蔵省告示第六百六號  
昭和二十一年大蔵省令第六號（特定商社財産ノ管理ニ關スル件）第一條第二條第一項ノ規定ニヨツテ、特定商社ノ管理人ヲ次ノヤウニ選任スル。

昭和二十一年七月三十一日

大蔵大臣 石 蔵 灌 山

被管理商社

アグアア合名會社

アスカニア株式會社

合名會社ハ、アールレンス、ウント、コンパニー

アルゲマイネ、エレクトリチテエツ、ゲザルシヤフト

管理人ノ住所、氏名

東京都大森區雪ヶ谷町四七一番地 室 井 信之進

東京都澁谷區代々木初音町四九三番地 高 橋 志

東京都麹町區丸の内二丁目一〇番地 アグアア合名會社 氣 付 三 倉 操 結

東京都京橋區銀座二丁目二番地内外通商株式會社 大 内 銀 一

合資會社ベツカー商會

合資會社ベルグマン商會

有限會社ベーシ。マイヤエル商會

カトロウキツ商會

カール。ツアイス株式會社

コスモス。商會株式會社

シ。シイリス。エンド。コンパニー

チャイナ。エキスポート。インポート。  
エンド。バンク。コンパニー。リミテッド

獨逸製鋼株式會社

東京都本郷區駒込千駄木町五二番地

高井 一 雄

兵庫県芦屋市台欄町一六五番地

入山 龜太郎

横浜市中區本牧和出一四〇番地

松田 太輝

神奈川県鎌倉市藤原町二七八番地

大瀧 克己

東京都世田ヶ谷區松原町四丁目三六八番地

小野 富翁

神奈川県藤澤市溝沼六八〇三番地

神谷 貞二郎

神奈川県藤澤市溝沼六八〇三番地

神谷 貞一郎

大阪市東區今橋四丁目一番地三信ビル樓信洋行内

久保 芳

東京都澁谷區代々木西原町九五七番地

竹本 文雄

原本不明瞭

裏面白紙

獨逸染料合名會社

フォツケス、ウント、コ、小合資會社

イ、ゲー染料工業株式會社

深式會社イリス、商會

レイボルト株式會社

合資會社日本オリビエ、ア、タイ、フライ、ター

日本シエリンク株式會社

日本ルルギ合資會社

合資會社ビーシユミツツ工業學務所

株式會社シユミツト商店

兵庫縣武庫郡濱甲子園三〇ノ一〇

田中 正 夫  
廣濱市保土ヶ谷區岩井町原三三ノ二二

兵庫縣武庫郡濱甲子園三〇ノ一〇  
田中 正 夫

神奈川縣藤澤市 沼本八〇三番地

東京部淀橋區西落合一丁目二二九番地

今井 武 光

東京部西谷區須賀町七ノ二

伊 元 玉 郎

神戶市臨區會和町二丁目五番地

神 馬  
廣濱市中區山手町六〇番地  
尾 重 敏  
東京部澁谷區原町三〇番地  
加 藤 正 彦  
東京部豊島區長崎町四丁目六番地ノ一  
川 中 道



原本不明瞭

裏面白紙

第一貿易合資会社

シーメンス、ニイニゲル、ウエルケ

テレフンケン有限会社

合資会社ウインクレル商會

神戸市葺合區布引町三丁目六四

勝 祐 一

東京都神田區小川町一ノ二後藤風雲堂株式會社

山 崎 馨

東京都北多摩郡三軒町上連倉九三〇番地日本無線電信  
電話株式會社

中 島 進 治

横浜市神奈川區二軒樓一三番地

打 橋 延 壽

原本不明瞭

裏面白紙

大藏省告牒第三百八十二號  
昭和二十年大藏省令第七十八號特定國財產等ノ保全ニ關スル件第七條ノ規定ニ依リ左ニ掲クル者ノ爲ス取引又ハ行爲ニ付テハ第四條ノ規定ニ基ク制限ヲ免除ス

昭和二十年十一月七日

大藏大臣 澁澤 敏三

氏名

マリオ・インデルリ 伊太利 男 全權大使 東京都麴町區丸ノ内丸ノ内ホテル

同妻 女

バスクローレ・ヤネリ 同 男 参事官 同

ピオ・マツキ 同 同 一等書記官 同

エツトレー・バルスト 同 同 總領事 同

ロツキ 同 同 同 同

原本不明瞭

裏面白紙

同妻	ヘ ロ ラ モ ・ ビ ニ ヤ ツ テ	同	同	同妻	カ ル ロ ・ ダ ル サ モ	同	同	同妻	グ レ ゴ リ オ ・ カ ヴ ア ル	同	同	同妻	ド マ ウ リ チ オ ・ ラ イ モ ン	同	同	同妻	ギ イ ー ド ・ ベ ル ト ー ニ	同
男	二 等 警 記 官	男	同	女	海 軍 武 官 海 軍 大 將	同	同	女	海 軍 武 官 附 補 佐 官 海 軍 大 尉	同	同	女	同	同	同	女	陸 軍 武 官 陸 軍 大 佐	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	

原本不明瞭

裏面白紙

アルトウーロ・マツフ	同	男	書記官	同
エイ	同	男	書記官	同
ロモロ・アンゼローネ	同	同	商務官	同
同 妻	同	女	商務官	同
リカルド・フェデリツ	同	男	空軍武官 軍少佐	同
アルモ・メルカイ	同	同	通譯官	同
アルセニオ・バルバイ	同	同	書記官	同
リオヴァンニ・ムラト	同	同	書記官	同
アルフレド・タラボギ	同	同	書記官	同
ンエルナンド・マイネ	同	同	書記官	同
ツテイ	同	同	書記官	同

大藏省告示第四〇六號  
昭和二十年大藏省令第七十八號（特定國財產等ノ保全ニ關スル件）  
第七條ノ規定ニ基キ左ニ掲グル行爲ニ付テハ同令第四條ノ規定ニ依  
ル制限ヲ免除ス

昭和二十年十二月二十一日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

- 一 特定國人ノ爲ス銀行預金ノ預入
- 二 特定國人ノ預金口座ニ對スル振込
- 三 前二號ノ行爲ノ相手方トシテ爲ス預金ノ受入

大藏省告示第四百八號

昭和二十年大藏省令第七十八號（特定國財産等ノ保全ニ關スル件）第七條ノ規定ニ依リ伊太利六使館ノ左ノ目的ノ爲ニ爲ス銀行預金ノ引出ニ付テハ第四條ノ規定ニ基ク制限ヲ免除ス

昭和二十年十二月二十九日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

- 一 大使館員ノ給料ノ支拂
- 二 伊太利國財産ノ維持費用ノ支拂
- 三 伊太利國人ニ扶養スル爲ノ費用ノ支拂

大阪省告示第百十一號

獨逸東亞銀行ニ對シ債務ヲ有スル者テ其ノ債務ノ辨濟ヲ爲ス爲必  
要ナル取引又ハ行爲ヲ爲ス場合ニ於テハ當該取引又ハ行爲ノ當事  
者ニ對シ昭和二十年大阪省令第七十八號又ハ昭和二十年大阪省令  
第八十八號ノ規定ニ依ル制限ヲ免除ス

昭和二十一年三月十一日

大阪大臣 子爵 澁 澤 敬 三

大蔵省告示第百二十六號

昭和二十年大蔵省令第七十八號（特定國財産等ノ保全ニ關スル件）  
第七條ノ規定ニ基キ左ニ稱タル者ノ書類ノ出版、販賣ノ爲ニ爲ス  
取引又ハ行爲ニ付テハ第四條ノ規定ニ依ル制限ヲ免除ス

昭和二十一年三月二十日

大蔵大臣 子爵 齋 藤 敬 三

氏 名	國籍	性別	職業	住 所
ルベルト エンゲル	獨逸	男	書籍出版 販賣業	徳島川縣茅ヶ崎町 東海岸一ノ二九ニ番地



大蔵省告示第二八四號（外管第二九號ニ一四一五）ニヨリ通牒

日本銀行カ獨逸東亞銀行ノ清算人トシテ獨逸東亞銀行ノ預金者ニ對シ  
同銀行ノ清算手續ニ關聯シテ他ノ銀行ヘ預換ノ方法ニ依リ預金ノ拂戻  
ヲ爲ス場合ニ於テハ昭和二十年大蔵省令第七十八號及昭和二十年大蔵  
省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限ヲ免除ス

昭和二十一年四月五日

大蔵大臣 子爵 齋 澤 敬 三

殿外管第八五七二號

昭和二十年十月二十日

大藏省外資局長 久保文藏

日本銀行外專局長 殿

特定國人ノ爲ス銀行預金ノ預入又ハ特定國人ノ  
預金口座ニ對スル振込ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通達際候條御參考迄通知候也

昭和二十年十月十九日

大藏省外資局長 久保 文 毅

御 中

特定國人ノ爲ス銀行預金ノ預入又ハ特定國人ノ預金口座ニ對スル振込ニ關スル件

首題ノ件ニ關シテハ昭和二十年大藏省令第七十八號特定國財産等ノ保全ニ關スル件 第四條ノ規定ニ拘ラヌ大藏大臣ノ許可ヲ受クル事ヲ要セザルモノトシテ取扱差支ヘナキニ付右御了知相成度尙右趣旨ヲ預入人及振込人ニ對シテ了知セシメラレ度

外管第九九號

昭和二十年十月二十三日

外 事 局 長

支店長 殿

特定國財産等ノ保全ニ關スル件第四條ニ依リ特定國財産ノ得喪、滅失、毀損、變更又ハ移動ヲ生スヘキ取引又ハ行爲ニ關シテハ大藏大臣ノ許可ヲ要スヘキ處今般大藏省ハ特定國入ノ爲ス銀行預金ノ預入又ハ特定國入ノ預金口座ニ對スル振込ニ限リ右許可ヲ要セサルコトトシ左記ノ通り通牒有之候ニ付御承知置相成度此致及御通知候也

左 記

般外管第八五七二號

昭和二十年十月二十日

大藏省外資局長 久 保 文 殿

日本銀行外事局長 殿

特定國入ノ爲ス銀行預金ノ預入又ハ特定國入ノ預金口座ニ對スル振込ニ關スル件

首圖ノ件ニ關シ別紙ノ通り通牒候條御參考迄及御通知候也

外管第八五五九號

改正 職理外第 二三四號 (二一三六)  
改正 職理外第 八三一號 (二一四二〇)  
外管第一九號 (二一四四)  
外管第三四號 (二一四)  
二三三三ヨリ通牒

昭和二十年十月十三日

大藏省外資局長 久保文蔵

日本銀行外務局長 殿

管定商人ノ支拂ニ關スル許可事務委任ノ件  
首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り牒候條御参考迄及通知候也

昭和二十年十月十三日

大蔵省外資局長 久保文彦

横濱正金銀行	三友銀行	住友銀行	安田銀行	三井銀行	野村銀行	東京銀行	神戶銀行
--------	------	------	------	------	------	------	------

宛

昭和二十年九月二十日附大蔵省令第七十八號特定財産ノ保全ニ關スル  
 特種四條ノ規定ニ依リ特定個人ノ爲メ生活費等ノ支拂ニ付テハ大蔵大臣  
 ノ許可ヲ要スルコトト相成居候處今般行定區人方貴行へ各店舖ヲ含ム以  
 下ノ許可申請ニ付テハ外國爲替管理法施行規則第九十五條ノ規定ニ依リ實  
 行

行ニ依リ貴行ニ之カ許申事務ヲ取扱ハシムルコトニ決定相成候ニ付テハ  
別紙要領ニ依リ御取扱相成度  
依命此度及追藤候也

記

- 一 租税及公課
- 二 生活費位シ世帯主ハ一箇月千五百圓其ノ他ノ家族ハ一人當リ一箇月五百圓ヲ限度トス

註 改正政令外第一二四號(三三三六)

(外管第一九號二二二四)

改正政令外第一二四號(二二四三)

(外管第一四號二二二四)

世帯主一ヶ月三百圓其ノ他ノ家族ハ一人當リ一ヶ月五百圓ノ限度

生活費トシテ最高限度額ハ一ヶ月二行及一  
自白支拂ヲ合セ世帯主ニ付ニ五百圓其ノ他ノ  
人ニ付五百圓ノ合計額以內トシ且急務金  
同施行規則及關係告示ニ依リ急務金ヨリノ抽出ヲ  
認メラレタル金額ノ範圍内ニ限ル

別紙

特定國人ノ支拂ニ關スル許可事務取扱要領

- 一 許可申請書ハ大藏大臣宛ノモノニ通テ作成シ預金拂戻請求ノ際貴行ニ提出セシムルコト
- 二 申請内容ニ疑アルモノハ許可ヲ保留シ二通共當省ニ回付スルコト
- 三 申請内容正當ナルコトヲ確認シタルトキハ之ヲ許可シ預金ノ拂戻ヲ爲スコト
- 四 許可ヲ爲シタルトキハ申請書一通ニ其ノ旨記載シ一週間毎ニ取纏メ當省ヘ進達シ他ノ一通ハ銀行ニ保管シ置クコト



外管第一〇〇號

昭和二十年十月二十三日

外 事 局 長 代

支店長 殿

特定個人ノ爲ス生活費等ノ支拂ニ關シテハ「特定個人財産ノ保全ニ關スル  
 件」第四條ニ依リ大臣ノ許可ヲ要スル處大臣省ニ於テハ之カ許可事  
 務ヲ積漬 正金銀行外八行ニ委任スルコトニ決定左記ノ通り通牒有之候  
 間御承知置被下度此段御通知申上候也  
 追而本件ハ本日不取敢電信ヲ以テ要項御通知致置候

版理外第六六九號

昭和二十一年四月九日

大藏省理財局長

日本銀行外專局長 殿

特定國人ノ生活費等支拂ニ關スル許可事  
務委任ノ件

首題ノ件客年十月十五日附藏外管第八五五九號ヲ以テ及通知候處今回更  
ニ左記ニ銀行ニ對シ之カ許可事務ヲ委任致候條御參考迄及通知候也

記

八十二銀行  
駿河銀行

200

藏理外第八二六號

外管第三三號(二一四二二)ニヨリ通牒

昭和二十一年四月九日

大藏省理財局長

日本銀行御中

特定國府蓋保全ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通達牒致置候條御參考迄ニ及通知候也

昭和二十一年四月九日

横濱正金銀行  
三友國田和村海戸二河  
三友國田和村海戸二河  
宛

大藏省理財局長

38

裏面白紙

0000 1785

## 特定國財産保全ニ關スル件

首題ノ件ニ關シテハ昭和二十年九月二十日大藏省令第七十八號ヲ公布施行シ特定國財産ノ得喪、滅失、毀損、變更又ハ移動ヲ生スヘキ取引又ハ行爲ハ總テ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトト相成居候、預金ノ引出ニ付テモ昭和二十年十月十二日附大藏省外事局長通牒「特定國人ノ支拂ニ關スル許可事務委任ノ件」ニ依リ委任セラレタル生活費等ノ支拂以外ハ總テ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトト相成居ル處今般聯合國司令部ヨリ同省令ノ許可ヲ受クルコトナク特定國人ニ於テ預金ノ引出ヲ爲サレタル旨注意有之候ニ付テハ一段ト關係法規ヲ嚴重ニ遵守相成リ生活費以外ノ支拂ニ付テハ勿論生活費ノ支拂ニ當リテモ周到ナル注意ヲ以テ可然措置相成度此段依命 及通牒候也

尙實行預金勘定中ニ特定國人ノ預金有之候ハ、該名義人別ニ昭和二十年九月二十日現在ニ於ケル預金額及其ノ後ニ於ケル増減等ノ異動並ニ許可ノ有無ニ付詳細承知程度ニ付至急該當報告書英文及和文三通ヲ作成ノ上提出相成度

原本不明瞭

裏面白紙

秘 録 兵 三 二 六 號

昭和二十一年六月四日

大藏省 銀行局長 江 澤 省 三

日 行 銀行總裁

一 萬 田 尙 登 殿

聯合國家最高司令官ニ呈請セラレタ一部外  
交官ニ對スル金融緊急措置令上ノ取扱ノ件

聯合國家最高司令官ニ呈請セラレタ外交官ノ金融緊急措置令上ノ取扱方  
ニツイテ本年五月九日附録第一一九六號ヲ以テ通牒シタカ同通牒表  
中ノ「伊太利」「ハンガリー」「シヤム」ノ三ヶ國ノ外交官ニツイテハ  
同通牒ニカカハラス本年四月二十日附録理外第八三一號通牒ニヨツテ生  
活資金トシテ世帯 千五百圓、世帯員一人ニ付五百圓ノ範圍内ニ於テノ  
ミ封鎖預金ノ支拂ヲ認メラレルノテアルカラ此ノ點ニ關シテ重ネテ別紙  
記載ノ金融機軸ニ對シ周知方取計ハレ度イ

別紙

横 三 住 帝 安 三 野 東 神 八 殿

愛 友 國 田 和 村 海 戸 十 河

濱  
正  
金  
銀  
行

二

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

裏面白紙

銀秘第一三六三二號

昭和二十一年九月十日

大藏省銀行局長 福田 越夫

日本銀行總裁

一萬田 尙登 殿

特定國又ハ特定國人ノ財産管理費ニ充ルタメノ第二封  
銀預金等ノ支拂ニ關スル經過的特別措置ニ關スル件

特定國又ハ特定國人ノ財産管理ノ爲ニ要スル費用ニ充ツルタメニソノ所  
有スル預金ノ拂戻ニ關シ昭和二十一年八月十一日前ニ、昭和二十年大藏  
省令第七十八號「特定國財産ノ保全ニ關スル件」第四條ノ規定ニ基イテ  
大藏大臣ノ許可カアツタモノニツイテハ經過的ニ左記ニヨリ取扱フコト  
ニ決定シタカラ御了知ノ上各金融機關ニ該シテソノ旨通達セラレタイ。  
右命ニヨツテ進捗スル。



記

一 特定國又ハ特定國人ノ財産管理費ニ充當スルタメノ必要ナ金銀ヲ封鎖  
 預金等ヨリ拂戻ヲ受ケルコトニツイテ、昭和二十一年八月十一日附ニ  
 大藏省令第七十八號「特定國財産ノ保全ニ關スル件」第四條ニ基キ大  
 藏大臣ノ許可カアツタ場合ニハ許可金銀ヲ限度トシテ第二封鎖預金等  
 ヨリ第一封鎖預金等ニ振替ヘルコトヲ得ルコト、

ニ 右ハ金融緊急措置令施行規則第七條ノ二第一項第五號ニヨツテ大藏大  
 臣ノ指定カアツタモノトシテ取扱フコト。

同一ノ大藏大臣ノ許可審（省令第七十八號「特定國財産ノ保全ニ關ス  
 ル件」第四條ニヨルモノ）ニハ金融緊急措置令施行規則第七條ノ二第  
 一項第五號ノ大藏大臣ノ指定カアツタ旨ヲ記載スルカラ封鎖預金等ノ支拂  
 ニ當ツテハコレヲ確認スルコト、

三 特定國トハ、ドイツ、イタリ、ハンガリ、ルーマニヤ、ブルガリ  
 ヤ、フィンランド、及び、タイ國ヲイフコト。

第九、貿易爲替管理規則關係

208

裏面白紙

原本不明瞭

裏面白紙

第九、貿易爲替管理規則關係

番	年月日	件名	頁
商工省令第四號 (外管第九六號)	二〇〇一 一〇一〇 一〇一〇 一〇一〇 一〇一〇	貿易爲替管理規則中改正ノ件	1
商工省令第二九號 (外管第九八號)	二〇〇一 一〇一〇 一〇一〇 一〇一〇 一〇一〇	貿易爲替管理規則ニ基ク行爲制限及 ヒ報告免除ノ告示廢止ノ件	5

原本不明瞭

裏面白紙

商工省令第四號

貿易爲整理規則中左ノ通改正ス

昭和二十年十月十八日

商工大臣 小笠原 三九郎

「大東亞大臣」ヲ「商工大臣」ニ改ム

第一條中「金地金、金ノ合金」ヲ「金、銀又ハ白金ノ地金又ハ合金」ニ改

ム

第五條 本邦ニ於テ發行シタル信用狀ニ基キ振出サレタル爲替ノ支拂ヲ爲

シ又ハ支拂ノ爲爲替ヲ買入ルル場合ハ前條第一項ノ規定ニ拘ラス外國爲

替ノ買入又ハ外國爲替銀行ニ對スル支拂ヲ爲スニ付商工大臣ノ許可ヲ受

クルコトヲ要セス

第七條 削 除

第八條 第一項中他行ヲ削ル

第十二條 第一項中他行ヲ削ル

第十三條 第一項中他行ヲ削ル

原本不明瞭

裏面白紙

第十四條中但書ヲ削ル

第十五條 第一項中但書ヲ削ル

報章書式第九號（表裏）準則一中但書及同（裏）ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

2

5

217

原本不明瞭

裏面白紙

二〇商局第一四三號

昭和 年 月 日

商工省商務局長 岡村 武

日本銀行外事局長殿

貿易爲替管理規則中改正ニ關スル件

ニ昭和二十年九月二十九日附二〇商局第七七號貿易爲替管理規則ニ依ル  
貨物ノ輸出入許可ニ關スル件ニ關シ通牒致置候處本月十八日附省令第四號  
ノ以テ別紙ノ通貿易爲替管理規則改正公布スルコトト相成候ニ付テハ取締  
上萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段及御連牒候也

原本不明瞭

裏面白紙

外管第九六號

昭和二十年十月二十日

外事局管理課

支店御中

貿易爲管理規則改正ニ關スル件

商工省當局ハ聯合軍最高司令部ノ命令ニ依リ今後ノ貿易ニ關シテハ全面的  
 ニ同司令部ノ事前承認ヲ要スルコトト相成タル爲不取敢十月一日附二〇商  
 局第七七號ヲ以テ現行省令ノ規定ニ不拘從來不要許可事項ヲ凡テ要許可制  
 トシ本行限りノ處理委任事項ヲ廢止スル旨通牒有之カ處理方ニ關シテハ  
 曩ニ電信ヲ以テ御通知申上候處今敢右ニ關スル貿易爲管理規則ノ改正  
 ニ付別紙ノ通り御通知申上候處此段御取計相成度此段御通知申上候處候  
 也

原本不明瞭

裏面白紙

商工省告示第二十九號 外管第九八號（二〇一〇ニ三）ニヨリ通牒

貿易爲管理規則第二十一條第一項ノ規定ニ依リ同則ニ定ムル取引若ハ行爲ノ制限又ハ同則ノ規定ニ依リ命セラレタル取引若ハ行爲ノ制限ヲ免除シタル一切ノ告示及同則第二十四條第一項ノ規定ニ依リ同則ニ定ムル報告ヲ免除シタル一切ノ告示ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年十月二十二日

商工大臣 小笠原三九郎

5

214



第十、特別措置預金ニ關スル事項

245

裏  
面  
白  
紙

0000 1778

原本不明瞭

裏面白紙

第十、特別措置預金ニ關スル件

番	號	年月日	件	名	頁
外管	第一四號二一	三一八	金融緊急措置令實施ニ伴ヒ特別措置預金ノ取扱	方ニ關スル件	1
整理外第	一、二、三號二一	三二〇	朝鮮銀行内地支店又ハ出張所ニ於ケル匯兌表示	(外管第一五號二一)	3
		三二〇	特別措置預金ノ内地他銀行へ預ケ替承認申請取	扱方ニ關スル件	
整理外第	一四、三號二一	三三六	支那及南方ヨリノ送金ニ依ル匯兌表示特別措置	(外管第二〇號二一)	8
		三三三	預金ノ生活費拂出ニ關スル件		
整理外第	一五、二四號二一	三八九	政府カ紡績會社カラ中華民國ニ於テ買上ケタ機	械代金ノ封鎖措置解除ニ關スル件	11
外管	第六二號二一	八一五	在華紡機被供出代金送金ニ依ル特別措置預金解	除ニ關スル件	13

24

原本不明瞭

裏面白紙

外管	第七〇號二一	九	九全石
外管	第六四號二一	八二一	圓表示特別措置預金解除取扱方ニ關スル件
外管	第六三號二一	八一三	特別措置預金ノ處理ニ關スル件
外管	第六二號二一	八一三	特別措置預金ノ處理ニ關スル件

21 40 49

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一四號

昭和二十一年二月十八日

外事局長代

支店 長  
駐在員事務所 長

支那其他外地ヨリノ送金ニ依ル特別措置預金ノ取扱方ニ付キテハ今般公  
布ノ金融緊急措置令トノ關係モ有之今後左記ニ基キ御處理相成度此段及  
御通知候也

記

一、金融緊急措置令施行ノ際現ニ有スル特別措置預金ハ同令ノ所謂封鎖預  
金等ニ屬シ其ノ元本及利息ハ同令ニ依リ封鎖セララルコト又同一使途  
ノ爲他ノ封鎖預金等ト重複シテ支拂等ヲ爲スコトヲ得サルコト

原本不明瞭

裏面白紙

三、特別措置資金ノ資金化ニ付キテハ現在ノ承認標準ト金融緊急措置令ニ依  
 ル制限又ハ禁止トノ内重キ方ニ從ヒ承認ヲ爲スコト  
 三、特別措置資金ノ支拂等ニ付承認アリタル場合ニ於ケル金融機関ノ支拂等  
 ニ付キテハ金融緊急措置令規定ノ取扱ニ據リ之ヲ爲スモノトシ其ノ旨觀  
 係金融機関ニ徹底セシメラレ度コト  
 四、生活費ノ爲ノ拂戻申請ハ毎月之ヲ爲スコト

以上

原本不明瞭

裏面白紙

殿理外第一二一號

昭和二十一年二月二十日

大藏省理財局長

日本銀行總裁 殿

朝鮮銀行内地支店又ハ出張所ニ於ケル圓貨表  
示特別措置預金ニ關スル件

朝鮮銀行整理上ノ都合ニ依リ標記預金ヲ内地他銀行へ預ケ替ヲ爲ス件ニ關  
シテハ預金者ニ代リ同行特殊整理人ヨリ一括申請セシメタル上之ヲ承認ス  
ルコトト相成候ニ就テハ貴行ニ於テ昭和十九年三月五日附載外爲第四三四  
四號ニ準據シ之カ承認事務ヲ御取扱相成度此段及通牒候也  
追而本件圓貨表示特別措置預金ハ左記通牒ニ依リ借置セラレタル預金ニ  
シテ圓貨表示ノモノヲ指稱スルモノト承知相成度

記

3

220

原本不明瞭

裏面白紙

昭和十九年三月 三日附蔵外爲第四、一九一號  
同 十九年五月二十七日附 同 第一、五三六號  
同 二十年九月 一日附蔵外爲第八、二一一號  
同 二十年九月 十日附 同 第八、二九八號  
同 二十年九月 十日附 同 第八、二九九號  
同 二十年八月三十一日附 同 銀票二一六號

221

4

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一五號

昭和二十一年二月二十二日

支店長殿

外事局長代  
考査局清算事務室

朝鮮銀行内地支店又ハ出張所ニ於ケル銀貨表  
示特別措置預金ノ内地他銀行へ預ケ替承認申  
請取扱方ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り通牒有之候ニ付テハ左記御参照ノ上御處理相成  
度此段御通知等々俾貴意候也

記

一 預ケ替承認申請書ハ預金者ヨリ個々ニ提出セシメス同行特殊整理人ニ於  
テ預金者ニ代リ之ヲ收據ノ申請セシムルコト  
二 右申請書ニハ預ケ替先銀行、預金者住所氏名、預ケ替金額、送金許可日



附及番號（個別許可ナキモノニ付テハ該預金ノ措置ニ適用セラレタル大  
蔵省通牒番號並日附）等ヲ記載シタル明細表ヲ添付セシムルコト

三、前項ノ外本件申請ノ審理又ハ預ケ替後ノ資金化承認事務等ノ爲メ必要ナ  
ル事項ニ付キテハ適宜書類ヲ提出セシムルコト

四、預ケ替先銀行ハ預金者ノ希望ニ依リ選擇スルモノナルモ成ル可ク預金ノ分  
散ヲ避クル爲メ朝鮮銀行店舗所在地ノ他銀行へ預ケ替スル様指導アリ  
キコト

五、申請書ノ提出アリタルトキハ審理ノ上書店限り承認ノ處理ヲ爲スコト  
右承認通知書ニハ預ケ替後ニ於テモ從來同様ノ制限ヲ受クルモノナル旨  
ノ條件ヲ附スルコト

六、本段ケテハ預金拂戻期限タル三月十五日迄ニ實行シ得ル如ク措置スルコト  
七、外幣ニ付店ヲ有スル會社等ノ本邦所在ノ支店又ハ代理店カ朝鮮銀行内地  
支店又ハ出張所ニ對シ有スル預金ヲ以テ昭和二十年十一月十七日附大蔵  
省告示第三八五號ニ該當スルモノノ支拂並ニ昭和二十一年一月十四日附

大藏省告示第三號ニ依ル財産ノ維持保全ノ爲メノ契約履行ヲ目的トスル  
他銀行ヘノ預ケ替ヲ爲ス場合ハ外國爲替管理法施行規則及昭和二十年大  
藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限ヲ免除セラルルモノナルヲ以テ此旨  
貴地朝鮮銀行支店又ハ預ケ替先銀行ニ對シ可然指導アリ度キコト

以 上

原本不明瞭

裏面白紙

政理外第二四三號  
昭和二十一年三月六日

大藏省理財局長

銀行  
御中

圓貨表示特別措置預金ニ關スル件

外國ヨリノ被仕向送金爲替又ハ外國ヘノ仕向取立爲替ノ代リ金ノ支拂ニ依  
リ生シタル圓貨表示特別措置預金ヨリノ生活費支拂ノ爲ノ拂出ニ關シテハ  
昭和十九年三月三日附蔵外爲替四一九一號及全年五月二十七日附蔵外爲替  
一五三六號通牒ニ依リ承認事項トナリ居レル處金融緊急措置令施行期間  
中ハ全令施行中第五條第一項第一號ニ定ムル範圍内ニ於ケル拂出ニツイ  
テハ承認ヲ要セザルコトヲ豫備條右御了知ノ上可然御取計相成候  
カ

原本不明瞭

裏面白紙

外管第二〇號

昭和二十一年三月十三日

外事局長代

支店長  
駐在員事務所長 殿

支那及南方ヨリノ送金ニ依ル圓貨表示特別  
措置預金ノ生活費拂出ニ關スル件

支那及南方ヨリノ送金ニ依ル圓貨表示特別措置預金ノ拂出ニ關シテハ從來本行ニ承認事務ヲ委任セラレ居候處今般金融緊急措置令實施ニ伴ヒ生活費ノ拂出ニ限り承認ヲ要セス右措置令ノ規定ニ基キ各銀行ニ於テ之カ拂出取扱ヲ爲スコトニ決定、大藏省理財局長ヨリ爲替銀行宛別紙ノ通り通牒ノ旨是等有之候ニ付テハ各關係銀行ニ對シ更ニ周知徹底方可然御取計相成度候尙滿洲國、關東州、朝鮮及臺灣ヨリノ送金ニ依ル圓貨表示預金ハ本通牒ノ

9

預金ニ該當セサルモノニ有之本預金ハ毎月一千圓(朝鮮ヨリノ送金ニ依ル  
預金ニ付キテハ累計一萬圓迄)ヲ限度トシテ支拂ヲ認メラレ居候處前項同  
様金融措置令ノ規定ニ基キ取扱ヲ爲スヘキモノニ有之候  
右御通知申上候也

原本不明瞭

裏面白紙

藏理外第二五二四號

昭和二十一年八月九日

大藏省理財局長  
大藏省主稅局長

日本銀行總裁 殿

政府カ紡績會社カラ中華民國ニ於テ買上  
ケタ機被代金ノ封鎖措置解除ニ關スル件

昭和十九年在華紡ノ紡績機被ヲ買上ケタコトニ伴ツテ生シタ在華紡ノ封鎖  
資金ノ處分ニ付テハ内地預金トナシタトキノ許可ノ條件トシテ外資局長ノ  
承認ヲ要スルコトトナツテキタカ爾今左記條件ノ下ニ之ヲ解除シ六月二  
十一日ニ現ニ存シタ封鎖預金等一萬萬圓ト同様ノ扱ヲスルコトトナツタ

カラ預金銀行ヲ通シテ各預金者ニ對シテ其ノ旨通知方取計ハレタイ  
 尙解除承認事務ハ貴行ニ委任シマスカラ預金者カラ承認申請書ヲ徴シ貴行  
 限リ承認スルト共ニ預金證書ニ其ノ旨表示ヲセラレ度イ  
 右依命通知シマス

追而本件解除ノ後ニ於テモ

一 外國ニ本店ヲ有スル預金者ノ預金ノ處分ニ付テハ昭和二十年大藏省令第  
 八十八號ニ依ル計可ヲ要スルコト

二 金融緊急措置令等ノ制限ニハ服シナケレハナラナイコトヲ預金銀行及預  
 金者ニ對シテ注意シテ置レタイ

記

預金ノ處分ニ付テハ未納付税金ノ納付ノ間題モアルノテ預金者ノ所轄税  
 務署長ノ承認ヲ得ルコト

原本不明瞭

裏面白紙

外管第六二號

昭和二十一年八月十五日

外務局長代

大阪文店長殿

在英紡ノ機械供出代金送金ニ依ル特別  
借替預金解除ニ關スル件

昭和十九年在英紡ノ機械供出代金ハ當時積蓄正金東京支店其ノ他内地銀  
行ニ於ケル特別措置預金トシテ封鎖セラレ居候處大藏省ニ於テハ今般右預  
金ノ特別措置ヲ解除シ金融緊急措置令ニ依ル制限ノミヲ適用セシムルコト  
ニ決定シ右特別措置解除承認事務ヲ本行ニ委任セブレ候ニ付テハ左記ニ基  
キ當該預金銀行並各預金者ニ御連絡ノ上可然御取計相償度此段御依頼券々



原本不明瞭

裏面白紙

得費意候也

記

一、預金者ハ別紙書式ノ申請書ニ通ニ左ノ書類ヲ添付シ最寄ノ本行本支店ニ提出スルコト

イ) 預金者ノ未納付税金ノ有無並ニ其ノ内譯ニ關スル所轄稅務署長ノ證明書

ロ) 當該預金證書又ハ通帳

三、本行本支店ニ申請書ノ提出アリタルトキハ送金許可條件該當セル預金ナルコトヲ確認ノ上左ノ取扱ヲ爲スコト

イ) 未納付税金ナキモノニ付キテハ受理店限り解除承認ノコト

ロ) 未納付税金アルモノ及内容ニ不審ノ廉アルモノニ付テハ關係書類一通ヲ外事局長ニ送付協議ノ上之カ指示ニ基キ解除手續ヲ採ルコト

此ノ場合預金證書又ハ通帳ハ受理店ニ於テ一時保管シ申請書欄外ニ右保管済ノ旨附記ノコト

原本不明瞭

裏面白紙

三承認ノ際ハ左ノ通り取扱ノコト

初承認申請書ニ對シ左ノ形式ニ依ル承認通知書ヲ發給スルコトトシ申請書一通ニ添付ノ上返行ノコト

承認通知書

別紙別紙 年 月 日 附圖表示特別措置預金係承認申請ノ件ニ付  
キテハ本日送金許可條件ニ依ル特別措置ヲ解除スル旨承認相成タリ  
但一條件付ノ場合ノミ條件ヲ記載ノコト  
右及通知候也

昭和 年 月 日

日本銀行支店長氏名 印

(ロ) 預金證書又ハ通帳ニ左ノ通り記載蓋印ノ上返付スルコト

原本不明瞭

裏面白紙

送金許可條件ニ依ル特別措置解除

昭和 年 月 日

日本銀行支店長氏名 印

凡特別措置解除後ニ於テモ金銀緊急措置令等ノ規定ノ適用ヲ免ルルモノニ  
非サルコト及外國ニ本店ヲ有スル預金者ノ預金處分ニ付キテハ昭和二十  
年大藏省令第八十八號ニ依ル許可ヲ要スルコト（本件ニ關シテハ特別預  
金銀行及預金者ニ關底セシムルコト）  
凡特別措置解除承認ノモノハ左記事項ヲ外務局宛報告ノコト

- 1 預金銀行名
- 2 預金者名
- 3 預金額
- 4 解除年月日

参考 特別措置ヲ解除スヘキ預金者、預金銀行及預金額左ノ如シ（在華

原本不明瞭

裏面白紙

日本紡績同業會ノ報告ニ依ル

横濱正金大阪支店

裕豊紡績大阪出張所

豊田紡績名古屋出張所

天津紡績大坂事務所

大日本紡績

日華紡績大阪出張所

同興紡績出張所

上海紡績

内外綿

倉敷紡績

双喜紡績大阪出張所

住友銀行本店

内外綿

五六九九八四四八九

一五三二〇五三八四

一〇八九八七〇八八

三六七三〇〇一九二

四四六四〇一七六〇

二三五五二八〇二七

四五九八五二〇二四

一三七二〇七〇〇

六四二三五九五六

四〇〇八六六〇〇

五〇三六〇七九三六

原本不明瞭

裏面白紙

朝鮮銀行神戸支店

鐘淵紡績

横濱正金東京支店

富士紡績

合計

二二〇二〇五六  
四〇

四五〇二六  
四〇

三三二八〇一八四  
三六

原本不明瞭

裏面白紙

圖表示特別措置預金解除承認申請書

(經由取扱銀行名)

大藏省理財局長 楠 田 光 男 殿

昭和 年 月 日

申請者ノ住所  
職業氏名又ハ商號  
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通り及申請候也

一 預ケ先銀行名

二 解除ヲ受ケントスル預金現在高

三 送金仕出地及内地爲替支拂銀行名

送金許可日附、番號及許可ノ金額其他條件

但許可證寫(受送金事情説明書不要)ヲ添付ノ場合ハ本項記載ヲ省略スルコトヲ得

五 其他參考トナルヘキ事項

(備考)

一 本申請書ハ二通ヲ作成シ取扱銀行ヲ經由シ最寄日本銀行ニ提出スルコト

二 添付スヘキ許可證寫ニハ爲替支拂銀行ニ於テ捺印スルコト

三 一其他參考トナルヘキ事項ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト

イ、他店舗ヨリ預ケ替ヘタルモノニ付テハ元預ケ先店舗名及預ケ替月日

ロ、特別措置預金ノ名義變更ニ依リ貸付金ノ返済等ヲ受ケタルモノニ付

テハ名義變更前ノ預金者住所氏名及名義變更ノ年月日

四 申請者ハ預金名義人タルヘキコト

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十一年八月十三日

大藏省理財局長

日本銀行 總裁 殿

特別措置預金ノ處理ニ關スル件

首懸ノ許ニ關シテ別紙ノ通り、各爲替銀行へ通牒シタカラ御了知アリ度イ。  
 尙全通牒三ノ(イ)及(ロ)ノ承認事務ハ貴行ニ委任シタカラ(ハ)ニ付テハ左記方針  
 ニ依リ取扱ハレルコトトシ、全(イ)及(ロ)ニ依リ貴行へ提出シテ來ル申出書  
 類等ハ貴行ニ於テ整理保管シ、全(ハ)ニ依ル措置ノ結果報告書ハ、週一週ヲ  
 貴行ニ保管シ、集計ヲ附シテ正及副一通ヲ當局マテ送附サレタイ  
 追而本件ニ付テハ、各爲替銀行へ通牒シタカラ、是ニ貴行本店ヲ通シテ一  
 般銀行へノ周知方可然取計ハレタイ。

238



原本不明瞭

裏面白紙

記

生活費ノ爲メノ拂出ニ付テハ金銀票並摺合ノ制限ノ範圍内ニ於テ承認  
スルコトトスルモ承認額ハ一世帯毎月五百圓トスル  
其他ノ目的ノ爲メノ拂出ハ承認シナイコト。

藏理外第二五七五號

昭和二十一年八月十三日

大藏省理財局長

外國爲替銀行 宛

特別措置預金ノ處理ニ關スル件

中華民國及南方カラノ送金ニ依ソテ生シタ特別措置預金ニ付テハ爾今左記ニ依リ取扱フコトトシタカラ、各預金者ニ對シテ、適當ノ方法ニ依リ其ノ旨通報シ、措置ノ結果ヲ當局ニ御報告願ヒタイ。  
尙本件解除ノ後ニ於テモ外國ニ本店ヲ有スルモノ等ノ預金ノ處分ニ付テハ昭和二十年大藏省令第八十八號ニ依ル許可ヲ受スルカラ其ノ旨預金者ニ對シ注意シテ置カレタイ。

記

一、送金ノ際許可ノ條件トシテ圓表示特別措置預金ノミヲサセタモノハ、此ノ特別措置預金ノ特別措置ヲ解除シ、金融緊急措置令ノミノ制限ヲ受ケルコトトスル。

二、送金ノ際許可ノ條件トシテ圓表示特別措置預金ノミナラス、外貨表示特別措置預金ヲモ同時ニサセタモノ（証）ニ付テハ、

(イ) 聯合國最高司令部又ハ將來之ニ代ルモノノ承認ヲ得ラレタ場合  
ニハ、外貨預金ヲ圓庫ニ納付スルト云フ申出モアツタモノニ付テハ圓表示特別措置預金ノ特別措置解除ヲ認め、金融緊急措置令ノミノ制限ヲ受ケルコトトスル。

(ロ) 外貨表示特別措置預金ヲ圓庫ニ納付スル意志ノナイ者ノ圓表示特別措置預金ニ付テハ、現在ノ封鎖措置ヲ強化スル。

在外居住者カ其ノ在内地家族ノ生活費トシテ送金シタ非常措置預金口及應召者預金口ハ除外スル。

241

三石ノ措置ニ基ク實施方法

(イ) 前記一、及三ノ(イ)ニ依リ、總表示特別措置預金ヲ解除スル爲ニハ預金證書ト共ニ別紙(イ)ノ書式ノ申請書ヲ預金者ヨリ、該シ之ニ對シ別紙(イ)ノ書式ノ預り證ヲ發給石申請書ト共ニ該預金證書ヲ取扱店舗最寄ノ日本銀行本支店ニ提出シ、日本銀行本支店ニ於テ別紙(イ)ノ形式ノ措置解除ノスタンプノ押捺ヲ受ケ預金者ニ返付スル。

(ロ) 前記三ノ(ロ)ノ場合ハ昭和二十一年三月六日、経理外第二四三號ノ通牒ニ拘ハラス、生活費ノ爲メノ拂出ハ勿論、其ノ他一切ノ拂出ニ付テハ、大藏省理財局長ノ承認ヲ要スル。(申請書ハ日本銀行經由提出ノコト)但シ金融緊急措置令ニ依ル生活費ノ爲メノ預金拂出ニ付テハ、八月分及九月分ヲ限り従來通り引出ヲ認め、其ノ承認事務ヲ取扱店舗ニ委任スル取扱ヲ續ケル。

(ハ) 前記三ノ(ハ)ニ付テ前記(イ)ト同時ニ預金者カラ徵スル函庫ヘノ納付ノ申出ノ書式ハ別紙(三)ニ依ルコトトシ、正本ハ日本銀行ヘ提出シ、副本ハ取扱銀行ニ於テ保管スル。

(三) 外貨表示内地特別指置預金ニ付テハ、前記第ノ旨及(イ)ノ申出書頭ヲ被スル際預金者カラ外貨預金證書ヲ取扱銀行ニ引上ケ政府ノ爲ニ之ヲ保管シ其ノ旨別紙(四)ニ依リ日本銀行ニ報告スル。外貨預金證書ヲ所持シテキナイ者ニ付テハ、其ノ事由ヲ別紙(四)ニ依リ届出サセルコトトシ、正本ハ日本銀行へ提出シ、副本ハ取扱銀行ニ於テ保管スル。外貨表示現地特別指置預金ニ付テハ、外貨預金證書ノ引上ケ保管ヲシナイカ、預金者カラ預金證書ノ所持ニ付テ別紙(四)ノ届出ヲサセルコトトシ、正本ハ日本銀行へ提出シ、副本ハ取扱銀行ニ於テ保管スル。

(四) 本件關係申請者及國庫へノ納付申出者ハ夫々預金名義人タルモノトスル。

(五) 措置ノ結果報告書ハ別紙(四)ニ依ルコトトシ正副三通ヲ日本銀行經由大蔵省理財局へ提出スル。

別紙(一)(イ)

圓表示特別措置預金解除承認申請書  
(經由取扱銀行名)

大藏省理財局長 楠 田 光 男 殿

昭和 年 月 日

申請者ノ住所  
職業氏名又ハ商號  
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通り及申請候也

- 一、預ケ先銀行名
  - 二、解除ヲ受ケントスル預金現在高
  - 三、送金仕出地及内地爲替支拂銀行名
  - 四、送金許可日附、番號及許可ノ金額其他條件
- 但許可證寫(受送金事情説明書不要)ヲ添付ノ場合ハ本項記載ヲ省略  
スルコトヲ得

五 其他参考トナルヘキ事項

(備考)

一 本申請書ハ二通ヲ作成シ取扱銀行ヲ經由シ最寄日本銀行ニ提出スルコト

二 添付スヘキ許可證寫ニハ爲替支拂銀行ニ於テ證印スルコト

三 許可ノ條件トシテ内地又ハ現地ノ外貨表示特別措置預金ヲ伴ヒタルモノニ付テハ該預金ノ納付申出書(舊式)ヲ同時ニ提出スルコト

四 「其他参考トナルヘキ事項」ニハ左ノ事項等ヲ記載スルコト

イ、他店舗ヨリ預ケ替ヘタルモノニ付テハ元預ケ先店舗名及預ケ替年月日

ロ、特別措置預金ノ名義變更ニ依リ貸付金ノ返済時ヲ受ケタルモノニ付テハ名義變更前ノ預金者住所氏名及名義變更ノ年月日

ハ、外貨表示現地特別措置預金ノ名義人カ本預金ノ名義人ト異ルトキハ其ノ住所氏名

五 申請者ハ預金名義人タルヘキコト

別紙(一)(四)

預  
り  
證

一、預金證書又ハ通帳(記番號) 通  
但 名義圖表示内地特別措置預金

右特別措置解除申請ノ爲正ニ預り候也

昭和 年 月 日

銀行

證

29

246



別紙(二)



「スタンプ」ニハ取扱者印押捺ノコト

30

24

裏面白紙

別紙(三)

外貨表示特別措置預金納付申出書  
(經由取扱銀行名)

大藏省理財局長 榎田光男 殿

昭和 年 月 日

申出者ノ住所  
職業氏名又ハ商號  
(代表者氏名)

昭和 年 月 日 附申請仕候 銀行 店ニ於ケル

名義圓表示特別措置預金ヲ御解除相受候上ハ左記外貨表示特別措置預金  
ハ聯合國最高司令部又ハ將來之ニ代ルモノノ承認ヲ得ラレタル場合必ス  
之ヲ國庫ニ納付可仕此段誓約仕候也

記

一、外貨表示特別措置預金

預ケ先銀行名

金額

預金證書記番號

(備考)

一、本申出書ハ正副二通ヲ作成シ取扱銀行經由正本ヲ日本銀行へ提出ス  
ルコト

三、外貨表示内地特別措置預金ニ付テハ本申出書ト共ニ該預金證書ヲ提出スルモノトシ取扱銀行ニ於テ本申出書ニ引上保管濟ノ旨記載證印  
ハコト。預金證書ヲ所持セサル場合ハ事由書(舊式伍)ヲ提出スル  
コト

三、外貨表示現地特別措置預金ニ付テハ該預金證書ノ提出ヲ要セサルモ  
預金證書所在届(舊式丙)ヲ提出スルコト

四、申出者ハ外貨特別措置預金名義人タルヘキコト

別紙(四)

外貨表示内地特別措置預金設替引上保管報告書

大藏省理財局長 備田光男 殿

昭和 年 月 日

昭和 年 月 分

銀行 店

代表者氏名印

引上保管  
年月日

預金名義人 金

額 設替記書號

備

考

合計

(備考)

一 本報告書ハ各月分ヲ収録メ毎月五日迄ニ日本銀行ヘ提出スルコト

二 合計欄ハ通貨別ニ集計記載ノコト

別紙(五)

外貨表示内地特別措置預金證書ヲ所持セサル事由書  
(經由取扱銀行名)

大藏省理財局長 楠田光男 殿

昭和 年 月 日

届出者ノ住所

職業氏名又ハ商號

(代表者氏名)

昭和 年 月 日 附外貨表示特別措置預金納付申出書記載ノ外貨表  
示内地特別措置預金證書ハ左記事由ニ依リ所持致シ届ラサルコトヲ誓約旁々  
御届申上候也

記

(事由)

(備考)

- 一、本事由書ハ正副二通ヲ作成シ取扱銀行經由正本ヲ日本銀行へ提出スルコト
- 二、外貨特別措置預金納付申出書ニ添付スルコト
- 三、届出人ハ外貨特別措置預金名義人タルヘキコト

別紙(丙)

外貨表示現地特別措置預金證書所在届  
(經由取扱銀行名)

大蔵省理財局長 榎田光男 殿

昭和 年 月 日

届出者ノ住所  
職業氏名又ハ商號  
(代表者氏名)

昭和 年 月 日 附外貨表示特別措置預金納付申出書記載ノ外貨  
表示現地特別措置預金證書ハ左記ノ通り所在セルモノナルコトヲ誓約旁  
御届申上候也

記

一、保管者ノ住所、職業、氏名又ハ商號

(備考)

- 一、本屆ハ正副二通ヲ作成シ取扱銀行經由正本ヲ日本銀行へ提出スルコト
- 二、外貨表示特別措置預金納付申出書ニ添付スルコト
- 三、保管ヲ寄託シ居ル場合ハ寄託ノ事由ヲ附記スルコト
- 四、届出人ハ外貨特別措置預金名義人タルヘキコト



原本不明瞭

裏面白紙

別紙(七)

圓表示特別擔當預金解除報告書

大藏省理財局長 楠田光男 殿

昭和 年 月 日  
昭和 年 月 分

銀行 店  
代表者氏名 印

預金者氏名	住 所	圓表示特別擔當預金	納付申出	備 考
		外貨表示内純外貨表示預金 特別擔當預金		

報告書ハ各月分ヲ取經メ正當三廻ヲ作成シ五月十五日迄ニ日本銀行  
 へ提出スルコト  
 三外貨表示特別擔當預金ノ付前額ハ貸別ニ算計完成スルコト

38

255

原本不明瞭

裏面白紙

外管第六三號

昭和二十一年八月十六日

外事局長代

支店事務所長殿

特別措置預金處理ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ今般大藏省ニ於テハ爲替銀行宛別紙寫ノ通り通牒致候旨  
連絡有之候ニ付御承知相成度尙右ニ關スル承認事務ヲ本行ニ委任セラレ  
候ニ就テハ之カ事務指針ヲ近ク御通知可致候間解除承認事務ハ其ノ上ニ  
テ御取扱相成度此段御通知旁々得貴意候也

原本不明瞭

裏面白紙

外管第六四號

昭和二十一年八月二十一日

外事局長代

支店長  
事務所長 殿

圓表示特別措置預金解除取扱方ニ關スル件

大蔵省ニ於テハ今般中華民國及南方（滿洲、關東州、臺灣及朝鮮ヲ除ク）ヨリノ送金ニ依リ生シタル圓表示特別措置預金ニ付キ送金許可條件ニ依ル特別措置ヲ解除シ金融緊急措置令ニ依ル制限ノミヲ適用セシムルコトニ決定・大蔵省ヨリ各爲替銀行宛通牒「特別措置預金ノ處理ニ關スル件」彙ニ御送付致候處右特別措置解除ニ付キテハ別紙指針御参照ノ上御取

40

257

原本不明瞭

裏面白紙

後呈成既候向本件處理ニ關シテハ貴店ヨリモ隨所行ヲ適シ各預金者ニ  
對シ一層徹底方調配被下度此段御進仰幸々御依頼申上候也

41

258

中華民國及南方ヨリノ送金ニ依ル特別措置預金解除最後ニ關スル專電指針

本件特別措置解除ニ關シテハ昭和二十一年八月十三日附藏理外第二三七五號外國爲替銀行宛大藏省通牒（以下單ニ大藏省通牒ト稱ス）所定ノ取扱要綱並ニ本指針ニ基キ處理ヲ爲スコト  
但シ滿洲、關東州、臺灣、朝鮮ヨリノ送金等ニ依ル特別措置預金ハ特別措置ヲ解除セス從來通り取扱ノコト

第一解除承認申請書受付ニ當リ注意スヘキ事項

一、申請書ハ預金銀行ヲ經由提出ノコト

二、他店前ヨリ預ケ替タル預金ニシテ送金許可條件等現在ノ預金銀行ニ於テ不明ノ場合ハ爲替支拂銀行ニ對シ送金許可證寫ノ作成ヲ索メ之ヲ添付スル様取計ヲコト

三、送金許可證寫添付ナキ場合ニ於テハ送金許可證寫ノ記載事項等

ニ外貨表示特別措置預金ノ有無並ニ其外貨表示ノ有無ヲ示スルコト

四、圖表示特別措置預金ノ名義變更ニ依リ貸付金ノ返済等ヲ受ケタルモ

ノカ石特別措置解除ヲ申請セントス後台名義變更ノ預金者ニ於テ  
外貨表示特別措置預金ヲ有スルモノナルトキハ之方勸導ヘノ謝付申  
出書ヲ申請書ニ添付セシムルコト

但シ已ムヲ得サル事情ニ依リ右申出書ヲ添付スルコト不可能ナル地  
台ハ事情説明書ヲ添付セシムルコト(註、此ノ場合は外埠向ヘ事務協議)  
野ニ承認事務取扱ニ關スル事項

一 本件申請ニ對スル解除承認事務ハ本店又ハ支店ニ於テ取扱フモノト  
シ支店ニ於テハ申請書ヲ審査ノ上左ニ該當スルモノニ限リ圖表添付  
別措置預金金額ニ付特別措置解除ノ承認取扱ノコト  
イ、解除ヲ受ケントスル預金カ送金許可條件ニ該當セルモノナルコ

ロ、大藏省通牒規定ノ要領ニ該當シ所定ノ書類完備セルモノナルコ  
ト

ニ支店ニ於テ左ニ該當スルモノヲ受理シタル場合ハ關係書類各一通ニ

事情説明書ヲ附シ外務局ニ送付協議ノ上之ヲ指示ニ基キ承認取致ノコ

ト  
イ、送金許可條件ニ該當スル預金ナルコトヲ確認シ疑キモノ其他内容

ニ不審ノ感アルモノ

ロ、解除申請手續ニ關シ大蔵省通牒規定ノ手續ニ準リ疑キモノ及所定

ノ警額ヲ缺ケルモノ又ハ異例ニ亘ルモノ

ハ、其他外務局ニ協議ヲ要スト認メラルルモノ

(註)イ、本店へ協議ノ場合確約書ヲ捺印セルモノニ付キテハ之ヲ申

附書ニ添付スルコトトシ預金取替又ハ通帳ハ支店ニ於テ捺

管シ申請書ニ之カ照會済ノ旨附記ノコト

ロ、本件關係書類ノ送付先ハ外務局管理課宛別便トナシ「寄附

金」ト捺印スルコト

三、承認通知書ハ左ノ形式ニ依ルコトトシ預金證書又ハ通帳ニハ所定ノス

タンプ押捺ハ成ルヘク特別借書文書記帳商所ニ一ノ上經由預金銀行へ

交付スルコト

原本不明瞭

裏面白紙

日銀〇〇第〇〇號

承認通知書

別紙昭和 年 月 日附圖表示特別措置預金係除承認申請ノ

件ニ付キテハ本日送金許可條件ニ依ル特別措置ヲ解除スル旨承認相

成タリ  
但(條件付ノ場合ノミ記載ノコト)

昭和 年 月 日

日本銀行支店長 氏

45

262



外報報告書ニ關スル事項

一、承認通知書ヲ發給シタルモノハ各月分ヲ取纏メ翌月十五日迄ニ外事局宛報告スルコト

二、報告書式ハ大蔵省通牒ノ書式(ハ)ニ準スルコト

但シ預金者ノ住所欄ヲ省略シ預金銀行名ヲ記載ノコト

三、大蔵省通牒三ノ(ロ)及(ハ)ニ依ル報告書ヲ預金銀行ヨリ提出アリタルトキ

ハ外事局ヘ廻送ノコト

今後ニ於ケル特別措置強化ニ關スル事項

一、外貨表示特別措置預金ヲ國庫ヘ納付スル意志ナキモノニ對スル圓表示特別措置預金ノ拂出ハ本年八月、九月分ノ生活費ヲ除キ本行ノ承認ヲ要スルコトトナリタルヲ以テ從來ノ手續ニ準シ拂出承認申請書ヲ提出セシメ左ニ基キ支店限り承認事務取扱ノコト

イ、生活費ノ爲メノ拂出ニ付テハ金融緊急措置令ノ創設ノ範圍内ニ於  
 テ承認スルコトトスルモ承認限度ハ一世帯毎月五百圓トス  
 且、其他ノ目的ノ爲メノ拂出ハ承認セサルコト  
 ニ右特別措置預金拂出承認通知書ノ發給報告並預金銀行ニ於ケル預金拂  
 出報告ハ從來通り實行ノコト

オ五 其他注意スヘキ事項

一 特別措置解除申請未済ノ者ニシテ昭和二十一年三月六日附 逕 逕 外 第 二  
 四三號ニ依リ預金銀行ニ對シ生活費ノ拂出ヲ請求セントスル者及生活  
 費以外ニ付キ本行本支店ニ拂出等承認申請ヲ爲サントスル者ニ對シテ  
 ハ爾今先ツ特別措置解除ノ手續ヲ採ラシムル様指導スルコト  
 ニ解除後ニ於テモ金融緊急措置令等ノ規定ノ適用ヲ免ルルモノニ非サル  
 コト及外國ニ本店ヲ有スルモノ等ノ預金ノ處分ニ付キテハ昭和二十年  
 六度省令第八八號ノ許可ヲ受スルコト一本件ニ關シテハ特ニ預金銀行

及預金者ニ徹底セシムルコト)

三、外貨特別措置預金ノ國庫ヘノ納付申出書、同預金證書ヲ所持セサル事  
由書並同所在届ハ承認通知書發給店ニ於テ嚴重保管ノコト

四、外貨表示内地特別措置預金ハ差當リ金融緊急措置ヲ施行規則第一條ノ  
二ニ依ル第一及第二封鎖預金ニ區分セラレサルモノトシ石ニ付キテハ  
近ク大蔵省ニ於テ法的措置講セラルル由ナルコト

五、送金許可條件ニ依リ送金額カ圓表示及外貨表示特別措置預金ニ分割處  
理セラレ居ルモノニシテ既ニ圓表示預金ヲ全額拂出済ナル場合石外貨  
預金名義人ヨリ其預金ヲ國庫ヘ納付方申出アルモノハ之ヲ受理シ納付  
ノ意志ナキモノハ當分其差差置ノコト

但シ此ノ場合ニ於ケル納付方ニ付キテハ強制ニ亘ラサルコト

以上

外管第七〇號

昭和二十一年九月九日

外事局長代

支店長殿  
事務所長殿

圖表示特別措置預金解除取扱方ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ去月二十一日附外管第六四號ヲ以テ之カ事務指針御通  
知申上置候處特別措置解除承認申請前ニ解除セララルコトヲ前提トシ本行  
ノ承認ヲ得スシテ特別措置預金ノ拂戻處分等ヲ爲スカ如キモノニ對シテハ  
該ニ取締ラレ度キ旨大體省ヨリ要望有之候ニ付キテハ各預金銀行ニ對シ石  
出意方可然御取計相煩度候  
向本行ノ承認ヲ得スシテ石預金ノ拂戻處分等ヲ爲シタルモノヲ發見シタル

場合ハ預金銀行及預金者ヨリ仕末替ヲ欲シ石拂戻處分等カ單ナル銀行ノ不  
注意ニ依ルモノナリヤ或ハ銀行及預金者ノ惡意ニ依ルモノナリヤ等事情御  
取調ノ上尋務指針第三ノニニ依リ富外尋局ニ御協議相成度候也

第十一、在外財産報告等ニ關スル事項

裏面白紙

第十一、在外財産報告等ニ關スル事項

目次

番 號	年 月 日	件 名	頁
大藏省令第九五號	二〇一一年八月	在外財産等ノ報告ニ關スル大藏省令	1
大藏省告示第三六號 (外管第一七號)	二〇一一年二月二六	在外財産ノ相續ニ關スル件 第五參照	5
大藏省告示第三三號 (外管第四四號)	二〇一一年一月一八	第二(四)參照	
外管 第九四號	二〇一一年一月一六	第二(四)參照	
廠外管第八八五號 (外管第一〇九號)	二〇一一年一月一三	在外財産等報告ニ關スル件	6
外管第一一九號	二〇一一年一月二七	在外財産等報告書ヲ本行經由提出セシムルノ件	8

269

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一二一號	二〇一	三〇	在外財産等報告ニ關スル注意事項
外管第八九六四號	二〇一	二四	外國ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産報告ニ關スル件
外事務(電信再報)	二〇一	二七	期限経過ノ報告書ノ交付ハ始末書ヲ添附セシメルノ件
外管第一三二號	二〇一	二九	外務省及内務省調査ノ「外國ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産 課」ニ關スル件
駐外管第一六號 (外事務長)	二一	一五	在外財産等ノ報告促進方依頼ノ件
外管第一一號	二一	八	報告書ニハ英文必ス記載セラレ度キ件
外管第一六號	二一	二三	在外財産報告書提出後住所變更シタル場合ノ處置ニ關スル件
外務局長(電信再報)	二一	三九	免除様式タリトモ二十年十月八日以後適用シタル者ハ報告ヲ要スルノ件
		23	
		21	
		20	
		18	
		16	
		15	
		13	
		10	



原本不明瞭

裏面白紙

外事局	藏理外第一二四九號 (外管第四一號)	外事局(電信再報)
長二一	三二	三二二
七一	五一〇	陸港記載ノ件
九	八	報告書第一號表爾考綱ニ引揚函・上陸日・上
在外財産等報告書ノ訂正報告書ニ關スル件	本行ニ於テ引上候管スヘキ引揚邦人持歸現金 預リ證ニシテ引換度超過額存スルモノハ在 外財産等報告書提出ノ要アル件	
26	24	23

大阪省令第九十五號

外國爲管理理法ニ基キ聯合國最高司令官ノ要求ニ係ル事項ヲ實施スル爲在  
外財産等ノ報告ニ關シ左ノ通定ム

昭和二十年十一月八日

大藏大臣 子爵 齋 澤 敏 三

第一條 本令ニ於テ外國爲管理資産トハ本邦若ハ外國ノ金貨若ハ銀貨（日本政府發行ノ額面  
五十錢以下ノ銀貨幣ヲ除ク）、金、銀若ハ白金ノ地金若ハ合金又ハ在外財産ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ在外財産トハ左ニ掲クルモノヲ謂フ

- 一 外國ニ在ル一切ノ財産
- 二 外國居住者ノ負擔トナル一切ノ債權、請求權、銀行預金其ノ他ノ預金  
又ハ信用取引
- 三 外國ニ在ル事業、營業又ハ此等ノモノニ對スル出資
- 四 一切ノ外國居住者ニ依リ發行セラレ又ハ其ノ者ノ債務トナルヘキ一切  
ノ有價証券、小切手、請手形、受領證保險證其ノ他所有權又ハ債務ヲ證ス  
ル証券

- 五 一切ノ外國ノ著作権、特許權、商標權及此等ノモノニ關スル一切ノ契約暨又ハ許可書
- 六 日本銀行券、貨幣（金貨ヲ除ク）政府ノ發行スル小額紙幣、臨時補助通貨及B號圖表示補助通貨以外ノ一切ノ通貨
- 七 其ノ他前各號ニ準スルモノ
- 三條 本令ニ於テ所有權證書トハ証券、土地權利狀、抵當證券、銀行預金通帳若ハ貯蓄、受取證、小切手、送金手形、約束手形、爲替手形、債務狀書、著作權、商標權、特許權又ハ此等ニ準スルモノヲ謂フ
- 四條 外國爲替資産又ハ之ニ關スル所有權證書ヲ所有シ、文配シ又ハ保管スル者ハ本令附屬報告書式ニ據リ報告書ヲ作成シ左ノ各號期日迄ニ大臣大臣ニ提出スヘシ
- 一 外國爲替資産又ハ之ニ關スル所有權證書ノ全部又ハ一部ヲ直接又ハ間接ニ所有シ又ハ支配スル銀行、信託會社、保庫會社、有價證券業者又ハ其ノ他ノ金融機關ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ三十日以内

二 外國爲替資産又ハ之ニ關スル所有權證書ノ全部又ハ一部ヲ直接又ハ  
間接ニ所有シ又ハ支配スル組合、法人、協會又ハ事業團體ニ在リテ  
ハ本令施行ノ日ヨリ四十日以内

三 外國爲替資産又ハ之ニ關スル所有權證書ノ全部又ハ一部ヲ直接又ハ  
間接ニ所有シ又ハ支配スル者ニシテ前二號ニ該當セサルモノニ在リ  
テハ本令施行ノ日ヨリ五十日以内

四 外國爲替資産又ハ之ニ關スル所有權證書ヲ占有シ又ハ保管スル者ニ  
在リテハ前各號ニ依リ報告セラレサル外國爲替資産又ハ之ニ關スル  
所有權證書ニ付本令施行ノ日ヨリ六十日以内

第五條 本令施行後本邦ニ居住スルニ至リタル者ニシテ外國爲替資産又ハ  
之ニ關スル所有權證書ノ全部又ハ一部ヲ直接又ハ間接ニ所有シ、支配シ  
又ハ保管スルモノハ居住ノ日ヨリ起算シ三十日以内ニ本令附屬報告書式  
ニ據リ報告書ヲ作成シ大藏大臣ニ提出スヘシ  
但シ前條各號ニ依リ報告シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

274

原本不明瞭

裏面白紙

第六條 大藏大臣ハ必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ又  
ハ記載方ノ一部ヲ省略セシムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
報告書作成費以下略

原本不明瞭

裏面白紙

大藏省告示第三十六號

外管第一七號(三ノ二二六)ニヨリ通牒

相続法ニ從ヒ本邦居住者ノ在外財産ヲ相続スル場合ニ於テハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限ヲ免除ス。但シ當該在外財産ニ付被相続人ニ於テ昭和二十年大藏省令第九十五號ニ依ル報告ヲ爲シ居ラザル場合ハ相続人ニ於テ相続後遲滯ナク之カ報告ヲ爲スヘク又被相続人ニ於テ報告済ノ場合ハ相続人ニ於テ相続遲滯ナク相続人及被相続人ノ氏名及住所ヲ記載シタル當該報告ノ訂正届ヲ爲スヘシ

昭和二十一年二月二十六日

大藏大臣

原本不明瞭

裏面白紙

藏理外第八六八五號

昭和二十年十一月十三日

大藏省外資局長

日本銀行副總裁 殿

在外財産等報告ニ關スル件

本日公布相成タル首題大藏省令ニ於テ在外財産等報告書ハ當省ニ直接提出ス  
ルコトニ相成后候處各地ニ於テ報告者ヨリ貴行支店ニ提出致シタル場合從來  
ノ諸報告書ニ準シ又店ニ於テ之ヲ審査ノ上取纏メ當局へ御送付相成様御取計  
相煩度候

右及御依頼候也

尚右ノ場合省令ノ期日以内ニ當局へ到達スル様御指導相成度

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一〇九號

昭和二十年十一月十六日

外 事 局 長 代

各 支 店 長 殿

在外財産等報告ニ關スル件

在外財産報告書ハ大蔵省宛直接提出セラルヘキモノト相成候處報告者ヨリ  
 貴店ニ提出シ來ル場合ハ從來ノ諸報告書準シ之ヲ受理審査ノ上取極メ至  
 當届宛御送付相預度大蔵省ヨリノ依頼ニ依リ此段御依頼申上候  
 追前右報告書ハ省令ノ期日以内ニ大蔵省ヘ提出シ得ル様御着意相成  
 石筆查ノ取極ハ各報告書ニ付キ其ノ他記載事項ノ遺否等一應御メ  
 御ニ止メラレ度



原本不明瞭

裏面白紙

外管第一一九號

昭和二十年十一月二十七日

外務局長代

各支店長  
各駐在員事務所長 殿

在外財産等報告書ヲ本行經由提出セシムルノ件

昭和二十年十一月八日附大蔵省告示第九十五號ニ依ル在外財産等報告書ハ  
直接大蔵省外資局管理課宛提出可相成處右報告書ノ審査事務室ハ之ヲ本行  
本文店內ニ設置スルコトト可相成付テハ事務上ノ都合ニ依リ報告書提出ハ  
成ルヘク本行本文店ヲ經由セシムルコトト相成候間右報告書提出先發申ノ  
件及報告書ノ期日内各局到達厳守並報告渡絶無ヲ期スル件ニ關シテ是レ

原本不明瞭

裏面白紙

下一致ニ對シ新聞、ラテオヲ通スル等適宜届知徹底方御手配相煩シ度候  
尙報告書ハ成ルヘク期日ヲ待タズ早目ニ提出セシメラレ度貴店御受付ノ上  
ハ一應御審査相成リ逐次當局宛御送付相成度候右御通知旁々御依頼申上候也

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一二一號

昭和二十年十一月三十日

外事局長代

又 店 長 殿

在外財産等報告ニ關シ左記ノ件御注意相成度候也

記

昭和二十年大藏省告示第三九三號ニ依リ株主ノ報告義務ヲ免除セラレタル十五會社ニ於テハ株主名簿ヲ一定様式ニ從ヒ提出スルヲ要ス(様式後送)

其内該ニ奉命カブリ外國ニ於テ主タル事業ヲ行ハスル會社ニ付テハ個々ノ

株主ハ報告ノ義務ナキモ會社ニ於テハ總株數ノ一%以上ノ株式ヲ有スル  
株主ニ付テ其ノ氏名及所有株式數ヲ報告スルコトヲ要ス、此ノ株主名簿  
ハ在外財産報告書ニ添付スルコト

三、日本ノ保險會社ノ外國ニ於ケル支店等ト契約セル生命保險ニ付テハ報告  
ノ要ナキコト

四、朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島ニ於ケル郵便貯金ニシテ其通帳カ内地ニ在  
ル限り報告ノ要ナキコト

五、簡易生命保險ハ朝鮮ノ局ト契約セルモノニ付テハ報告ノ要アルモ臺灣、  
樺太、南洋群島ノ契約ノ分ハ報告ノ要ナキコト

六、内地所在店舗ノ外貨建外國預金ハ報告ノ要ナキコト

株主名簿等報告書  
Report on the Shareholders

1 會社概要  
Outline of company

會社名  
Name of Company  
所在地  
Address

公稱資本金  
Authorized Capital  
事業目的  
Objects of Enterprise

払込資本金及總株數  
Paid up Capital  
& total Shares

2 一株ノ払込金額及時價  
Sum of paid up Share & its current value

3 株主名簿  
List of Shareholders

會社名  
Name of Company  
結成ノ現在日  
Reporting Date

株主氏名	所有株數	株主住所
Name of Shareholders	Number of Share owned	Address of Shareholders

記載注意

- 在外株主ニ付テハ報告スルニ及ハス
- 本名簿ハ在外會社ノ株主ヨリ個々ニ提出スルヘキ報告書ニ代替スルモノナルニ付注意スヘシ
- 何年何月何日ノ現在ニ依リ作成セルコトヲ作成ノ現在日ニ明記スヘシ

原本不明瞭

裏面白紙

原本不明瞭

裏面白紙

蔵外管第八九六四號

昭和二十年十二月二十四日

大藏省外資局管理課長

日本銀行外事局管理課長 殿

外國ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産等報告ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本日別紙ノ通通條相成タルヲ以テ外務省又ハ内務省ヨリ送付アリタル場合ハ一攷ノ在外財産等報告書ニ準シ受付進達方相續ニ送付スルニ付リタル英文三部ノ中一部及和文一通ハ控トシテ保管方御取計相成候  
右及依録候

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十年十二月二十四日

大蔵省外資局長

内務省管理局長  
外務省管理局長 殿

外國ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産報告ニ關スル件

本邦外ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産報告ニ關シテハ豫テヨリ大蔵省令第九十五號ニ準シ報告ヲ徴シ貴局ニ於テ御取纏メノ上聯合軍總司令部宛提出ノ準備ヲ願唐候處今敝司令部擔當官ヨリ右報告書英文二通ヲ提出スヘキ旨指示有之タルヲ以テ至急英文三通和文一通ヲ貴方宛御提出方相煩度  
此事件ハ貴局ニ關シテ日本銀行平積ニ送付方御取計程候度  
貴局會社ニヨリテ御提出ノ英文ノ貸借對照表及附屬目録ノ提出ニテモ可ナル旨先方並當官ヨリ指示有之候

285

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十年十二月二十七日

外事局管理課

支店  
駐在事務所

御中

「電信再報」

在外財産等報告書ハ期限經過後ニ於テモ從來通り受付審査ノ上當局宛送付  
アリ度

右提出カ期限後二十日間ヲ超ユル場合ハ適宜ノ始末書七通添付ノコト  
尙十二月五日附外管第一二三號通牒ニ依ル報告書未提出ノ向ハ至急提出方  
御取計アリ  
(十二月二十七日) 外 局



原本不明瞭

裏面白紙

外管集一三二號

昭和二十年十二月二十九日

外事局長代

支店長  
駐在員事務所長 殿

外務省及内務省調査ノ「外」ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産ニ關スル件

外務省及内務省ニ於テハ大藏省令第九五號ニ依ル「在外財産等報告」トハ別ニ「外」ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産ニ付豫テヨリ調査中ノトコロ今般本行ニ於テ之カ交付審査、集計ヲ爲シ聯合國最高司令部宛提出ノコトト相成候ニ取テハ左記御参照ノ上「在外財産等報告」ノ取扱ニ準シ之ヲ交付審査ノ上至急當局宛送付相煩候

原本不明瞭

裏面白紙

尙石報告書提出促進ニ關シ大藏省ヨリ内務省管理局ヲ通シ地方廳宛運給濟  
ニ付責役ニ於カセラレテモ地方廳ト御協力相成一般ニ周知徹底方可然御取  
計被下度候  
石御通知旁御依頼申上候也

記

一、外國ニ本社ヲ有スル會社ノ在外財産報告書提出通數英文三通和文一通  
ニ報告書書式

ト 大藏省令第九五號（在外財産等報告ニ關スル件）ノ規定書式ニ準スルコ  
ト

石ニ依リ難キ場合ハ考課狀ヲ英譯スルモ可

原本不明瞭

裏面白紙

取外管第一六號

昭和二十一年一月十五日

大藏省外資局長

在外財産等ノ報告促進方依頼ノ件

茲ニ各年十一月二十六日附取外管第八七四六號ヲ以テ周知徹底方依頼致候  
昭和二十年十一月八日附大藏省令第九十五號ニ基ク在外財産等ノ報告書ノ  
提出ニ關シ報告未済ノ者及最近歸還セル者ニ付テハ速カニ報告書ヲ作成シ  
日本銀行ノ本支店ヲ經由シテ提出セシムル様致度付テハ貴官ニ於テモ地方  
事務所又ハ歸國同胞板利用等ノ方法ニ依リ右促進方御取計相煩度此段及依  
新候也

送附ノ報告書ノ作成ニ付テハ別紙ノ如キ事項都市所定信託會社ニ於テ其  
之ヲ代會社員ニ付行セヨ

289

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十一年一月十九日

外務局長代

各支店長殿

在外財産等報告計提出ニ付キテハ既ニ期限経過致候付共之カ提出遅レ相當  
 アル様指察セラレ候爲本月十五日附録外管第一六號ヲ以テ大塚省外資局長  
 ヲリ各都道府縣縣長官ニ對シ地方事務所又ハ隣組ヲ利用シ右報告未済ノ者最  
 速外知ヨリ歸還セル者ニ付速ニ本行本支店經由提出促進方御座致候間可然  
 貴店力被下度候  
 此旨は出候途ニ當リテハ各台函最長司令部ノ意請モアリ新課令ニ依リ宣傳  
 ニルヲ速ク取次賜ニ爲之候由御各長被下度候  
 岩田重雄申上候

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一一號

昭和二十一年二月八日

外事局管理課

支店御中

財外財産等報告書ハ英文ニテ記載絶台不可能ノ場合ハ始末書ノ提出不台已  
 コトトナリ居ルトコロ聯台軍最高司令部ノ要求ニ依リ右ノ場合本行ニ於テ  
 之カ英譯ヲ擔當セサルヲ得サル次第乍ラ到底其負擔ニ不堪ヲ以テ爾今貴店  
 御交付ニ當リ必ス英文ヲモ作製提出方御盡力アリ度此段及御依頼候也

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一六號

昭和二十一年三月二十三日

外 事 局 長 代

又 店 長 殿

外地ヨリノ引揚邦人ニシテ昭和二十年大蔵省令第九五號第五條ノ規定ニ  
 基キ在外財産等報告書ヲ提出スル者ハ成ルヘク住所確定後提出スルモノ  
 トシ若シ住所確定遲延ノ虞アル場合ハ一應假住所ニテ報告ノ上住所確定  
 次第速ニ最寄日本銀行本支店宛右届出(和文一通)ヲ爲スコトトシ尙住  
 所變更ノ場合モ同様取扱方海運局ト御連絡ノ上御指導被下度  
 右ハ照會其他ノ都合モアリ又移轉先不明ノ爲メ將來本人ノ不利トナル怖  
 ナシトセサルヲ以テ此點御含慮被下度候也

各支店長宛電信

満鐵外三十八會社ノ株主ニ對シ在外財産等報告義務免除ノ處昭和二十年十一月八日大藏省令第九十五號第五條ノ規定ニ該當スル者ハ其報告ヲ要ス爲念

(三月九日 外 事 局 長)

昭和二十一年三月二十二日

外事局管理課長

支店長  
駐在員事務所長  
殿

〔電信再報〕  
外地ヨリノ引揚者ノ在外財産等ノ報告書提出ニ當リテハ第一號表備考欄  
ニ引揚日、上陸日、上陸港等ヲ記載スル様一段ニ周知方御取計相願度此  
段御依頼申上候



整理外第一二四九號  
昭和二十一年五月八日

大藏省理財局長

日本銀行外專局長 殿

日本銀行ニ於テ引揚保管シテキル現金預り證ニ關スル件

貴行本店、支店又ハ上陸港代理店ニ於テ持歸金限度ノ支拂ヲシテ居ラレマ  
 ス現金預り證(之ニ準スルモノヲ含ム)ハ全テ引揚保管スルコトシテ  
 ニ通牒シテ置キマシタカ右ノ現金預り證記載金額カ支拂ヲ受ケタ金額ヲ超  
 過スル場合ニハ之等ヲ拂行シテ來タ外地引揚邦人カ在外財産ノ報告ヲ提出  
 スルコトトナツテ居リマスカラ被保管者ニ對シテ此ノ點ヲ周知徹底方御願  
 ヒシマス

原本不明瞭

裏面白紙

外管第四十一號  
昭和二十一年五月十日

外  
事  
局  
長  
代

支  
店  
長  
駐  
在  
員  
事  
務  
所  
長  
殿

本行ニ於テ引上保管スヘキ引揚邦人持歸現金預り證ニシテ引  
換限度超過額存スルモノハ在外財産等報告書提出ノ要アル件

引揚邦人ノ持歸タル現金預り證ハ支拂ノ際總テ支拂店ニ於テ引上保管スヘキ  
旨本年四月一日外管第二四號ヲ以テ通達致シ候處右現金預り證ニシテ引換限  
度超過額アルモノニ付テハ昭和二十年大藏省令第九十五號ニヨル在外財産等  
報告書提出ノ要有之旨大藏省ヨリ通達有之候處被保管者ニ對シ右ノ旨周知方可  
然御取計被下度候也

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十一年七月十九日

支店長殿

外事局長代

在外財産等報告書ノ訂正報告書ニ關スル件

在外財産等報告書ノ訂正報告書ニ關スル件  
店候處今般大藏省ヨリ別紙書式ニ改訂セル旨通牒有之候間左記ノ點御含  
ノ上之カ局知方可然御取計相成度候也

在外財産トシテ報告書提出時ノ外國為替資産又ハ所有權移轉等ノ移轉ヲ  
總司令部ヨリ認可セラレ且大藏大臣ノ許可アリタルモノニシテ御含

引ノ實施上移轉ヲ必要トスル場合ニハ新保管場所ヲ記載シ訂正報告書  
提出ノコト

一 提出済報告書ニシテ既に訂正報告書提出済ノ分ニ對シテハ改メテ新書  
式ニ依ル訂正報告書ヲ徹末ノ契ナキコト

一 報告書提出後住所變更ヲ爲シタルトキハ住所變更届（和文一通）ノ提  
出ヲ要ス

一 期限經過後提出シタル在外財産等報告書ニ對スル始末書ハ和文一通ニ  
テ可ナルコト

一 省令第九五號附屬第四號表ニ對スル訂正報告書ハ別紙第三號表ニ準シ  
適宜作成シテ可ナルコト

以上

在外財産報告書訂正報告書

Amended Report of External Assets

提出日 昭和 年 月 日

Date of the Report submitted

1 氏名又ハ商號

Name of Reporter

2 住 所

Address of Reporter

3 在外財産報告書提出日

Date of previous "Report of External Assets"

4 訂正ヲ必要トスル理由

Reason for amendment

5 訂正箇所明細

Items & particulars of Amendment

(1) 第一號表 報告者ノ氏名又ハ商號等

Part I - Identification of Reporter

訂正ヲ必要トスル箇所	訂 正 分	舊 報 告 分
Items of amendment	Corrected	Previous report

原  
本  
不  
明  
瞭

裏  
面  
白  
紙

第二號表 在外財産等報告總括表  
 Part2 Summary of Reports on all External assets

訂正ヲ必要トスル資産 細目 Particulars of Assets to be amended	訂 正 分 corrected		舊 報 告 分 previous report	
	通貨名 currency	金額 value	通貨名 currency	金額 value
	1			
2				
3				
4				
...				

第三號表 外國為替資産細目報告表  
 Part3 Detailed Reports of Foreign Exchange Assets

第..... ( 第何番財産ト表題ヲ記載スルコトトシ  
 財産種類ノ異ル毎ニ改メテ記載スルコト )

Sec.

訂正ヲ必要トスル部 分ノ説明 Explanation of Items to be amended	訂正文又ハ訂正數字 amended clause or amended amount	舊報告文又ハ數字 Corresponding previous clause or amount
1		
2		
3		
...		

原  
本  
不  
明  
瞭

裏  
面  
白  
紙

ノ本報告書ハ日本文ト英文ヲナラヘテ書イタモノナラハ  
七通 日本文ト英文別々ノモノナラハ日本文ノモノ三通  
英文ノモノ七通ヲ作成シテ日本銀行本店又ハ支店ニ提出  
スルコト 成ルヘク最初ニ出シタ報告書ノ書方トスルコト  
2(イ)ノ各表ハ訂正ニナル表ノミ作成スルコト  
3本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦三六四耗横二五七耗ノモノ  
トスルコト

301

原  
本  
不  
明  
瞭

裏  
面  
白  
紙

第十二、聯合軍使用軍票ニ關スル事項

裏面白紙

302

0000 1865



原本不明瞭

裏面白紙

十二、聯合國使用軍票ニ關スル件  
目次

番	號	年月日	件名	頁
藏省	聲明ニ	〇	九一六「B」號表示補助通貨等ニ關スル件	1
第	九號ニ	一	一五聯合軍發行「B」式軍用通貨同收手續改正ノ件	2
藏省令	第七ノ	號ニ	七九昭和二十年勅令第五四二號「ボツダム」宣言ノ	5
外管	第五一號ニ	一	七八受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件ニ基ク聯合國	
			占領軍ノ發行スル「A」號表示軍票取締等ニ關スル件	
藏省令	第一號ニ	一	九三〇聯合國占領軍ノ發行スル弗貨表示軍票ノ取締ニ	7
外管	第七六號ニ	一	九三〇聯合國占領軍ノ發行スル弗貨表示軍票ノ取締ニ	10

原本不明瞭

裏面白紙

大蔵省告示第五五五號二一、七  
 九昭和二十一年大蔵省令第七七號第二條ノ規定ニ  
 一外管第五一號二一、七  
 八ヨル指定ノ件  
 改正大蔵省告示第六一五號(二一、八三)

12

外管 第五三號二一、七  
 一五「A」號表示章票ノ取給ニ關スル件

13

出 號外總第四三〇號二〇、一、二〇 第二〇參照

出 號三 號二〇、一、二九 第二〇參照

出 第一三號二〇、一、二四 第二〇參照

304

聯合軍發行「B」式軍用通貨回收手續要綱

聯合軍發行ノ「B」式軍用通貨（以下單ニ「B」式軍票ト稱ス）ハ金融機關ニ於テ日本通貨ト等價ヲ以テ交換スルコト

一 金融機關ニ於テ回收シタル「B」式軍票ハ更ニ本行本支店ニ於テ日本通貨ト交換スルコト

二 本行本支店ニ於テ交換シタル「B」式軍票ハ本支店ニ保管シ之カ交換代金ハ假拂金勘定（内譯科目聯合軍々票交換代リ金）ヲ以テ整理スルコト

三 支店ニ於テハ右假拂金勘定ハ一月分ヲ取纏メ毎月末本支店勘定（摘要聯合軍々票交換代リ金）ヲ以テ本店ニ付替ヘ別途出納局宛「B」式軍用手票

交換高及保管殘高表（別表）ヲ作成送付スルコト

四 支店保管軍票ノ本店ヘノ回送其他ニ付テハ其ノ都度出納局ヨリ指示スルコト

以上

原本不明瞭

裏面白紙

總第九號

昭和二十一年一月十五日

總務部長

支店駐在員事務所長 長殿

聯合軍發行「B」式軍用通貨回收手續要綱改正ノ件

昭和二十年九月十一日附總第一九五號ヲ以テ及御通牒候聯合軍發行「B」式軍用通貨回收手續要綱今般左記ノ通り改正致候間爾今本改正要綱ニヨリ御取扱相成度此段及御通牒候也

聯合軍發行「B」式軍用通貨回收手續要綱

聯合軍發行「B」式軍用通貨（以下單ニ「B」式軍票ト稱ス）ハ金融機關ニ於テ日本通貨ト等價ヲ以テ交換スルコト

一 金融機關ニ於テ回收シタル「B」式軍票ハ更ニ本行本支店ニ於テ日本通貨ト交換スルコト

二 本行本支店ニ於テ交換シタル「B」式軍票ハ本支店ニ保管シ之カ交換代金ハ假令金勘定（内譯科目聯合軍々票交換代リ金）ヲ以テ整理スルコト

三 支店ニ於テハ右假令金勘定ハ一月分ヲ取纏メ毎月末本支店勘定（摘要聯合軍々票交換代リ金）ヲ以テ本店ニ付替ヘ別途出納局宛「B」式軍用手票

交換高及保管殘高表（別表）ヲ作成送付スルコト

四 支店保管殘高ノ本店ヘノ回送其他ニ付テハ其ノ都度出納局ヨリ指示スルコト

以上

307

原本不明瞭

裏面白紙

B式軍用手票交換高及保管種高表

昭和 年 月 分

出納局 御 中 支店

種 類	月中交換高(本店付客額)		保 管 種 高	
	全 額	券 額	全 額	券 額
券				
券				
券				
券				
券				
計				

大藏省令第七十七號 外管第五一號（ニ、七、八）ニヨリ通牒  
 昭和二十年勅令第五百四十二號「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル  
 命令ニ關スル件ニ基ク聯合國占領軍ノ發行スル「A」號圓表示軍票ノ  
 取締等ニ關スル件ヲ次ノヤウニ定メル。

昭和二十一年七月九日

大藏大臣 石橋 湛山

第一條 聯合國占領軍ノ發行スル「A」號圓表示軍票（以下「A」號  
 圓表示軍票ト稱スル。）ハ、聯合國占領軍ニ屬スル軍人又ハ聯合國人  
 人タル軍屬以外ノ者カ、コレヲ收受又ハ所持シテハナラナイ。

第二條 大藏大臣ノ指定スル者ハ、大藏大臣ノ指定スル給付ノ支拂ニ  
 限リ、前條ニ規定スル軍人軍屬カラ「A」號圓表示軍票ノ提供ヲ受  
 ケタ場合ニハ、日本銀行券、貨幣、政府ノ發行スル小額紙幣及ヒ臨  
 時補助貨幣ト等價テ、コレヲ收受シナケレハナラナイ。

第三條 前二條ノ規定ニ違反シタ者ハ、コレヲ三年以下ノ懲役若シク

ハ 禁額又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スル。

第一條ノ規定ニ違反シテ收受又ハ所持サレタ「A」號圓表示軍票

ハ、コレヲ沒收スル。

附 則

コノ省令ハ、昭和二十一年七月十日カラ、コレヲ施行スル。



大蔵省令第一號  
遞信

昭和二十年勅令第五百四十二號「ポツダム宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件」ニ基ク聯合國占領軍ノ發行スル弗表示軍票ノ取締等ニ關スル件ヲ次ノ様ニ定メル。

昭和二十一年九月三十日

大蔵大臣 石橋 湛山  
遞信大臣 一松 定吉

第一條 第二條ニ規定スル場合ヲ除ク外、聯合國占領軍ノ發行スル弗表示軍票ヲ收受シ又ハ所持スル行爲ハ、昭和二十一年勅令第三百十一號第一條第四號ニ該當スルモノトスル。

第二條 遞信官署ノ職員ハ、大蔵大臣ノ指定スル給付ノ支拂ニ限リ、聯合國占領軍ニ屬スル軍人又ハ聯合國人タル軍屬カラ弗表示軍票ヲ提供ヲ受ケタ場合ニハ、日本銀行券・貨幣・政府ノ發行スル小

額紙幣及ヒ臨時補助貨幣ト一弗ニツキ十五圓ノ割合テ、コレヲ收受  
シナケレハナラナイ

第三條 前條ノ規定ニ違反シタ者ハ、コレヲ三年以下ノ懲役若シクハ  
禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スル。

附 則

コノ省令ハ、公布ノ日カラ、コレヲ施行スル。

朕ハ、昭和二十年勅令第五百四十二號「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件ニ基ク聯合國占領軍ノ占領目的ニ有害ナ行爲ニ對スル處罰等ニ關スル勅令ヲ裁可シ、ココニコレヲ公布セシメル。

御名 御璽

昭和二十一年六月十一日

内閣總理大臣 吉田 茂  
司法大臣 木村篤太郎

勅令第三百十一號

第一條 左ノ罪ニ依ル事件ニツイテハ、公訴ハ、コレヲ行ハナイ。

一、二、三ハ略

四 聯合國占領軍、ソノ將兵又ハ聯合國占領軍ニ附屬シ、若シクハ隨伴スル者ノ財産ヲ不法ニ所持シ、取得シ、受領シ、又ハ處分スル行爲

爲 附 則

コノ勅令ハ、昭和二十一年七月十五日カラ、コレヲ施行スル。

大藏省告示第六九四號

昭和二十一年大藏省令第一號（昭和二十年勅令第五百四十二號）  
ツダム一直言ノ受諾ニ件ヒ發スル命令ニ關スル件ニ基テ聯合國占領  
軍ノ發行スル弗表示軍票ノ取締等ニ關スル件一第二條ノ規定ニヨリ  
次ノヤウニ指定スル。

昭和二十一年九月三十日

大藏大臣 石橋 湛 山

遞信大臣ノ定メルトコロニヨリ弗表示軍票ヲ聯合國占領軍ニ屬スル  
軍人又ハ聯合國人タル軍屬カラ左ニ掲ケル料金ノ支拂トシテ受入レ  
ルト。

一 北 合衆國若シクハソノ屬領宛又ハコレラノ地域ヲ經由シテ外國  
宛ニ差出ス電信ノ料金。

二 北 合衆國若シクハソノ屬領ト又ハコレラノ地域ヲ經由シテ外國  
ト通話スル電話ノ料金。

原本不明瞭

裏面白紙

外管第七六號

昭和二十一年九月三十日

外、事、局、長、代

支店長 殿  
事務所長

聯合國占領軍ノ發行スル弗表示軍票ノ取締ニ關スル件

首圖ノ件ニ關シ本日附ヲ以テ別紙ノ通り大藏省令並ニ大藏省告示公布  
 セラレ「A」號圓表示軍票ハ回收ノコトト相成候處右弗表示軍票ハ内地、沖繩  
 朝鮮ヲ除キ世界各地ニ於ケル米國占領軍使用ニカカルモノニシテ今般聯合  
 國軍司令部ハ占領軍使用通貨ノ統一ヲ圖ル目的ヲ以テ内地、沖繩、朝鮮  
 ニ於テモ之ヲ使用スルコトト相成タル次第ニ有之候  
 尙弗表示軍票ハ「A」號圓表示軍票ト同一ノ性格ヲ有スルモノニシテ「A」號軍票  
 ハ來ル十月十五日迄ニ回收セララル趣ニ有之候  
 右御通知申上候也

大藏省告示第五百五十五號 改正大藏省告示第~~六~~五號(三、八三)外管第五一號(三、七八)ニヨリ  
 昭和二十一年大藏省令第七十七號(昭和二十年勅令第五百四十二號)「ホツ  
 ザム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件ニ基ク聯合國占領軍ノ發行  
 スル「A」號圓表示軍票ノ取締等ニ關スル件(第二條ノ規定ニ依リ次ノヤ  
 ウニ指定スル。

昭和二十一年七月九日

大藏大臣 石橋 湛山

通信官署ノ職員カ遞信大臣ノ定メルトコロニヨリ聯合國占領軍ニ屬スル軍  
 人又ハ聯合國人タル軍屬カラ左ニ揚ケル料金ノ支拂トシテ「A」號圓表示  
 軍票ヲ受入レルトキ。

一 北米合衆國若クハ其ノ屬領宛又ハコレラノ地域ヲ經由シテ外國宛ニ差出  
 ス電信ノ料金。

二 北米合衆國若シクハ其ノ屬領ト又ハコレラノ地域ヲ經由シテ外國ト通話  
 スル電話ノ料金。

原本不明瞭

裏面白紙

外管第五十三號

昭和二十一年七月十五日

外 務 局 長 代

又 店 長  
駐在員事務所 長 殿

七月八日附外管第五十一號ヲ以テ聯合國古領軍發行ノ「A」號圖表示軍票ノ  
詳細ニ關スル件御通牒申上候處之ヲ一般ニ周知徹底セシムル爲メ大藏省ヨ  
リ別紙ノ通り本行本文店、代理店ノ店頭ニ揭示方依頼有之候間可然御手配相  
所度此段御依頼申上候也

原本不明瞭

裏面白紙

聯合國占領軍ノ發行スル「A」號圖表示軍票ノ取締ニ關スル件

聯合國占領軍カ新ニ發行スル「A」號圖表示軍票ハ聯合國占領軍ニ應スル軍  
 人又ハ聯合國入タル軍人、軍應相互間ニ流通セシメル事ヲ目的トスルモノテ  
 アツテ一般ノ方ハ兵ノ收受モ所持モ許サレナイノテアリマス尤モ右ニ對スル  
 唯一ノ例外トシテ本邦ノ進信官署ハ前記ノ軍人軍屬カラ米國若シクハ兵ノ屬  
 領宛又ハコレラノ地域ヲ經由スル外國宛ノ電信電話料ヲ支拂トシテ提供サレ  
 タ場合ニ其ノ受入ヲ要スルコトニナツテ居リマス大廠省テヘコノ點ヲ明瞭ニ  
 シ且ツ其ノ取締ヲ徹底スル爲メニ「A」號圖表示軍票ノ制定シテ九月ノ官報テ公布シマシク  
 コノ省令ノ規定ニ違反シタ者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰  
 金ニ處セラレルカラ吳々誤ヲ犯サレナイ様注意シテイタタキタイ  
 尙「A」號圖表示軍票ト發ニ聯合國占領軍カ發行シタ「B」號圖表示補助貨  
 幣トノ形式的ナ相違ハ表面ニ「A」ノ表示カアルカ「B」ノ表示カアルカ支  
 テアツテ其ノ紙質、模様、大キサ、表面金箔等ハ全く同一テアルカラ其ノ識  
 別ニ充分注意シテイタタキタイ



第十三、其  
ノ  
他

319

裏  
面  
白  
紙

0000 1882

第十三、其ノ他

目次

番 號	年 月 日	件 名	頁
大藏省告示第一九六號二一 (外管第三一號)	四一九	信託會社カ外國居住者トノ間ニ締結シタル信託契約ニ基 キ之カ本元支拂ニ關スル件	/
賦外爲第一七〇號二〇一〇一九	一九	歸還部隊ノ携帶セル公金ノ處理方ノ件	2
總 第二四六號二〇一一	一五	引揚邦人持歸物件ノ海運局ヨリノ保護預ハ無手数料ニテ 取扱フノ件	3
外管 第一號二〇	一八	海運局へ援助派遣員ノ費用其他ノ經費ニ關スル件	5
賦理外第二四四號二一	三六	臨時財産調査令ニ基ク外國爲替關係ノ申告ニ關スル件	6

原本不明瞭

裏面白紙

最理外第八八二號三一

四

五 英艦船員ノ歸銀券、舊銀券及日本軍票等ノ交換

外管 第七八號三一

一

外埠ニ於ケル個人間ノ日本通貨兌換標額等ノ決

12

原本不明瞭

裏面白紙

大藏省告示第二九六號

外管第三一號（二一四九）ニヨリ通牒

信託會社ノ本邦ニ在ル店舖カ昭和二十年九月二十三日以前ニ外國居住者ト  
ノ間ニ締結シタル信託契約ニ基キ本邦ニ在ル當該信託契約ノ受益者ニ對シ  
信託ノ元本、收益金等ノ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ外國爲替管理法施行規則  
又ハ昭和二十年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス

昭和二十一年四月十九日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

原本不明瞭

裏面白紙

陸外爲第一七〇號

昭和二十年十月十九日

大藏省外資局長  
海運總局長 官

各海運局長 殿

歸還部隊ノ携帶セル公金ノ處理方ノ件

歸還部隊ノ携帶セル公金ハ昭和二十年十月十三日附通牒ニ依ル限度超過ノ携帶通貨ノ取扱方ニ準シ一應總テ上陸港所管海運局ニ於テ保管スルコトトシ其ノ預リ證ヲ當該部隊ニ交付スルニ取計ハレ度

原本不明瞭

裏面白紙

第二四六號

昭和二十年十一月五日

銀行部 部長

支店 長 殿

左記初決定相成候間御承知相成度此段及御禮候也

記

一、引揚邦人持書リ物件ノ海運局ヨリノ保護預ハ無手数料ニテ取扱ヒノ件引揚  
 邦人ノ持書リ物件中引換限度ヲ越セル圓系通貨、圓系通貨ニ非サル通貨  
 及證券證書並ニ本邦ヨリノ引揚邦人及邦人ノ持出シ限越過通貨及證券  
 證書ハ上證又ハ乘船港ノ海運局ニ於テ引上封成ノ上最モ日本銀行本支店代  
 理店ニ保護預ケ執スコトト相成候處本行本支店ニ於テハ右保護預ニ付等ニ

原本不明瞭

裏面白紙

期間ヲ定メス無手数料ニテ取扱ヒ差支ヘナキコト  
ニ引揚邦人持歸リ進貨交換取扱代理店諸費ヲ本行假拂金ヲ以テ立替支拂ノ件  
引揚邦人持歸リ進貨交換取扱代理店ニ於ケル持歸リ物件保護預手数料（各  
代理店引受銀行ノ保護預規定ニヨル所定手数料）並事務援助員出張費其他  
諸經費ニ付テハ政府ニ於テ全額補償スルモノナル處差當リ本行ニ於テ之カ  
立替支拂方大蔵省ヨリ依頼有之候ニ付右諸費支店假拂金（内譯科目海外引  
揚者代理店諸費）ヲ以テ御支拂ノ上關係書類外事局宛御送付相成度コト

原本不明瞭

裏面白紙

外管第一號

昭和二十一年一月八日

外 華 局 長 代

又 店 長 殿

ノ引揚海邦人並ニ援助派遣員ノ持歸金限度超過貨等ノ引上

外地ヨリノ引揚邦人並ニ内地ヨリノ引揚洋人、華人ノ持歸金限度超過貨等ノ引上ノ爲海運局へ援助派遣員ノ費用並ニ其他ノ經費ヲ本支店勘定ヲ以テ御整理ノ向モ有之候處右諸經費ハ何分ノ御連絡ヲ爲ス迄昭和二十年十月十六日付外管第九十三號並ニ十一月五日付総第二四六號總務部通知ノ通り貴店假勘定ニテ御整理ノ上關係書類ヲ外事局管理課宛御送付相成度爲念重ネテ特責意候也



原本不明瞭

裏面白紙

賦理外第二四四號

昭和二十一年三月六日

大藏省理財局長

臨時財産調査令ニ基ク外國爲替關係ノ申告ニ關スル件

目題ノ件ニ關シテハ將頼ノ便宜上成ル可ク左記ノ通り取扱フ様御配慮相煩度

記

「外貨表示内地預金」ニ付テハ既發表ノ如ク申告ノ際備考欄ニ備録建貯  
銀券建貯外貨建貯金ナル旨記載スル事

原本不明瞭

裏面白紙

二、「國貨表示内地特別措置預金」ニ付テハ備考欄ニソノ旨記載シ更ニ「拂  
戻ニ付テハ大藏大臣ノ許可ヲ要ス」又ハ「拂戻月額一千圓ニ付テハ不要  
許可其ノ他ニ付テハ大藏大臣ノ許可ヲ要ス等ト附記スルコト  
三、送金爲替等ニ付テハ在外財産トシテ報告ヲ要スルモノハ申告ヲ要セサル  
コト。

原本不明瞭

裏面白紙

證理外第八八二號

昭和二十一年四月五日

大藏省理財局

外資課長

日本銀行外事局

管理課長 殿

英國船員ノ鮮銀券、暹銀券及日本軍票等ノ交換方強要ノ件

昭和二十一年二月二十五日附ヲ以テ依頼相成リタル首題ノ件ニ關シテハ口頭  
ヲ以テ聯合國最高司令部ニ對シ申入レタル所司令部ニ於テ昨日本英官憲ニ對  
シ之カ取締方申入レタル旨口頭ヲ以テ回答有之候條及御通知候也

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十一年二月二十五日

日本銀行外務局管理課長

大蔵省理財局

石田外資課長 殿

本月十四日附ヲ以テ大牟田市ニ於ケル聯合軍ノ軍票ノ使用其ノ他ノ件ニ關シ本行福岡支店ヨリノ報告御手許迄差出置申候處本日更ニ同店ヨリ別紙ノ通報告有之候間取急キ何分ノ御手配相煩度此段重而御依頼申上候也

9

336

原本不明瞭

裏面白紙

昭和二十一年二月十四日

福岡支店長代

外 事 局 長 段

本月八日附ヲ以テ大牟田市ニ於ケル聯合軍ノ軍票等ノ使用其ノ他ニ關シ御報  
 告申上置候處更ニ本月十二日福岡銀行三川町支店（大牟田市所在）ニ英國船  
 員該名來店ノ上銀券・蠶銀券・滿銀券・日本軍票等ノ交換方強要セル趣ニ  
 テ同行大牟田支店ヲ先シ之カ取致方ニ付當店ノ指示ヲ求メ來レルヲ以テ目下  
 ノニ交換不可能ナルコト並置ナニ進駐軍大牟田軍政部ヘ連絡スヘキコトヲ不

取敢回答指示スルト共ニ一方本件ニ付營地終戦連絡事務局ニ連絡ノ上同局ヲ  
迎シ營地進駐軍ニ對シ善處方依頼致候（營地軍政部ヨリ直ニ大牟田軍政部へ  
連絡スル旨回答アリシ趣）  
要ニモ申上候通り大牟田へハ今後モ英艦船入港ノ趣ニテ現状ノ儘放置スル  
ニ於テ今同様ノ事件今後モ引續キ惹起ノ虞有之至急對策ヲ講スル要アルヘク  
右ニ付テハ營地ヨリ當地終戦連絡事務局ニ對シ督促要望致シ置キ候へ共中央  
ニ於テモ關係官廳ト御連絡ノ上至急善後策御高配相煩度此段御報告旁々重ネ  
テ御依頼申上候

//

原本不明瞭

裏面白紙

外管第七八號

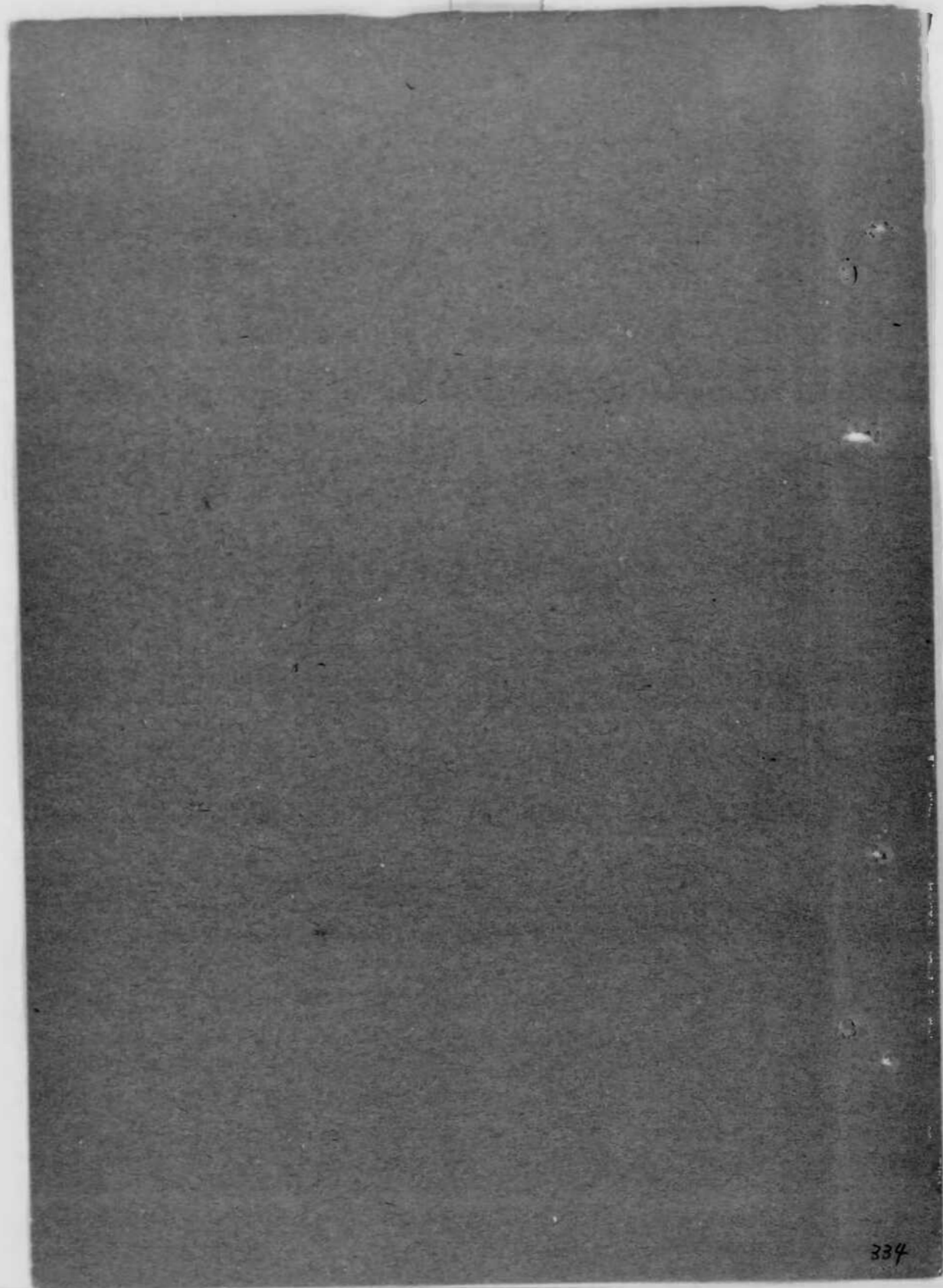
昭和二十一年十月一日

外務局長代

事務所長殿

外地ニ於ケル個人間ノ日本通貨建債權債務ノ決済ノ件

外地ニ於ケル個人間ノ日本通貨建債權債務ヲ外地居住者ナル營業者カ内地ニ引揚後其ノ合意ニ依リ内地ニ於テ以テ決済ヲ爲スコトハ昭和二十年大阪省令第八八號ノ規定ニ拘ハラズ差支ナキ旨大阪省ヨリ通牒有之候間一般ニ周知方可然御取計相煩度候也



334

裏  
面  
白  
紙

0000 1897



保存  
文書